

射水市公共施設個別施設計画（案）について

1 射水市公共施設個別施設計画（素案）に係るパブリック・コメントの実施結果について

(1) 実施期間	令和2年12月25日（金）～令和3年2月10日（水）
(2) 書類の閲覧場所等	・射水市ホームページ ・窓口等での閲覧 （市人事課、各地区センター、中央図書館 計6か所）
(3) 寄せられた意見	・提出者数 3名（5件）
(4) 意見の提出方法	・電子メール 1名（1件） ・窓口受付 1名（3件） ・ファックス 1名（1件）
(5) 意見の概要及び市の考え方等	別紙のとおり

2 地域振興会連合会理事会での概要説明について

(1) 実施日時、場所及び参加者数	日時	場所	参加者数
	1月22日（金） 午後3時30分～	救急薬品市民交流プラザ	25名
(2) 発言要旨及び市の考え方等	別紙のとおり		

3 市民向け説明会の開催について

(1) 実施日時、場所等及び参加者数	日時	場所等	参加者数
	2月6日（土） 午前10時～ 午後2時～	クロスベイ新湊 オンライン会議方式	70名 25名
	2月7日（日） 午前10時～	救急薬品市民交流プラザ	40名
(2) 発言要旨、アンケート結果等	別紙のとおり		

4 射水市公共施設個別施設計画（案） 別添

〔主な変更箇所〕

- ・ パブリック・コメント、説明会等の意見を反映
 - ・ 令和3年度当初予算編成等に伴う変更
（令和3年度の事業費を記載、事業スケジュール等の一部変更 等）
- } 別紙のとおり

意見等の概要及び意見等に対する市の考え方等

1 パブリック・コメント

(1) 計画全般

	意見の概要	市の考え方	修正の有無
1	「具体的な対策と実施時期」の一覧表に、各施設の所管課を記載してはどうか。	該当箇所に施設所管課を追記します。【例：P10】	有

(2) 図書館

	意見の概要	市の考え方	修正の有無
1	デジタル環境を含め、図書館を取り巻く社会動向について常時研究を継続するとともに、建物を無くす前に、図書館を牽引する人材を明確に位置付けるべきでないか。	<p>社会のデジタル化の進展を見据え、電子図書館機能の導入について調査・研究をする旨を P33 に記載しております。</p> <p>今後も、必要な人材の確保に努め、市民により親しまれる図書館となるよう、図書館協議会等において検討してまいります。</p>	無

(3) 博物館等

	意見の概要	市の考え方	修正の有無
1	<p>陶房「匠の里」のうち、利用が少ない研修棟を、周囲の池と森を含め、「(仮称)里山の駅」とし、生態系の保全などSDGs(持続可能な開発目標)の「15 陸の豊かさを守ろう」の本市における発信拠点として位置付けてはどうか。</p> <p>資金は総務省の「シェアリングエコノミー活用推進事業」や森林環境税を活用し、運営はシェアリング団体の連合体として「(仮称)射水里山</p>	<p>陶房「匠の里」は、ほとんど利用されていない研修棟の利活用も含め、令和5年度末までの3か年で、運営方法や整備手法など、民間活力の活用も含めた様々な観点から在り方を検討する計画です。</p> <p>【P41】</p> <p>いただきましたご意見は、今後の検討過程において参考にさせていただきます。</p>	無

	<p>地域まちづくり協議会」が担う。 〔団体と機能（案）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元地域振興会 ・里山地域で活動するNPO、市民団体 ・グリーンツーリズムを担う団体 ・体験宿泊等移住促進機関 ・林業体験 ・子供たちやシニア世代の自然体験学習 等 		
--	--	--	--

(4) 供給処理施設

	意見の概要	市の考え方	修正の有無
1	<p>大規模な開発となる野手埋立処分所の整備について、この地域には、多くの地域在来生物・絶滅危惧生物・希少生物が生息しており、こうした野生動植物に大きな負荷がかからないよう、環境アセスメントに加え、計画策定・設計の段階から地域の市民団体の意見を聞くべきと考える。</p>	<p>整備計画の策定に当たっては、環境面に最大限配慮し、適切な時期に幅広くご意見を伺うことが重要と考えております。</p>	無
2	<p>野手埋立処分所の整備に当たっては、損なわれた自然環境を取り戻すことを目的とする「自然再生推進法」の趣旨に基づき、失われる自然と同等以上のものを別の場所で再現することが大切であり、こうした自然再生事業の実施については、業者発注ではなく、地域の市民団体と協働して実施することが効果も大きくコストも少ないと考える。</p>	<p>野手埋立処分所は、令和9年度の埋立完了を見込んでおります。</p> <p>令和10年度から稼働を予定する最終処分場整備に係る自然環境の保全につきましては、今後も地域の市民団体の方々と連携・協力しながら取り組んでまいります。</p>	無

2 地域振興会連合会理事会における主な意見等

(1) 計画全般

- ・市町村合併により施設総量が多いことなどをはっきり示さなければ、再編の必要性が伝わらないのではないかと。
- ・今後40年間の建物延床面積の削減目標(20%)の根拠を示してはどうか。
- ・今後、人口が減少することもあり、延床面積の20%削減が必要ということか。また、これは人口増対策などの努力分を織り込んで判断しているのか。

P1に「計画策定の背景」の項目を追加し、再編と総量削減の必要性を記載。

P2に射水市公共施設等総合管理計画(H28.9策定)における削減目標設定の考え方を追記。

(2) その他

- ・小学校について、市域を超えた登校を認めることはできないか。
- ・コミュニティセンターの整備面積の基準について、人口が多い地区のコミュニティセンターはもう少し広い面積を認めるなどの配慮が必要でないか。

3-1 市民向け説明会における主な発言等

(1) 計画全般

・類似施設が市内に2つも3つもあって無駄である。全部1個でいいのではないかと。また、図書館と体育館といった種類の違う施設でも、一つの場所に立地していいのではないかと。結果として空いてくる土地で宅地開発をすれば、転入者も増えるかもしれない。

・小杉駅周辺の再開発は、大きな可能性を秘めていると感じ、期待している。小杉駅周辺に文化施設があれば、アクセスも良く、さらに魅力が高まる。図書館も駅周辺にあれば、集客力が高まる。

・20%の削減目標については賛成。30%でもいい。図書館、文化施設、スポーツ施設については、数を減らせば充実ができる。

P135に「縮充と跡地等の利活用」に対する市の考え方を追記。

(2) 個別の施設

・体育館が統廃合された場合であっても、小杉総合体育センターを増築するなど、運動をしたい方々が運動できる環境を整えてほしい。運動したい方が運動できなくなり、医療費や介護の費用が増えてしまうことは本末転倒。

・これからの射水市を支える子供たちの教育の場所である学校については熟議していただきたい。

- ・図書館の統廃合により図書館が遠くなる方への対応として、デジタル図書館の導入を検討してはどうか。
- ・文化施設について、県内第3の都市である射水市においては、1,600名規模の文化施設である新湊中央文化会館を残してもらえるようお願いしたい。

(3) その他

- ・災害が発生した場合、住民が避難できる施設も一定規模確保してほしい。
 - ・地域によっては、今後高齢化率が50%くらいになり、更に3、4割の人口が減る。空き家もどんどん増えていく。市として「施設再編」「まちづくり」「人口増」について、庁内でしっかり連携して取り組んでいただきたい。
 - ・公共施設の再編問題の根底にあるのは人口減少である。子どもたちを育てやすい環境づくりが大切であり、射水市として人口を増やす取組を充実してほしい。
 - ・40年間で年少人口が43%も減少することに衝撃を受けた。子育て支援について、他自治体だけではなく国外の取組事例なども研究して取り組んでほしい。
- P137 に庁内で緊密な連携を図っていく旨を追記。**

3-2 市民向け説明会におけるアンケート（計画素案に対するご意見）の概要

市民向け説明会で実施したアンケート（参加者135名中、62名が回答）において、記入いただいた計画素案に対するご意見を、年代別に取りまとめました。

〔回答者の属性〕

（単位：人）

居住地 年齢	新湊地区	小杉地区	大門地区	大島地区	下地区	市外	計	構成比
	29歳以下	3	2					
30代	4	1					5	8.1%
40代		2	2			2	6	9.7%
50代	5	5	1	2		1	14	22.6%
60代	8	3	2	2	1		16	25.8%
70歳以上	12	2	1		1		16	25.8%
計	32	15	6	4	2	3	62	
構成比	51.6%	24.2%	9.7%	6.5%	3.2%	4.8%		

(1) 29歳以下

- ・図書館とカフェの複合化、小杉駅にお土産施設を。
- ・人が少ない小・中学校は、統合してスクールバスなどを走らせるのが良い。

(2) 30代

- ・地図に旧市町村の色分けは不要。全て一つの射水市で考えればよい。
P5 など、地図における旧市町村の色分けを削除。
- ・体育館、図書館、文化施設等は、市に一つで良い。射水市はコンパクトな市である上に、車社会なので一つに絞る。空いたスペースに宅地開発、企業誘致をしたらよい。
- ・体育館は利用率が高く利用時間も集中するのでしっかり考えてほしい。スポーツは医療費の削減につながる。
- ・再編はやむを得ないが、利用者の立場に立った改築、削減を行ってほしい。特に、声が届きにくい子供や若者にも配慮していただきたい。

(3) 40代

- ・機能を集約して複合施設とし、新設又はリノベーション。これを今後の中心とすべき（文化・スポーツの施設利用者は部分的。受益者負担の面からも）。
- ・令和3年度から令和5年度までの集中検討がとても重要だと思った。一部の声の大きい人の意見だけでなく、各世代や色々な分野の方の意見を丁寧にくみ取ってほしい（20代～40代の声もしっかり反映してほしい）。
- ・「縮充」には賛成であるが、子どもが多い地域や人口が増えている地域に縮充してコンパクトなまちづくりをしてほしい。
- ・「文化施設等再編基本構想」の策定には市民も含めて進めていただきたい。令和5年度までの基本構想でしっかり検討し、市民の文化権の保障及び市民が心豊かに生きることができるよう、文化施設の在り方と「縮充」を考えていただきたい。
- ・「厳しい財政状況」が当計画の背景の一つであるとのことであるが、本当に大事に予算を使っているのか疑問である。例えば、子どもが学校からもらってくる紙がとても立派な上質紙。小さなことであるが、各部局の一つ一つの事業の予算執行が本当に適当なのかチェックし、削減してから考えてほしい。

(4) 50代

- ・将来のためにも着実に進めていくべき。
- ・コンパクトな市であり、同種の施設は統合すべき。
- ・跡地活用も重要であり、まちづくりと一体となって検討していく必要がある。
- ・新型コロナなど今後の社会情勢の変化に応じて計画の見直しも検討してもらいたい。
- ・小学校の統廃合の検討については、地域の意見も十分に聞き、納得のいく話し合いを重ねていただきたい。
- ・このような説明会の機会を増やしていただき、市民と行政の距離を縮めて、協働のまちづくりを進めてほしい。
- ・市民の意見も受け入れ、お互いにより良い未来を開いていくようにこれからも話

し合いの場を設けていただきたい。

・行政が地域の活性化、住み心地のよい「縮充」を市民のために考えるなら、行政が部局を超えて一体となり、様々な課題の解決策を探っていただきたい。

(5) 60代

・検討期間が長すぎる。検討のスピードを早める必要がある。

・機能の集約化には賛成だが、駐車場の整備をお願いしたい。

・地域特性（学園都市）を生かした方向性も必要。

・公共施設を交通の利便性の良い小杉駅周辺で検討してほしい。

・文化施設は、機能を集約して将来1館で良いのでは。また、既存の施設は民間に売却できるか検討すべき。

・体育館については、競技レベル向上を含めた観点からも考えてほしい。

・体育館は将来的に機能集約し、1館で良いのでは。既存施設は民間に売却し、固定資産税の減免などを行い、以前からの利用者が継続して利用できるような交渉するのも可能であれば良いのでは。

・情報を公開し、市民の理解を得ることに尽力していただきたい。

・射水市を空の上から見て各エリアを将来的にどんなエリアに改造していくのか市民に理解と協力を求める努力が必要。スピードをもって若者の発想で先を走る。廃止の前に民間経営できるものは民間へ払い下げ。

・少しでも多くの住民に伝わるように努力されたい。

・施設統廃合に伴う交通弱者対策は。

・少子高齢化対策など人口減少の歯止め政策が何より重要である（その政策が見えない）。

・再編の必要性は分かったが、人口を増やす施策にも力を入れてほしい（空き地・空き家の利用促進策、宅地再開発）

(6) 70歳以上

・施設を廃止した土地を更地にして、民間活用を検討してほしい。

・公共施設の削減は早期に進めるべき。

・削減目標を30%又は25%以上にすべき。

・効率だけでなく地域のバランスも考慮してほしい。

・施設規模が公平性に欠けるものがある。適正規模の視点が不可欠。

・年度別の財政計画と整合性についての考え方を望む。

・廃止する場合、小学校の体育館で代替できるように考えてほしい。

・スポーツクラブは統合しないでほしい。

・放生津小学校は新湊小学校に統合して1つの小学校とする。校名は公募する。放生津小学校の跡地は住宅地とする。

・コミセンの統廃合の計画化、文化施設と図書館を統合し市で1、2か所。地区セ

ンターは廃止。統廃合により充実を図られる。

・市民の理解が大変重要であるので、十分なコミュニケーションが必要。

・説明会の開催について市民にPRしてほしい。

・計画を進めるに当たっては、総合的な取組が必要。横断的な連携で全庁的な取組に期待。

・まちづくりの根幹として、空き家が多くなる問題に対し、市が先頭に立って取り組まなければ、まちが疲弊していく一方である。

(7) アンケートの傾向と計画への反映

- ・ ほぼ全ての年代において、行政との情報共有や市民理解の重要性、市民参加を求める意見が多い。

P136 に、地域住民のご意見を伺いながら、ともに考えていくことの重要性について追記。

- ・ 再編等を着実に進め跡地等を有効に活用してほしいという意見が多い。

P136 に、跡地等の利活用に係る考え方を追記。

- ・ 施設廃止後の避難場所の確保、交通弱者への配慮を含め、計画の推進には全庁的な連携が重要であるという意見が多い。

P137 に、庁内で緊密な連携を図っていく旨を追記。

- ・ 問題の根底にある人口減少への対策を望む声が多い。

4 令和3年度当初予算編成等に伴う主な変更

該当ページ	変更内容
P10	中太閤山コミュニティセンターの事業年度を1年先送り
P10～P13	上記変更に伴い、池多、三ヶ、金山、戸破、南太閤山、新湊コミュニティセンターの事業年度を1年ずつ先送り
P91	太閤山児童館の事業年度を1年先送り（複合化の可能性がある南太閤山コミュニティセンターの事業年度変更に伴うもの）
P115	消防団金山分団屯所の事業年度を1年先送り（併設する金山コミュニティセンターの事業年度変更に伴うもの。）
P115	上記変更に伴い、消防団浅井分団屯所の事業年度を1年前倒し
P10、16、22、52、70、72、98、104、112、118、132	概算事業費欄に令和3年度当初予算額等を記載

射水市公共施設個別施設計画(案)

令和3年3月
射水市

目次

第1章 計画の目的

1 計画の目的と位置づけ	1
2 計画期間	3
3 対象施設	3

第2章 施設ごとの計画

1 市民文化系施設	
(1) コミュニティセンター	5
(2) その他集会施設	19
(3) 文化施設	25
2 社会教育系施設	
(1) 図書館	31
(2) 博物館等	37
3 スポーツ・レクリエーション系施設	45
4 産業系施設	55
5 学校教育系施設	63
6 子育て支援施設	
(1) 保育園・幼稚園・認定こども園	75
(2) 幼児・児童施設	85
7 保健福祉施設	95
8 行政系施設	
(1) 庁舎・その他行政系施設	101
(2) 消防施設	107
9 供給処理施設	121
10 その他施設	129

第3章 計画の推進

1 保有延床面積の削減	134
2 縮充と跡地等の利活用	135
3 計画の推進等	137

第1章 計画の目的

1 計画の目的と位置づけ

(1) 計画策定の背景

公共施設の再編や総量削減に取り組む背景には、大きく「人口減少、少子・高齢化」「厳しい財政状況」「公共施設の老朽化」という3つの課題があります。

現在、9万人超の人口は、40年後には約6万2千人（約2万8千人、31.4%）となり、高齢化率も37.8%に達する見通しです（国立社会保障・人口問題研究所の推計）。また、生産年齢人口の減少に伴い税収の大幅な伸びは期待できず、更には高齢化に伴う扶助費の増加に伴い、財政状況はますます厳しくなることが想定されます。これに加え、本市では、市町村合併前に整備した同種目的の公共施設が今後一斉に老朽化する見込みであり、保有する公共施設を今後もそのままの規模で維持、更新していく場合、多額の財源が必要となり、場合によっては他の市民サービスに係る予算を削減して財源を生み出さなければならない事態も想定されます。

こうした事態を回避し、持続可能な射水市を作り上げていくため、公共施設の再編や総量削減を含む公共施設マネジメントは、避けて通ることができない課題となっています。



(2) 公共施設マネジメントに係るこれまでの主な取組

本市では、「次世代に過度の負担を強いることのない、将来を見据えた本市の規模に見合った適正な公共施設等の維持」を基本目標とした「射水市公共施設等総合管理計画(以下「総合管理計画」という。)」を平成28年9月に策定し、令和2年3月には公共施設の再編に係る基本方針を整理した「射水市公共施設再編方針(以下「再編方針」という。)」を策定するなど、これまで様々な取組を進めてきました。

年月	名称	概要
平成28年9月	射水市公共施設等総合管理計画	公共施設等の適正管理・運営と安定した財政運営の両立に向け、令和36年度末までの40年間における建物延床面積の削減目標(77,820㎡、保有総量の20%)を設定
令和2年3月	射水市公共施設再編方針	個別施設計画の策定につなげるため、各施設の再編の方向性やそのおおまかな実施時期等を整理

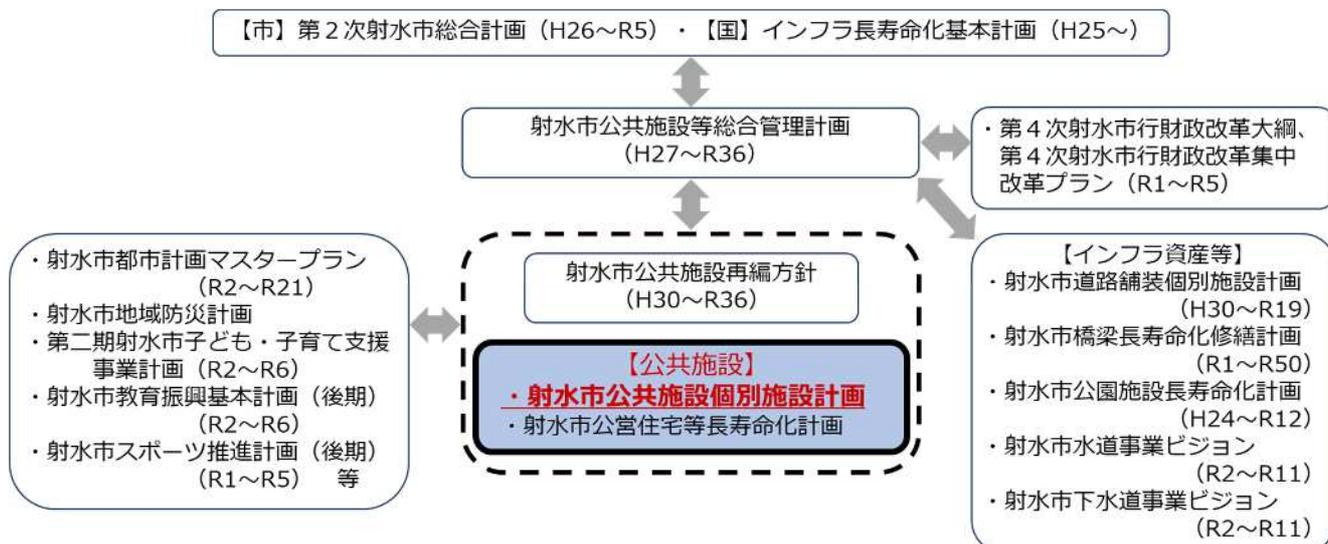
令和36年度までの40年間における財政予測や人口減少率(目標人口ベース)等を基に、施設類型ごとの削減想定面積を算出し、それらを合計したものの。

(3) 計画の目的

射水市公共施設個別施設計画(以下「本計画」という。)は、再編方針で整理した各施設の方向性(集約化、廃止・休止、在り方検討、大規模改修等)の実施時期や想定される選択肢等をより具体的に示すとともに、実施に向けた課題等を整理し、総合管理計画の着実な進捗を図ることを目的として策定するものです。

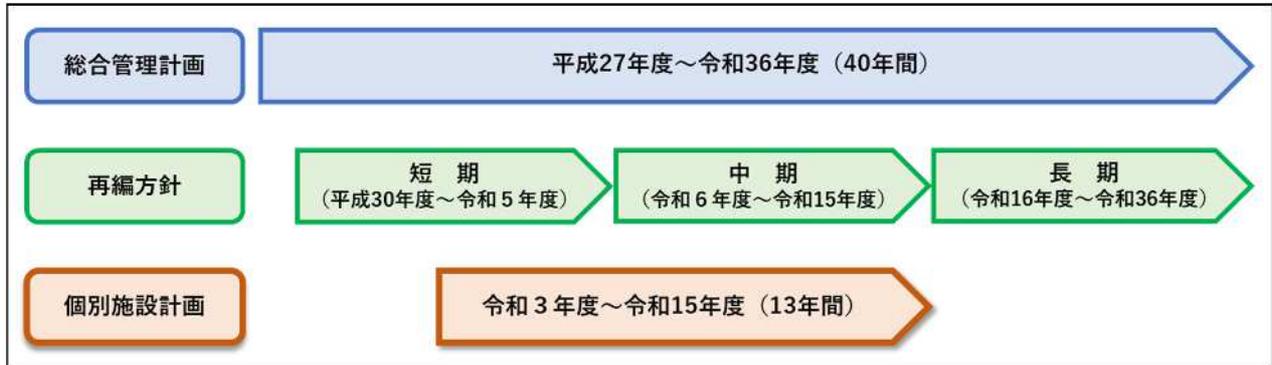
(4) 計画の位置づけ

本計画は、総合管理計画が掲げる基本目標や数値目標の実現に向け、本市の公共施設に係る今後の具体的な取組を示す実施計画として位置づけます。また、本計画は、国のインフラ長寿命化基本計画に基づく個別施設計画として策定するものです。



2 計画期間

本計画の計画期間は、再編方針が示す実施時期のうち、短期の後半及び中期（令和3年度から令和15年度まで）の13年間とします。



3 対象施設

本計画の対象施設は、再編方針の対象施設から別途計画を策定する市営住宅等を除き、新たに整備した観光交流センター等を追加した157施設とします。

大分類	小分類	対象施設
市民文化系 (34)	コミュニティセンター (27)	放生津、新湊、庄西、作道、片口、堀岡、海老江、七美、本江、塚原、三ヶ、戸破、橋下条、金山、大江、黒河、池多、太閤山、中太閤山、南太閤山、浅井、櫛田、水戸田、二口、大門、大島、下村
	その他集会(4)	新湊交流会館、いみず市民交流プラザ、観光交流センター、庄川水辺の交流館
	ホール(3)	新湊中央文化会館、小杉文化ホール、大門総合会館
社会教育系 (10)	図書館(4)	中央図書館、新湊図書館、正力図書館、下村図書館
	博物館等(6)	新湊博物館、小杉展示館、竹内源造記念館、陶房「匠の里」、大島絵本館、下村民俗資料館
スポーツ・レクリエーション系 (14)	主要体育館(6)	新湊総合体育館、小杉総合体育センター、小杉体育館、大門総合体育館、大島体育館、下村体育館
	地区体育館(1)	七美体育館
	主要グラウンド(1)	サン・ビレッジ新湊
	野球場(1)	歌の森運動公園野球場
	弓道場(1)	大島弓道場
	プール(1)	海竜スポーツランド
	パークゴルフ場(2)	パークゴルフ南郷、下村パークゴルフ場
その他スポーツ(1)	下村馬事公園	
産業系(7)	農村環境(3)	新湊農村環境改善センター、大門農村環境改善センター、大島農村環境改善センター
	地域振興・休憩(3)	道の駅新湊、川の駅新湊、いみず観光情報館
	浴場(1)	大門コミュニティセンター

大分類	小分類	対象施設
学校教育系 (22)	小学校(15)	放生津、新湊、作道、片口、堀岡、東明、塚原、小杉、金山、歌の森、太閤山、中太閤山、大門、下村、大島
	中学校(6)	新湊、新湊南部、射北、小杉、小杉南、大門
	その他教育(1)	学校給食センター
子育て支援 (24)	保育園(11)	放生津、八幡、片口、塚原、金山、大江、千成、池多、大門きらら、大島南部、下村
	幼稚園(1)	七美
	認定こども園(1)	大門わかば幼稚園
	児童館(5)	海老江児童センター、太閤山、大門、大島、下村
	放課後児童クラブ(5)	とねりこ学級(片口小学校放課後児童クラブ) なでしこクラブ(堀岡小学校放課後児童クラブ) ピノキオ学級B組(歌の森小学校放課後児童クラブ) ひばり学級(小杉小学校放課後児童クラブ) 道の子学級(作道小学校放課後児童クラブ)
	その他幼児・児童(1)	子ども子育て総合支援センター
保健福祉 (2)	その他高齢者福祉(1)	いきいき長寿館
	保健センター(1)	射水市保健センター
行政系 (37)	庁舎(3)	庁舎、大島分庁舎、布目分庁舎別館
	消防署(4)	射水消防署、新湊消防署、射水消防署大門出張所、 新湊消防署東部出張所
	消防分団屯所 (26)	放生津、新湊、庄西、塚原、作道、片口、七美、堀岡、海老江、本江、 戸破、三ヶ、橋下条、金山、大江、黒河、池多、太閤山、 中・南太閤山、大門、榎田、浅井、水戸田、二口、大島、下
	その他行政系(4)	新湊地区センター、小杉地区センター、大門地区センター、 下地区センター
供給処理 (5)	ごみ処理(3)	クリーンピア射水、ミライクル館、野手埋立処分所
	し尿処理(1)	衛生センター
	浴場(1)	クリーンピア射水温浴施設
その他(2)	その他(2)	斎場、小杉駅南口駅舎

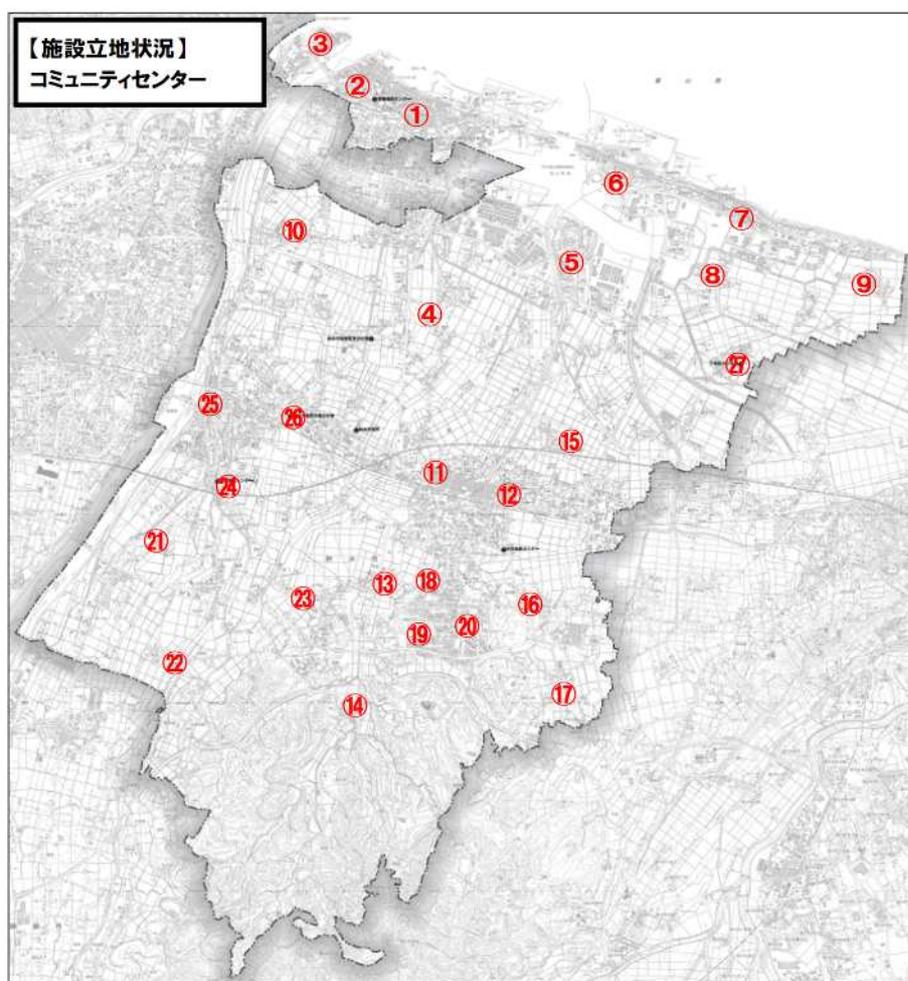
第2章 施設ごとの計画

1 市民文化系施設

(1) コミュニティセンター

大分類	小分類	対象施設
市民文化系 (34)	コミュニティセンター (27)	放生津、新湊、庄西、作道、片口、堀岡、海老江、七美、本江、塚原、三ヶ、戸破、橋下条、金山、大江、黒河、池多、太閤山、中太閤山、南太閤山、浅井、櫛田、水戸田、二口、大門、大島、下村

配置状況



放生津コミュニティセンター
 新湊コミュニティセンター
 庄西コミュニティセンター
 作道コミュニティセンター
 片口コミュニティセンター
 堀岡コミュニティセンター
 海老江コミュニティセンター
 七美コミュニティセンター
 本江コミュニティセンター
 塚原コミュニティセンター
 三ヶコミュニティセンター
 戸破コミュニティセンター
 橋下条コミュニティセンター
 金山コミュニティセンター
 大江コミュニティセンター
 黒河コミュニティセンター
 池多コミュニティセンター
 太閤山コミュニティセンター
 中太閤山コミュニティセンター
 南太閤山コミュニティセンター
 浅井コミュニティセンター
 櫛田コミュニティセンター
 水戸田コミュニティセンター
 二口コミュニティセンター
 大門コミュニティセンター
 大島コミュニティセンター
 下村コミュニティセンター

施設の役割

コミュニティセンターは、「地域づくり」「生涯学習活動」「地域住民の交流」を目的とした地域のまちづくりの拠点施設としての役割を担っています。

近年はこうした目的に加え、子育て支援や高齢者福祉サービス等の提供の場としても利用されるなど、より重層的に活用されており、市民の利便性や施設としての重要性はますます高まっています。

老朽化状況と過去の工事等の履歴

対象施設の老朽化状況と過去に実施した主な工事等は、以下のとおりです。

(凡例... A : おおむね健全 B : やや劣化 C : 劣化 D : 著しい劣化)

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等(着工年度)
1	放生津コミュニティセンター	敷地・地盤	B	・沈下による床タイル部と縁石の隙間	<ul style="list-style-type: none"> ・2階事務室系統空調設備更新工事(H25) ・1階集会室系統空調設備更新工事(H26) ・2階ホール系統空調設備更新工事(H28)
		外部	B		
		屋上・屋根	A		
		内部	B	・内壁亀裂	
2	新湊コミュニティセンター	敷地・地盤	B	・外壁と床隙間	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場増設工事(H19) ・空調設備改修工事(H29)
		外部	B	・外壁亀裂、外壁タイル亀裂	
		屋上・屋根	A		
		内部	B	・内壁亀裂、雨漏り跡	
3	庄西コミュニティセンター	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	B	・内装仕上げ材隙間	
4	作道コミュニティセンター	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
5	片口コミュニティセンター	敷地・地盤	B	・花壇基礎と床タイルの隙間	
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
6	堀岡コミュニティセンター	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
7	海老江コミュニティセンター	敷地・地盤	A		<ul style="list-style-type: none"> ・屋上手摺及び屋外階段設置工事(H25)
		外部	B	・外壁タイル亀裂	
		屋上・屋根	A		
		内部	A		

	施設名	老朽化状況		主な工事等（着工年度）	
			特記事項		
8	七美コミュニティセンター	敷地・地盤	-		
		外部	-		
		屋上・屋根	-		
		内部	-		
9	本江コミュニティセンター	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
10	塚原コミュニティセンター	敷地・地盤	A		
		外部	B	・外壁亀裂	
		屋上・屋根	A		
		内部	B	・内壁仕上げ材の亀裂、切れ	
11	三ヶコミュニティセンター	敷地・地盤	A	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房設備工事(H15) ・集会室床張替工事(H18) ・事務室改修工事(H22) ・駐車場増設工事(H23) 	
		外部	B		・外壁亀裂、外壁タイル亀裂
		屋上・屋根	A		
		内部	B		・内壁亀裂
12	戸破コミュニティセンター	敷地・地盤	B	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房設備工事(H16) ・事務室改修工事(H22) ・駐車場整備工事(H29) 	
		外部	B		・縁石の亀裂
		屋上・屋根	A		・外壁亀裂、外壁タイル剥がれ
		内部	B		・内壁の隙間、床の亀裂
13	橋下条コミュニティセンター	敷地・地盤	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ウッドデッキ改修工事(R1) 	
		外部	B		・基礎巾木亀裂
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
14	金山コミュニティセンター	敷地・地盤	A	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水改修工事冷暖房設備工事(H16) ・放課後児童室増築工事(H22) ・空調設備更新工事(H28) ・2階男女トイレブース改修工事(H30) 	
		外部	B		・外壁亀裂
		屋上・屋根	A		
		内部	B		・内壁亀裂、天井仕上材の剥がれ
15	大江コミュニティセンター	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
16	黒河コミュニティセンター	敷地・地盤	A		
		外部	B	・外壁亀裂	
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
17	池多コミュニティセンター	敷地・地盤	A	<ul style="list-style-type: none"> ・大集会室床張替工事(H15) ・冷暖房設備工事(H16) ・事務室改修工事(H21) ・非常照明取替工事(R1) 	
		外部	B		・外壁亀裂
		屋上・屋根	A		
		内部	B		・内壁亀裂

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等（着工年度）
18	太閤山コミュニティセンター	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
19	中太閤山コミュニティセンター	敷地・地盤	A		<ul style="list-style-type: none"> ・事務室増築工事(H22) ・駐車場等整備工事(H25) ・外壁改装工事(H28) ・2階トイレ洋式化工事(H30)
		外部	B	・外壁亀裂	
		屋上・屋根	C	・押さえモルタル亀裂多数	
		内部	B	・内壁亀裂、床亀裂	
20	南太閤山コミュニティセンター	敷地・地盤	B	・擁壁に亀裂	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房設備工事(H16) ・2階トイレ洋式化工事(H29)
		外部	B	・外壁亀裂	
		屋上・屋根	B	・バルコニー床亀裂	
		内部	B	・内壁亀裂、内壁仕上げ剥がれ	
21	浅井コミュニティセンター	敷地・地盤	B	・土間亀裂	
		外部	B	・外壁亀裂	
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
22	榎田コミュニティセンター	敷地・地盤	A		
		外部	B	・外壁タイル亀裂	
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
23	水戸田コミュニティセンター	敷地・地盤	B	・フェンスの基礎の亀裂、土間亀裂	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場整備工事(H21) ・事務室改修工事(H22) ・耐震補強及び大規模改造工事(H25)
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
24	二口コミュニティセンター	敷地・地盤	B	・外部土間に亀裂	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的ホール等増築及び大規模改造工事(H23)
		外部	B	・外壁亀裂	
		屋上・屋根	B	・雨漏り	
		内部	B	・床に亀裂、内壁に亀裂	
25	大門コミュニティセンター	敷地・地盤	A		<ul style="list-style-type: none"> ・敷地改修工事(H29) ・駐車場整備工事(H29) ・非常放送設備等整備工事(H29) ・外壁塗装他整備工事(H30)
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	B	・内壁剥がれ	
26	大島コミュニティセンター	敷地・地盤	-		
		外部	-		
		屋上・屋根	-		
		内部	-		

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等（着工年度）
27	下村コミュニティセンター	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		

老朽化状況は、原則として建築基準法第 12 条の規定による定期調査の結果を参考に記載しています。

七美コミュニティセンター建築工事实施中（令和 2 年度～ 3 年度）

旧大島社会福祉センター改修工事实施（令和 2 年度）

施設の課題と今後の方向性

これまで、耐震基準を満たしていないコミュニティセンターの耐震化等に優先的に取り組んできましたが、耐震化等の完了についてはめどがついたことから、今後は、原則として建築後おおむね 40 年を経過し、老朽化が著しい施設から順に、大規模改修を基本とし計画的に施設の保全等を図ります。併せて、地域住民の利便性向上及び施設の整備財源確保の観点から、周辺施設との機能の複合化も検討します。

ソフト面では、引き続き、子育て支援・高齢者福祉など新たな地域ニーズに沿った重層的な活用を進め、稼働率（令和元年度平均 9.6%）の更なる向上につなげます。

具体的な対策と実施時期

【施設概要の凡例】

- ・経過年数：令和3年4月1日時点の経過年数
- ・構造：S（鉄骨造） RC（鉄筋コンクリート造） SRC（鉄骨鉄筋コンクリート造） W（木造）
- ・耐用年数：「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）で、構造や用途によって定められている耐用年数に基づき市の固定資産台帳に記載したものの
- ・その他：令和元年度実績（稼働率：利用時間 / 利用可能時間）

	施設名	施設概要				実施時期	短期				
		年度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)				
8	七美 コミュニティ センター	建築年度	昭和54 (1979)	延利用者数	6,715人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	5,151千円	取組内容	移転新築	解体			
		経過年数	42	維持管理費/ 延利用者数	767円/人						
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	9.2%						
地域振興・文化課	延床面積	493.41㎡	避難所収容 可能人数	172人	概算事業費	449百万円	11百万円				
19	中太閤山 コミュニティ センター	建築年度	昭和57 (1982)	延利用者数	16,808人	経過年数		築後40年			
		改修年度	—	維持管理費	5,939千円	取組内容	実施設計・大規模改修等				
		経過年数	39	維持管理費/ 延利用者数	353円/人						
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	10.8%						
地域振興・文化課	延床面積	731.14㎡	避難所収容 可能人数	255人	概算事業費	204百万円					
17	池多 コミュニティ センター	建築年度	昭和57 (1982)	延利用者数	5,812人	経過年数		築後40年			
		改修年度	—	維持管理費	6,240千円	取組内容	実施設計・大規模改修等				
		経過年数	39	維持管理費/ 延利用者数	1,074円/人						
		構造/ 耐用年数	SRC/50年	稼働率	3.9%						
地域振興・文化課	延床面積	812.16㎡	避難所収容 可能人数	264人	概算事業費			226百万円			
11	三ヶ コミュニティ センター	建築年度	昭和61 (1986)	延利用者数	10,408人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	5,758千円	取組内容					
		経過年数	35	維持管理費/ 延利用者数	553円/人						
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	11.5%						
地域振興・文化課	延床面積	757.30㎡	避難所収容 可能人数	215人	概算事業費						
14	金山 コミュニティ センター	建築年度	昭和62 (1987)	延利用者数	13,803人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	5,159千円	取組内容					
		経過年数	34	維持管理費/ 延利用者数	374円/人						
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	4.7%						
地域振興・文化課	延床面積	637.94㎡	避難所収容 可能人数	215人	概算事業費						
12	戸破 コミュニティ センター	建築年度	昭和63 (1988)	延利用者数	18,483人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	5,992千円	取組内容					
		経過年数	33	維持管理費/ 延利用者数	324円/人						
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	10.7%						
地域振興・文化課	延床面積	740.03㎡	避難所収容 可能人数	251人	概算事業費						
20	南太閤山 コミュニティ センター	建築年度	平成2 (1990)	延利用者数	16,824人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	6,211千円	取組内容					
		経過年数	31	維持管理費/ 延利用者数	369円/人						
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	14.2%						
地域振興・文化課	延床面積	941.50㎡	避難所収容 可能人数	326人	概算事業費						

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
			築後50年 耐用年数					令和2から3年度にかけて移転 新築工事を実施
						築後50年 耐用年数		大規模改修を基本に施設の保全 等を図っていく。
						築後50年 耐用年数		大規模改修を基本に施設の保全 等を図っていく。
築後40年								大規模改修を基本に施設の保全 等を図っていく。
実施設計・大規模改修等								
219百万円								
	築後40年							大規模改修を基本に施設の保全 等を図っていく。
		実施設計・大規模改修等						
		184百万円						
		築後40年						大規模改修を基本に施設の保全 等を図っていく。
			実施設計・大規模改修等					
			214百万円					
				築後40年				大規模改修を基本に施設の保全 等を図っていく。
					実施設計・大規模改修等			
					272百万円			

射水市公共施設個別施設計画

	施設名	施設概要				実施時期 年度	短期				
							R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
2	新湊 コミュニティ センター	建築年度	平成5 (1993)	延利用者数	21,571人	経過年数			築後30年		
		改修年度	—	維持管理費	7,314千円	取組内容					
		経過年数	28	維持管理費/ 延利用者数	339円/人						
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	14.0%						
	地域振興・文化課	延床面積	863.79㎡	避難所収容 可能人数	302人	概算事業費					
1	放生津 コミュニティ センター	建築年度	平成9 (1997)	延利用者数	19,541人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	10,559千円	取組内容					
		経過年数	24	維持管理費/ 延利用者数	540円/人						
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	12.2%						
	地域振興・文化課	延床面積	1,393.14㎡	避難所収容 可能人数	234人	概算事業費					
7	海老江 コミュニティ センター	建築年度	平成13 (2001)	延利用者数	14,152人	経過年数	築後20年				
		改修年度	—	維持管理費	5,928千円	取組内容					
		経過年数	20	維持管理費/ 延利用者数	419円/人						
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	15.5%						
	地域振興・文化課	延床面積	652.54㎡	避難所収容 可能人数	228人	概算事業費					
25	大門 コミュニティ センター	建築年度	平成13 (2001)	延利用者数	5,639人	経過年数	築後20年				
		改修年度	—	維持管理費	4,533千円	取組内容					
		経過年数	20	維持管理費/ 延利用者数	804円/人						
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	5.8%						
	地域振興・文化課	延床面積	446.45㎡	避難所収容 可能人数	156人	概算事業費					
13	橋下条 コミュニティ センター	建築年度	平成15 (2003)	延利用者数	9,624人	経過年数		築後20年			
		改修年度	—	維持管理費	6,862千円	取組内容					
		経過年数	18	維持管理費/ 延利用者数	713円/人						
		構造/ 耐用年数	W/24年	稼働率	11.7%						
	地域振興・文化課	延床面積	984.01㎡	避難所収容 可能人数	344人	概算事業費					
15	大江 コミュニティ センター	建築年度	平成17 (2005)	延利用者数	9,543人	経過年数					築後20年
		改修年度	—	維持管理費	5,941千円	取組内容					
		経過年数	16	維持管理費/ 延利用者数	623円/人						
		構造/ 耐用年数	W/24年	稼働率	9.2%						
	地域振興・文化課	延床面積	1,057.04㎡	避難所収容 可能人数	349人	概算事業費					
16	黒河 コミュニティ センター	建築年度	平成17 (2005)	延利用者数	18,082人	経過年数					築後20年
		改修年度	—	維持管理費	6,756千円	取組内容					
		経過年数	16	維持管理費/ 延利用者数	374円/人						
		構造/ 耐用年数	SRC/50年	稼働率	13.8%						
	地域振興・文化課	延床面積	1,099.98㎡	避難所収容 可能人数	374人	概算事業費					
22	櫛田 コミュニティ センター	建築年度	平成17 (2005)	延利用者数	20,782人	経過年数					築後20年
		改修年度	—	維持管理費	7,888千円	取組内容					
		経過年数	16	維持管理費/ 延利用者数	380円/人						
		構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	12.7%						
	地域振興・文化課	延床面積	1,786.60㎡	避難所収容 可能人数	625人	概算事業費					

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
							築後40年	
	築後30年							
					築後30年			
					築後30年			
	耐用年数						築後30年	計画期間内に法定耐用年数に達するが、現時点において老朽化が目立つ状況ではないため、適切に保全しながら使用していく。
			耐用年数					計画期間内に法定耐用年数に達するが、現時点において老朽化が目立つ状況ではないため、適切に保全しながら使用していく。

射水市公共施設個別施設計画

	施設名	施設概要				実施時期 年度	短期						
							R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)		
21	浅井 コミュニティ センター	建築年度	平成18 (2006)	延利用者数	20,131人	経過年数							
		改修年度	—	維持管理費	10,221千円		取組内容						
		経過年数	15	維持管理費/ 延利用者数	508円/人								
		構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	5.5%								
	地域振興・文化課	延床面積	1,837.66㎡	避難所収容 可能人数	643人	概算事業費							
10	塚原 コミュニティ センター	建築年度	平成21 (2009)	延利用者数	15,313人	経過年数							
		改修年度	—	維持管理費	5,213千円		取組内容						
		経過年数	12	維持管理費/ 延利用者数	340円/人								
		構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	7.6%								
	地域振興・文化課	延床面積	671.49㎡	避難所収容 可能人数	235人	概算事業費							
24	二口 コミュニティ センター	建築年度	昭和55 (1980)	延利用者数	13,264人	経過年数							
		改修年度	平成22 (2010)	維持管理費	5,663千円		改修後年数						
		経過年数	41	維持管理費/ 延利用者数	427円/人			取組内容					
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	8.6%								
	地域振興・文化課	延床面積	762.33㎡	避難所収容 可能人数	278人	概算事業費							
18	太閤山 コミュニティ センター	建築年度	平成23 (2011)	延利用者数	37,747人	経過年数	築後10年						
		改修年度	—	維持管理費	6,586千円		取組内容						
		経過年数	10	維持管理費/ 延利用者数	174円/人								
		構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	21.0%								
	地域振興・文化課	延床面積	1,048.35㎡	避難所収容 可能人数	349人	概算事業費							
3	庄西 コミュニティ センター	建築年度	平成24 (2012)	延利用者数	11,917人	経過年数		築後10年					
		改修年度	—	維持管理費	6,475千円		取組内容						
		経過年数	9	維持管理費/ 延利用者数	543円/人								
		構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	4.1%								
	地域振興・文化課	延床面積	957.01㎡	避難所収容 可能人数	334人	概算事業費							
23	水戸田 コミュニティ センター	建築年度	昭和54 (1979)	延利用者数	11,364人	経過年数							
		改修年度	平成25 (2013)	維持管理費	5,966千円		改修後年数			改修後10年			
		経過年数	42	維持管理費/ 延利用者数	525円/人			取組内容					
		構造/ 耐用年数	SRC/50年	稼働率	8.7%								
	地域振興・文化課	延床面積	930.55㎡	避難所収容 可能人数	339人	概算事業費							
5	片口 コミュニティ センター	建築年度	平成26 (2014)	延利用者数	9,848人	経過年数					築後10年		
		改修年度	—	維持管理費	6,074千円		取組内容						
		経過年数	7	維持管理費/ 延利用者数	617円/人								
		構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	4.8%								
	地域振興・文化課	延床面積	845.93㎡	避難所収容 可能人数	295人	概算事業費							
4	作道 コミュニティ センター	建築年度	平成28 (2016)	延利用者数	10,936人	経過年数							
		改修年度	—	維持管理費	4,904千円		取組内容						
		経過年数	5	維持管理費/ 延利用者数	448円/人								
		構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	5.5%								
	地域振興・文化課	延床面積	849.29㎡	避難所収容 可能人数	297人	概算事業費							

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
築後20年								
			築後20年					
				築後50年 耐用年数				
				改修後20年				
					築後20年			
						築後20年		
			築後50年 耐用年数					
							改修後20年	
築後10年								

射水市公共施設個別施設計画

	施設名	施設概要				実施時期	短期				
						年度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
6	堀岡 コミュニティ センター	建築年度	平成30 (2018)	延利用者数	15,832人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	5,113千円	取組内容					
		経過年数	3	維持管理費/ 延利用者数	323円/人						
		構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	5.6%						
	地域振興・文化課	延床面積	1,062.41㎡	避難所収容 可能人数	363人	概算事業費					
9	本江 コミュニティ センター	建築年度	令和2 (2020)	延利用者数	(2,471人)	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	(4,435千円)	取組内容					
		経過年数	1	維持管理費/ 延利用者数	(1,795円/人)						
		構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	(3.9%)						
	地域振興・文化課	延床面積	867.70㎡	避難所収容 可能人数	304人	概算事業費					
27	下村 コミュニティ センター	建築年度	令和2 (2020)	延利用者数	—	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	(4,536千円)	取組内容					
		経過年数	1	維持管理費/ 延利用者数	—						
		構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	—						
	地域振興・文化課	延床面積	779.68㎡	避難所収容 可能人数	273人	概算事業費					
26	大島 コミュニティ センター (旧大島社会 福祉センター)	建築年度	昭和55 (1980)	延利用者数	(16,680人)	経過年数					
		改修年度	令和2 (2020)	維持管理費	(4,578千円)	改修後年数					
		経過年数	41	維持管理費/ 延利用者数	(274円/人)	取組内容	旧コミセン 解体等				
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	(13.9%)						
	地域振興・文化課	延床面積	2,168.90㎡	避難所収容 可能人数	(約750人)	概算事業費	83百万円				

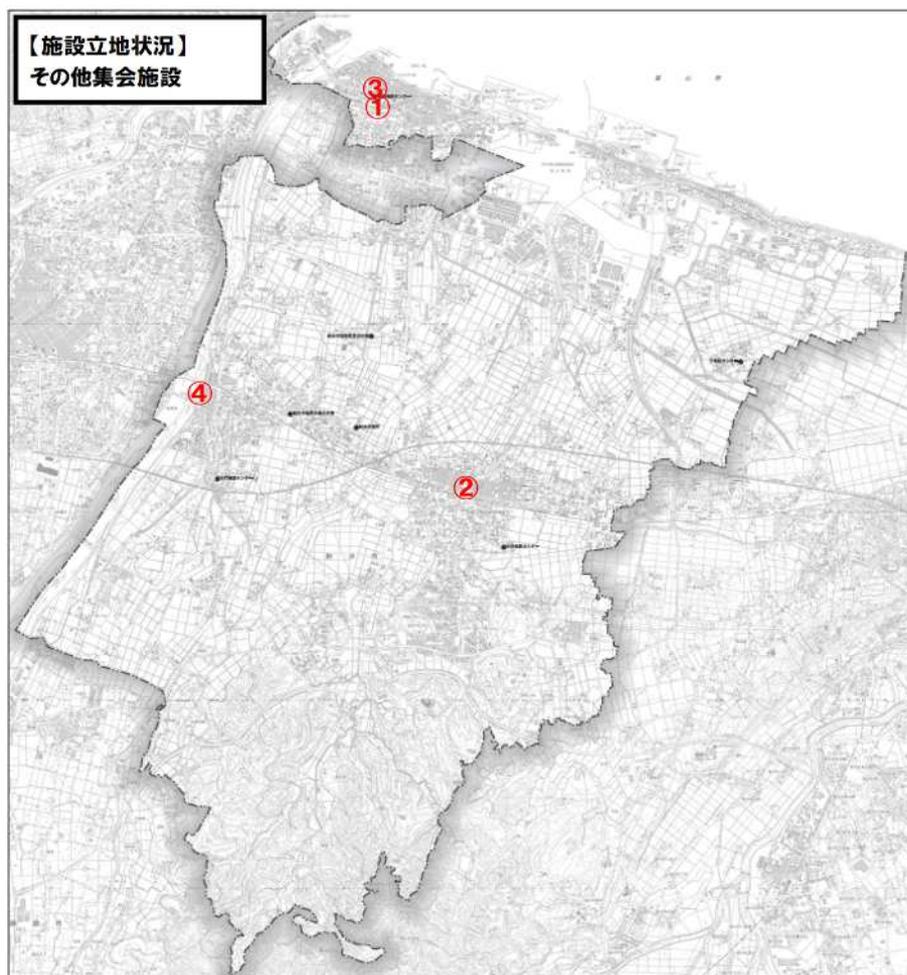
注：各工事等の実施時期や内容は、現在想定される目安であり、今後の社会経済情勢等の変化や総合計画等の見直し等により、大きく変動する可能性があります。また、概算事業費は、同種工事の直近の単価等を基に機械的に試算したものであり、財政見直し等との整合を図ったものではありません。

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
		築後10年						
				築後10年				
				築後10年				
				築後50年 耐用年数				令和2年度に旧大島社会福祉センターを改修し、令和3年4月1日から供用を開始する予定
				改修後10年				

(2) その他集会施設

大分類	小分類	対象施設
市民文化系 (34)	その他集会(4)	新湊交流会館、いみず市民交流プラザ、観光交流センター、庄川水辺の交流館

配置状況



新湊交流会館
いみず市民交流
プラザ
観光交流センター
庄川水辺の交流館

施設の役割

・新湊交流会館

新湊交流会館は、市民活動の活性化及び市民相互の交流促進を図り、市民生活の向上及び住み良い地域社会づくりの推進を目的に、平成8年度に供用開始した施設です。最大75名が収容できるホールや研修室等の貸室のほか、隣接していた旧新湊福祉会館を平成21年度に廃止・解体したことに伴い、射水市社会福祉協議会新湊支所が移転・入居し、併せてボランティアルームや多目的トイレ等を増築しました。

こうした経緯から、当施設は新湊地区のボランティア・福祉活動の拠点となっており、視覚障がい者のための広報の録音作業なども行われています。

・いみず市民交流プラザ

いみず市民交流プラザは、地域福祉、生涯学習等の分野において市民が交流できる場を創出し、もって市民生活の向上及び地域の活性化を図ることを目的とした施設です。平成30年度から令和元年度にかけて旧小杉社会福祉会館を再整備し、現在に至ります。

最大424名が収容できるふれあいホールや研修室、会議室、キッチンスタジオ、和室、屋上を利用した青空ひろばのほか、2階には、射水市社会福祉協議会、射水市商工会、射水市中心身障害者連合会、射水市老人クラブ連合会及び射水保護司会の事務所が入居しています。

・観光交流センター

観光交流センターは、射水ベイエリアの新たな観光交流拠点として、本市の魅力発信及び市民と観光客との交流の場を創出し、観光振興及び地域活性化を図ることを目的とした施設です。本センターが入居するクロスベイ新湊は、PPPの手法により整備された施設で、その施設の一部を民間から賃貸して運営しています。

施設には、最大240名が収容でき、コンベンションや各種イベント等に活用できるコンベンションホールや創業者支援を目的としたシェアキッチン、新湊地区の交通拠点となる公共交通ターミナルが整備されています。

・庄川水辺の交流館

庄川水辺の交流館は、庄川を訪れる様々な人にトイレや休憩場として利用されています。現在、管理・運営を大門地域振興会に委託しており、令和元年度から同地域振興会が主体となり朝市が開催されるなど、地域の交流、賑わいの場としても活用されています。

老朽化状況と過去の工事等の履歴

対象施設の老朽化状況と過去に実施した主な工事等は、以下のとおりです。

(凡例... A：おおむね健全 B：やや劣化 C：劣化 D：著しい劣化)

	施設名	老朽化状況		主な工事等(着工年度)	
			特記事項		
1	新湊交流会館	敷地・地盤	B	・舗装・外構等の劣化	・増築工事(建築主体工事)(H22) ・増築工事(電気設備工事)(H22) ・増築工事(機械設備工事)(H22) ・2階大ホール北側系統空調機更新工事(H29) ・昇降機改修工事(R1)
		外部	B	・基礎等の劣化	
		屋上・屋根	B	・屋根材の劣化	
		内部	B	【内装】 ・内壁・天井等の劣化	
			D	【設備】 ・空調の劣化	

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等（着工年度）
2	いみず市民交流プラザ	敷地・地盤	A		<ul style="list-style-type: none"> ・改修・改築（建築主体）工事（H30） ・改修・改築（電気設備）工事（H30） ・改修・改築（機械設備）工事（H30）
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
3	観光交流センター	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
4	庄川水辺の交流館	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		

老朽化状況は、原則として建築基準法第 12 条の規定による定期調査の結果を参考に記載しています。

施設の課題と今後の方向性

・新湊交流会館

新湊交流会館の稼働率は、令和元年度から指定管理者が変更し、大幅に改善しています。（稼働率：平成 28 年度 8.4% 令和元年度 40.9%）

同会館は平成 7 年度築、一部は平成 22 年度に増築（RC 造）と比較的新しく、また耐用年数が 50 年と長い建物であることから、引き続き適切に保全していきます。ただし、長期的には新湊地区の福祉活動の場としての機能に配慮しつつ、周辺施設を含めた在り方を検討します。

・いみず市民交流プラザ

いみず市民交流プラザは、市民交流の拠点施設として多くの方の利用を見込んでいます。今後は、より積極的なイベント開催や近隣のホテルと連携したコンベンションの誘致、更には射水市社会福祉協議会と射水市商工会が入居している強みを生かした「商福連携」の取組の促進など、稼働率の向上と多様な団体が入居することによる相乗効果の発現に取り組めます。

・観光交流センター

観光交流センターは、観光客を受け入れる交流拠点として、にぎわいを創出し地域活性化を図るために整備され、多くの方の利用を見込んでいます。

また、令和 4 年度中には、センターに隣接してホテルが開業予定であり、施設をそのホテルと連結し、互いのメリットを生かしながら相乗効果でまちの活性化を図ります。

・庄川水辺の交流館

庄川水辺の交流館は、現在のところ施設の老朽化等は見られません。引き続き、施設管理を委託している大門地域振興会と連携し、適切な維持管理・運営に努めます。

具体的な対策と実施時期

【施設概要の凡例】

- ・経過年数：令和3年4月1日時点の経過年数
- ・構造：S（鉄骨造） RC（鉄筋コンクリート造） SRC（鉄骨鉄筋コンクリート造） W（木造）
- ・耐用年数：「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）で、構造や用途によって定められている耐用年数に基づき市の固定資産台帳に記載したものの
- ・その他：令和元年度実績（稼働率：利用時間 / 利用可能時間）

	施設名	施設概要				実施時期	短期					
						年度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	
1	新湊交流会館	建築年度	平成7 (1995)	延利用者数	12,926人	経過年数						築後30年
		増築年度	平成22 (2010)	維持管理費	13,323千円	経過年数 (増築部分)						
		経過年数	26	維持管理費/ 延利用者数	1,031円/人	取組内容	空調改修・外壁補修等					
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	40.9%							
地域福祉課	延床面積	745.13㎡	避難所収容 可能人数	257人	概算事業費	5百万円	23百万円					
2	いみず市民 交流プラザ	建築年度	昭和53 (1978)	延利用者数	—	経過年数						
		改修年度	令和1 (2019)	維持管理費 (R3予算額)	19,312千円	改修後年数						
		経過年数	43	維持管理費/ 延利用者数	—	取組内容						
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	—							
地域福祉課	延床面積	3,092.83㎡	避難所収容 可能人数	730人	概算事業費							
3	観光交流 センター	建築年度	令和2 (2020)	延利用者数	—	経過年数						
		改修年度	—	維持管理費 (R3予算額)	39,577千円	取組内容						
		経過年数	1	維持管理費/ 延利用者数	—							
		構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	—							
政策推進課	延床面積	2,293.83㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費							
4	庄川水辺の 交流館	建築年度	平成19 (2007)	延利用者数	—	経過年数						
		改修年度	—	維持管理費	1,571千円	取組内容						
		経過年数	14	維持管理費/ 延利用者数	—							
		構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	—							
用地・河川管理課	延床面積	236.00㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費							

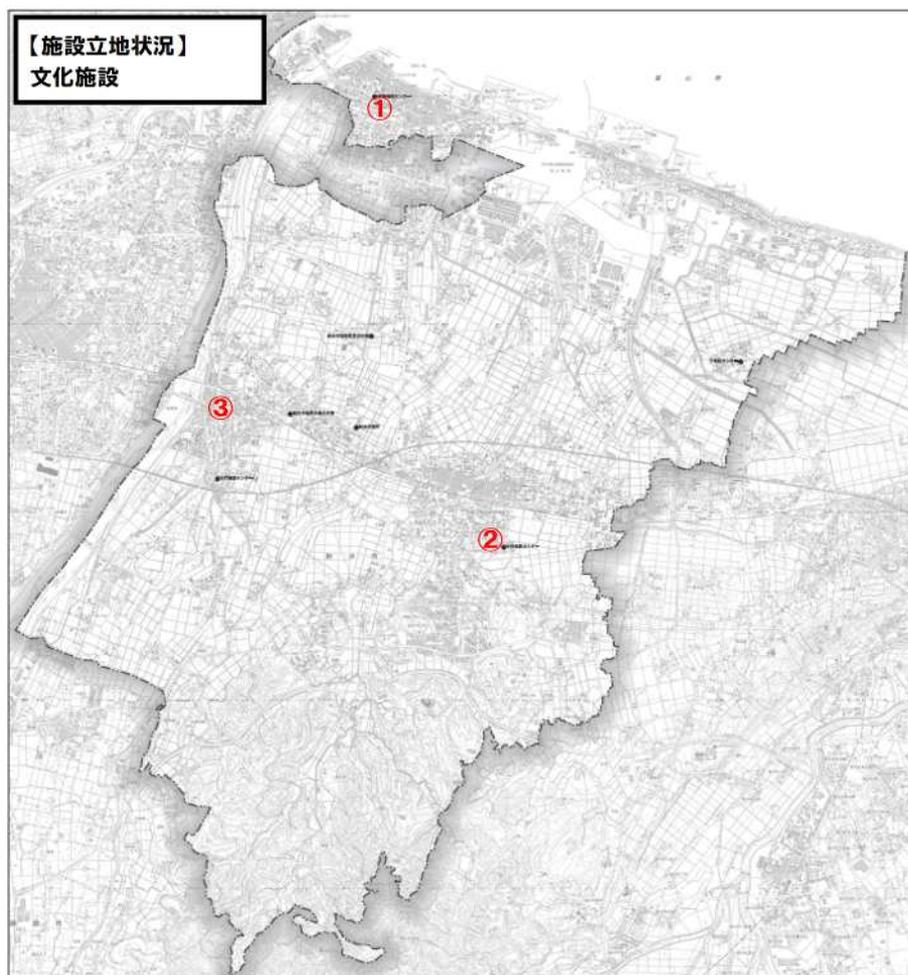
注：各工事等の実施時期や内容は、現在想定される目安であり、今後の社会経済情勢等の変化や総合計画等の見直し等により、大きく変動する可能性があります。また、概算事業費は、同種工事の直近の単価等を基に機械的に試算したものであり、財政見直し等との整合を図ったものではありません。

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
				築後20年 (増築部分)				長期的には、新湊地区の福祉活動の場としての機能に配慮しつつ、周辺の公共施設を含めた在り方を検討していく。
		築後50年 耐用年数						
			改修後10年					
				築後10年				
	築後20年							

(3)文化施設

大分類	小分類	対象施設
市民文化系 (34)	ホール(3)	新湊中央文化会館、小杉文化ホール、大門総合会館

配置状況



新湊中央文化会館
小杉文化ホール
大門総合会館

施設の役割

本市では、新湊中央文化会館、小杉文化ホール及び大門総合会館の3つの文化施設を設置しており、本市の芸術文化振興の拠点として、鑑賞機会や芸術文化活動の場の提供、活動団体の育成支援などの役割を担っています。

新湊中央文化会館は、1,220名の収容が可能な県西部最大規模の大ホールのほか、394名を収容する小ホール、会議室、研修室、展示室、茶室等のほか2階には新湊図書館があります。

小杉文化ホールは、818名の収容が可能でクラシック音楽専用ホールとして設計されたひびきホール、240名を収容するまどかホールのほか、研修室等から構成されています。

大門総合会館は、342名を収容する大ホール、各種会議やパーティー等に使用されているこぶしホール、会議室のほか、正力・小林記念館（1階）及び正力図書館（3階）があり、金融機関等（1階）が入居しています。

老朽化状況と過去の工事等の履歴

対象施設の老朽化状況と過去に実施した主な工事等は、以下のとおりです。

（凡例… A：おおむね健全 B：やや劣化 C：劣化 D：著しい劣化）

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等（着工年度）
1	新湊中央文化会館	敷地・地盤	B	・舗装の一部亀裂、小凸凹あり ・白線一部剥離	・建築、舞台機構、照明、音響設備改修(H20) ・地下オイルタンク内面ライニング(H24) ・空調用中央監視装置更新(H27) ・エレベーター更新、大ホールケーブル更新(H30) ・冷温水機オーバーホール(R2)
		外部	B	・外壁一部小ヒビ、小凸凹あり	
		屋上・屋根	B	・雨天時、部分的に雨漏りあり	
		内部	C	・雨漏り数か所 ・建築基準法既存不適格天井	
2	小杉文化ホール	敷地・地盤	B	・一部地盤沈下（南側インターロッキング、池） ・白線一部剥離	・吸収冷暖房部品取替(H25) ・外構改修(H26) ・ひびき・まどかホール照明、音響システム改修(H26) ・まどかホール幕取替(H28) ・西側駐車場整備、ひびきホール時計表示取替等(H29) ・非常電源蓄電池取替、加圧水ポンプ取替(H30) ・冷温水発生器・中央監視盤・冷却塔更新、ひびきホールマイクシステム更新(R1) ・まどかホールマイクシステム更新(R2)
		外部	C	・外壁一部色褪せ、小ヒビ、タイル浮き・落下、ヒビ・凸凹あり	
		屋上・屋根	C	・防水工事未実施	
		内部	C	・雨漏り数か所 ・建築基準法既存不適格天井 ・壁紙はがれ ・広範囲の床・壁タイル及びコンクリート亀裂	
3	大門総合会館	敷地・地盤	B	・舗装の一部亀裂、小凸凹あり ・白線一部剥離	・冷温水発生器2号機更新(H20) ・空調中央監視盤装置更新(H21) ・雑用水加圧給水ポンプユニット交換(H26) ・空調自動制御機器取替(H29) ・自動ドア修繕（北側）(H30) ・排煙装置防煙スクリーン修繕(R1)
		外部	B	・外壁の色褪せ	
		屋上・屋根	B	・一部小水たまりあり ・防水工事未実施	
		内部	C	・雨漏り数か所 ・建築基準法既存不適格天井	

老朽化状況は、原則として建築基準法第12条の規定による定期調査の結果を参考に記載しています。

施設の課題と今後の方向性

新湊中央文化会館は建築後 40 年が経過しており、平成 20 年度に大規模改修工事を実施していますが、改修後 20 年が経過する令和 10 年度頃に再度改修工事を実施する必要性が生じる可能性があります。小杉文化ホールは建築後 28 年、大門総合会館は建築後 34 年が経過していますが、いずれもこれまで大規模改修工事を実施していないことから劣化が進んでおり、3 館をこのまま維持していく場合、長寿命化や維持管理に多額の費用を要することが予想されます。(平成 20 年度の新湊中央文化会館大規模改修費：約 14.1 億円)

利用者数は、平成 21 年度から平成 30 年度までの 10 年間を見ると、小杉文化ホール及び大門総合会館は減少傾向にある上、ホールの稼働率は 3 館いずれも全国の同規模自治体におけるホールの稼働率と比較して、平均以下となっています。

【2018 年度の個別ホール稼働率 利用日数 / 利用可能日数】

	稼働率
市区町村施設（5～20 万人未満）の平均値	57.3%
射水市（3 館の平均値）	36.8%
新湊中央文化会館	41.9%
大ホール	39.8%
小ホール	44.1%
小杉文化ホール	47.0%
ひびきホール	40.4%
まどかホール	53.7%
大門総合会館 大ホール	8.4%

出典：2019 年度「地域の公立文化施設実態調査」報告書

また、本市の芸術文化の更なる振興には、新たな担い手育成のための体験型事業やアウトリーチ事業（施設外での芸術普及活動）の強化など、ソフト事業の一層の充実が必要と考えられ、そうした事業展開には施設ごとに専門性のある人材が必要です。しかし近年、人材不足が深刻な状況となっており、今後、3 館全てに専門人材を確保することは難しい状況です。

こうした状況を総合的に考慮し、本市の文化施設については、再編方針の方向性に沿い、市民ニーズに見合った 1 館の施設に機能を集約するなど効率的かつ効果的な施設運営を目指すとともに、芸術文化振興の今後のあるべき方向性を検討し、「(仮称)文化施設等再編基本構想」を、令和 5 年度（2023 年度）末までに策定します。

なお、基本構想の策定に当たっては、文化施設以外の公共施設や民間機能を含めた更なる複合化の可能性について検討するとともに、既存建物や跡地利活用の可能性についても調査・検討を行います。

具体的な対策と実施時期

【施設概要の凡例】

- ・経過年数：令和3年4月1日時点の経過年数
 - ・構造：S（鉄骨造） RC（鉄筋コンクリート造） SRC（鉄骨鉄筋コンクリート造） W（木造）
 - ・耐用年数：「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）で、構造や用途によって定められている耐用年数に基づき市の固定資産台帳に記載したものの
 - ・その他：令和元年度実績
- 稼働率は、利用時間 / 利用可能時間で計算しているため、27ページの稼働率と異なります。

施設名	施設概要				実施時期 年度	短期				
						R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
3 大門総合会館	建築年度	昭和62 (1987)	延利用者数	54,934人	経過年数					
	改修年度	—	維持管理費	52,667千円	取組内容	・再編基本構想の策定（方向性を決定） ・既存建物（又は跡地）の利活用の可能性の調査・検討				
	経過年数	34	維持管理費/ 延利用者数	959円/人						
	構造/ 耐用年数	SRC/50年	稼働率	17.4%						
地域振興・文化課	延床面積	5,654.14㎡	避難所収容 可能人数	1,665人	概算事業費					
2 小杉文化 ホール	建築年度	平成5 (1993)	延利用者数	61,462人	経過年数			築後30年		
	改修年度	—	維持管理費	94,768千円	取組内容	・再編基本構想の策定（方向性を決定） ・既存建物（又は跡地）の利活用の可能性の調査・検討				
	経過年数	28	維持管理費/ 延利用者数	1,542円/人						
	構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	16.9%						
地域振興・文化課	延床面積	5,714.32㎡	避難所収容 可能人数	1,999人	概算事業費					
1 新湊中央 文化会館	建築年度	昭和56 (1981)	延利用者数	98,379人	経過年数	築後40年				
	改修年度	平成20 (2008)	維持管理費	91,697千円	改修後年数					
	経過年数	40	維持管理費/ 延利用者数	932円/人	取組内容	・再編基本構想の策定（方向性を決定） ・既存建物（又は跡地）の利活用の可能性の調査・検討				
	構造/ 耐用年数	SRC/50年	稼働率	15.4%						
地域振興・文化課	延床面積	9,957.91㎡	避難所収容 可能人数	3,807人	概算事業費					

注：各工事等の実施時期や内容は、現在想定される目安であり、今後の社会経済情勢等の変化や総合計画等の見直し等により、大きく変動する可能性があります。また、概算事業費は、同種工事の直近の単価等を基に機械的に試算したものであり、財政見直し等との整合を図ったものではありません。

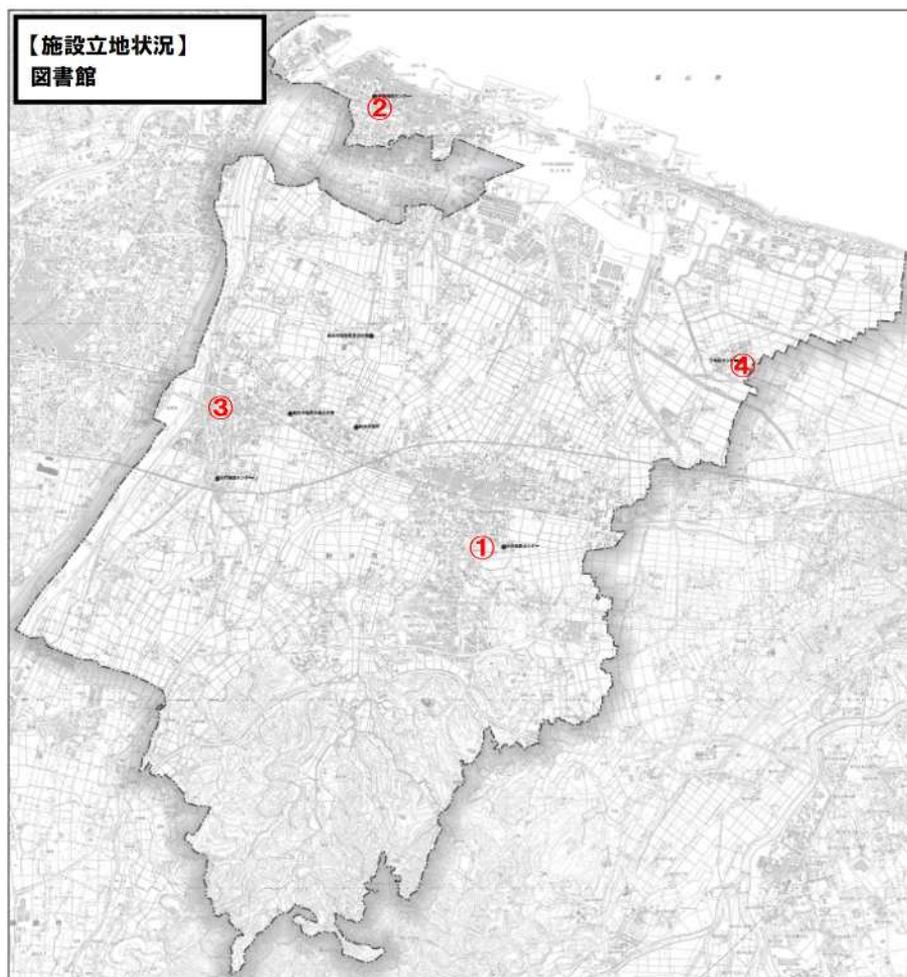
中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
	築後40年							大規模改修を実施しておらず、 設備を中心に老朽化が進んでおり、 早急な対策が必要
移転後、廃止 への機能移転後、廃止 修し、存続			既存建物（又は跡地）の利活用計画策定					
							築後40年	大規模改修を実施しておらず、 設備を中心に老朽化が進んでおり、 早急な対策が必要
移転後、廃止 への機能移転後、廃止 修し、存続			既存建物（又は跡地）の利活用計画策定					
					築後50年 耐用年数			改修後20年が経過する令和10 年度頃に再度改修工事を実施する 必要が生じる可能性がある。
		改修後20年						
移転後、廃止 への機能移転後、廃止 修し、存続			既存建物（又は跡地）の利活用計画策定					

2 社会教育系施設

(1) 図書館

大分類	小分類	対象施設
社会教育系 (10)	図書館(4)	中央図書館、新湊図書館、正力図書館、下村図書館

配置状況



中央図書館
新湊図書館
正力図書館
下村図書館

施設の役割

公立図書館は、乳幼児から高齢者まであらゆる世代の自己教育に資するとともに、市民が情報を入手し、芸術や文学を鑑賞するなど地域文化の創造に関わる場であり、図書館法に基づき図書館を設置し、図書館サービスを提供することは地方公共団体の責務とされています。

本市では、単独館である中央図書館のほか、複合施設である新湊図書館、正力図書館及び下村図書館の4館体制で業務を行っています。本市においても、多様な生涯学習ニーズに応えるため計画的に資料収集を行い、蔵書の充実を図り、市内4館の図書館をはじめ県立図書館及び県内市町村図書館と連携し、図書館相互の貸出業務や情報提供機能の拡充、読書活動の推進等、図書館サービスの向上に努めています。

老朽化状況と過去の工事等の履歴

対象施設の老朽化状況と過去に実施した主な工事等は、以下のとおりです。

(凡例... A：おおむね健全 B：やや劣化 C：劣化 D：著しい劣化)

	施設名	老朽化状況		主な工事等（着工年度）	
			特記事項		
1	中央図書館	敷地・地盤	B	・地盤沈下による床のタイル及びコンクリートの亀裂	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根雪止め金具設置工事(H25) ・屋根下地改修工事(H26) ・雨樋修繕工事(H30) ・ロールスクリーン等設置工事(R1)
		外部	A		
		屋上・屋根	C	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根の老朽化による雨漏りあり(4か所) ・トップライトの金属製枠組みの錆(腐食) ・展望デッキ床材の劣化 	
		内部	B	<ul style="list-style-type: none"> 【内装】 ・壁の一部亀裂 ・特定天井の天井材の劣化 	
C	<ul style="list-style-type: none"> 【設備】 ・空調の劣化 				
4	下村図書館 (下村交流センター)	敷地・地盤	A		<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事(下村児童館の照明器具・戸車取替、電気工事)(H30)
		外部	B	・ごく部分的に亀裂、腐食	
		屋上・屋根	B	・一部トイレの天井から雨漏り	
		内部	A		

老朽化状況は、原則として建築基準法第12条の規定による定期調査の結果を参考に記載しています。

新湊図書館は新湊中央文化会館(26ページ)で、正力図書館は大門総合会館(26ページ)で記載。

施設の課題と今後の方向性

再編方針では、利用者数の推移等を踏まえ、正力図書館及び下村図書館を将来的に廃止し、中央図書館と新湊図書館の1本館1分館体制に機能を集約する方向性を示しています。

中央図書館は、年間約6万2千人の利用者(延べ貸出者数)があり、当市の図書館機能の中核を担うなど、本館としての役割を果たしてきましたが、建築後20年が経過し、冷暖房設備・展望デッキの床材等の改修が必要となっています。

今後は、施設の機能を維持しつつ、文化施設等の再編等、今後のまちづくりの検討を進める中で、中央図書館としての在り方を検討します。

新湊図書館については、複合施設である新湊中央文化会館の方向性が令和5年度末までに示されることを踏まえ、それと併せて在り方を検討していきます。

ソフト面においては、今後の社会のデジタル化を見据え、電子図書館機能の導入についても、調査・研究をしていく必要があります。

具体的な対策と実施時期

【施設概要の凡例】

- ・経過年数：令和3年4月1日時点の経過年数
- ・構造：S（鉄骨造） R C（鉄筋コンクリート造） S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造） W（木造）
- ・耐用年数：「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）で、構造や用途によって定められている耐用年数に基づき市の固定資産台帳に記載したもの
- ・その他：令和元年度実績

	施設名	施設概要				実施時期	短期				
						年度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
3	正力図書館	建築年度	昭和62（1987）	延利用者数	15,171人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	15,993千円	取組内容	（文化施設等再編基本構想の策定 〔大門総合会館の方向性を決定〕）				
		経過年数	34	維持管理費/ 延利用者数	1,054円/人						
		構造/ 耐用年数	SRC/47年	稼働率	—						
生涯学習・スポーツ課	延床面積	373.00㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
1	中央図書館	建築年度	平成12（2000）	延利用者数	62,330人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	68,509千円	取組内容	冷暖房設備の改修 エレベーター安全装置取付 展望デッキ改修 等				
		経過年数	21	維持管理費/ 延利用者数	1,099円/人						
		構造/ 耐用年数	SRC/50年	稼働率	—						
生涯学習・スポーツ課	延床面積	2,346.38㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	77百万円					
4	下村図書館	建築年度	平成14（2002）	延利用者数	14,923人	経過年数		築後20年		耐用年数	
		改修年度	—	維持管理費	14,872千円	取組内容					
		経過年数	19	維持管理費/ 延利用者数	997円/人						
		構造/ 耐用年数	W/22年	稼働率	—						
生涯学習・スポーツ課	延床面積	366.00㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
2	新湊図書館	建築年度	昭和56（1981）	延利用者数	23,741人	経過年数	築後40年				
		改修年度	平成20（2008）	維持管理費	19,537千円	改修後年数					
		経過年数	40	維持管理費/ 延利用者数	823円/人	取組内容	（文化施設等再編基本構想の策定 〔新湊中央文化会館の方向性を決定〕）				
		構造/ 耐用年数	SRC/50年	稼働率	—						
生涯学習・スポーツ課	延床面積	2,003.00㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						

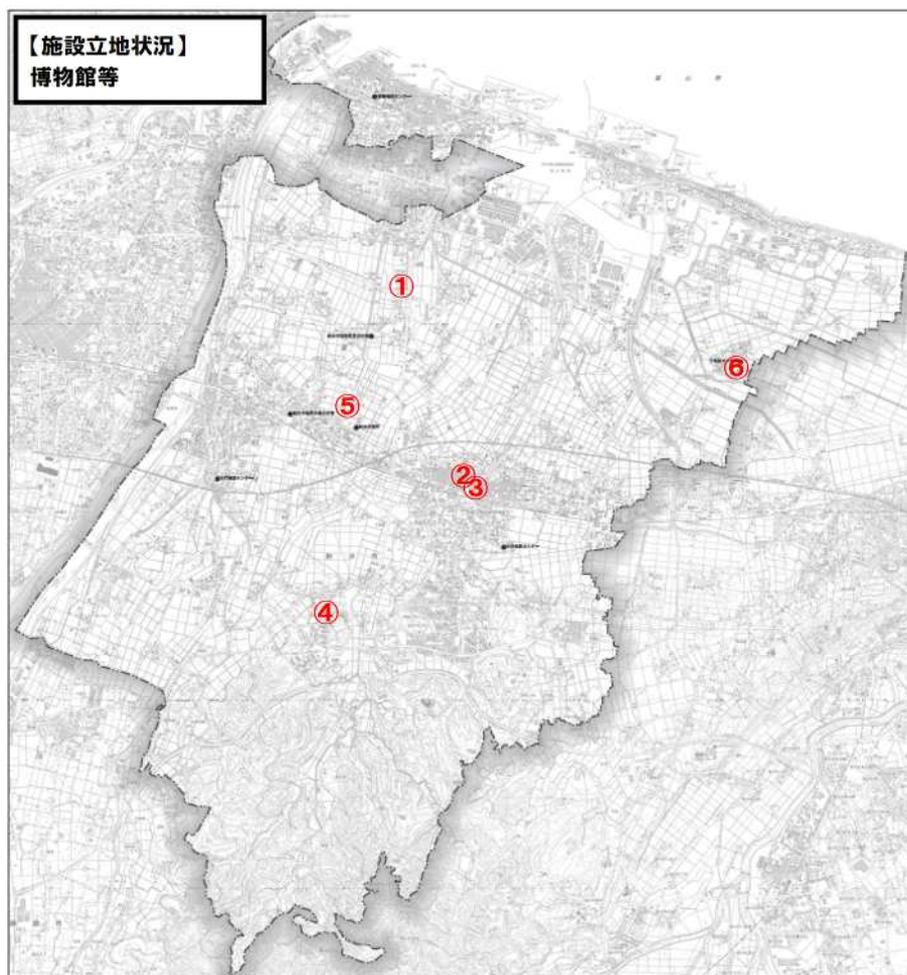
注：各工事等の実施時期や内容は、現在想定される目安であり、今後の社会経済情勢等の変化や総合計画等の見直し等により、大きく変動する可能性があります。また、概算事業費は、同種工事の直近の単価等を基に機械的に試算したものであり、財政見直し等との整合を図ったものではありません。

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
	築後40年							令和13年度末までに図書館機能を廃止する。
中央図書館に集約し廃止（転用）						・大門総合会館が存続する場合は、スタディスペースなどへの転用を検討		
				築後30年				施設の機能を維持しつつ、文化施設等の再編等、今後のまちづくりの検討を進める中で在り方を検討していく。
						築後30年		令和13年度末までに図書館機能を廃止する。
中央図書館に集約し廃止（転用）						・児童図書コーナーに転用		
								令和13年度末までに図書館機能を廃止する。
					築後50年 耐用年数			
		改修後20年						
続しない場合は、他施設へ機能移転								
続する場合は、同会館内で存続								

(2) 博物館等

大分類	小分類	対象施設
社会教育系 (10)	博物館等(6)	新湊博物館、小杉展示館、竹内源造記念館、陶房「匠の里」、 大島絵本館、下村民俗資料館

配置状況



新湊博物館
小杉展示館
竹内源造記念館
陶房「匠の里」
大島絵本館
下村民俗資料館

施設の役割

・新湊博物館

博物館は、地域に根ざし受け継がれてきた伝統行事や文化財を収集・保管・調査研究することで市民の歴史的財産を集積し、それらの成果を展示や教育普及に活用し市内外へ発信することが主な役割です。本市においても、生涯学習・文化・芸術の向上発展、郷土への愛着と誇りを育む気運の醸成、歴史的財産を次代に継承するための施設として、新湊博物館を設置しています。

中核となる資料は、江戸時代後期の算学家、測量家である石黒信由とその子孫に関する著述稿本類、文書・記録類、地図類及び測量器具類等からなる「高樹文庫資料」(重要文化財・県指定文化財)及び我が国最初の人間国宝石黒宗麿が生み出した陶芸作品の数々です。

常設展示は高樹文庫資料及び海に生きる人々の歴史と民俗に焦点を当てており、企画展示は歴史・民俗・芸術・考古等の様々なテーマに沿って年5回開催しています。

近年は、芳春院まつの手紙・小杉焼・郷倉和子作品等の収蔵資料の充実とともに、刊行物の発行やICTの活用による幅広い資料の活用に努めています。

・小杉展示館

小杉展示館は、国登録有形文化財であり、作品発表等の展示用スペースとして、各種文化団体や作家、地域の住民を中心に利用されています。指定管理者制度を導入し、管理者による地域のまちづくり活動と連動した効果的な運営を行っています。

・竹内源造記念館

竹内源造記念館は、国登録有形文化財であり、竹内源造の鍍絵作品を収集し展示しています。1階交流スペースは展示物の説明やイベントのほか、まちづくりの活動等に利用されています。体験棟では鍍絵体験を実施しており、幅広い年齢層が体験できるメニューを備えています。指定管理者制度を導入し、管理者による地域のまちづくり活動と連動した効果的な運営を行っています。

・陶房「匠の里」

陶房「匠の里」は、誰もが気軽に陶芸を体験、学習できる施設です。子どもから大人まで幅広い年齢層の方に対応し、1日体験コースから、長期的に陶芸を学べる本格的な定期コースまで多様なプログラムを備えています。また、毎年恒例の陶器市や展覧会などを企画しています。指定管理者制度を導入し、管理者の専門性を生かした効果的な運営を行っています。

・大島絵本館

大島絵本館は、絵本を通じて市民の豊かな心を育み、市内外との交流を図る絵本文化振興の拠点施設として平成6年度に開館しています。館内にはライブラリー、ギャラリー、シアター(約200席)等があるほか、指定管理者制度を導入し、管理者の専門性を生かした手作り絵本コンクールや絵本作家原画展、講演会など様々な事業を通し、絵本文化を市内外に発信しています。

・下村民俗資料館

下村民俗資料館は、本市の教育及び文化の発展並びに民具の収蔵展示を目的とする施設として設置しています。民具の保存（収蔵）を第一とし、申込みがあった場合に公開し、希望により展示解説を行っています。

本館の建物は、旧下村の開村百年事業で譲り受けた、明治時代の米蔵の柱材等を再利用して建設した復元建物であり、展示資料は、下地区の先人達が苦勞した湿田農業の農機具、生活必需品、売薬道具等が一括して納められています。

市内の小学3年生が社会科『昔の道具とくらし』単元の学習のために利用し、人々の生活の様子が道具とともに移り変わってきたことや、暮らしの向上への人々の願いや努力があったことを実際に目に触れることにより、理解を深める学びに活用されています。

老朽化状況と過去の工事等の履歴

対象施設の老朽化状況と過去に実施した主な工事等は、以下のとおりです。

（凡例… A：おおむね健全 B：やや劣化 C：劣化 D：著しい劣化）

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等（着工年度）	
1	新湊博物館	敷地・地盤	D	【駐車場】 ・舗装に亀裂・陥没、白線の剥離	<ul style="list-style-type: none"> ・測量庭園歩道修繕(H19) ・外壁クラック補修工事(H19、H23、H25) ・池循環ポンプ更新工事（ポンプ2台、動力設備改修）(H20) ・日時計床改修工事(H20) ・冷温水発生器分解整備工事(H26、H27) ・融雪ポンプ取替修繕(H27、H28) ・自動扉装置部品取替工事(H28) ・空調機中央監視装置更新工事（空調機自動制御器、加湿器、インバーター・ベルト等部材交換）(H29) ・パッケージエアコン更新工事（加湿器含む）(H29) ・冷温水配管・コイル内修繕工事(H30) ・電話共聴設備改修工事(H30) ・冷温水ポンプインバーター修繕(R2) ・高圧受電設備ケーブル更新工事(R2) 	
			C	【その他敷地】 ・塀に亀裂 ・測量庭園の構造物や舗装の劣化 ・暗渠排水の劣化等		
		外部	C	・クラック、建具周りシール劣化		
		屋上・屋根	D	・A S防水シート・シール、笠木塗装の劣化		
		内部	B	【内装】 ・建具・壁・床の傷・色あせ等の劣化		
D	【設備】 ・照明設備、高圧受変電設備、冷温水発生器、空調機、映像機器等、建屋内配管の劣化、スライディングウォール電動制御装置の劣化					
2	小杉展示館	敷地・地盤	B	・舗装一部不整		
		外部	B	・外壁塗装の劣化		
		屋上・屋根	B	・雨どいの腐食		
		内部	B	・床材の劣化		
3	竹内源造記念館	敷地・地盤	A		<ul style="list-style-type: none"> ・復元改修工事、体験棟建築工事(H24～H25) 	
		外部	B			・外壁塗装の劣化
		屋上・屋根	B			・雨漏り（台風時）
		内部	B			・雨漏り（台風時）
4	陶房「匠の里」	敷地・地盤	B	・砂利の浮き、樹木根上がり	<ul style="list-style-type: none"> ・展示棟冷房設置工事(H21) ・成形室空調改修工事(H28) 	
		外部	B	・屋外木製手すり等の劣化腐食		
		屋上・屋根	B	・瓦一部破損		
		内部	B	・成形室の鉄筋トラスの劣化		

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等（着工年度）
5	大島絵本館	敷地・地盤	B	・地盤沈下、タイル亀裂	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁防水改修工事(H24) ・屋上屋根外壁改修工事(H26) ・公共下水道接続工事(H27)
		外部	C	・壁面から雨漏り	
		屋上・屋根	A		
		内部	B	・天井、窓、床など雨漏りによる腐食、膨れ	
6	下村民俗資料館	敷地・地盤	B	・アスファルト舗装に部分的沈下がある。	
		外部	C	・基礎の目地に浮き、外壁のひび割れがある。	
		屋上・屋根	C	・屋根から雨漏り、破風板に腐食がある。	
		内部	B	・床シートの浮き、色あせ等の劣化	

老朽化状況は、原則として建築基準法第 12 条の規定による定期調査の結果を参考に記載しています。

施設の課題と今後の方向性

・新湊博物館

新湊博物館は、建築後 23 年が経過しており、平成 29 年度に空調設備の更新を実施したものの、その他の設備や施設の劣化が進んでいます。特に、屋上の防水、駐車場の舗装、一部の電気設備、配管等の劣化が顕著となっています。また、文化財の特別収蔵庫に付属する二酸化炭素消火設備については、設置後 25 年（令和 5 年度）までに安全性の確保のための点検を行うことが義務付けられています。（平成 25 年消防庁告示第 19 号）

入館者数は、本市発足時をピークに減少傾向にあります。立地は道の駅新湊が隣接する本市の道路交通上の玄関口であり、歴史文化の発信拠点としての期待に応え、鑑賞しやすい充実した展示に更新するなど、更なる魅力の向上を図る必要があります。

また、道の駅周辺エリアの魅力向上に向けた構想策定において、周辺施設との更なる連携を含め、様々な可能性を検討します。

・小杉展示館

小杉展示館は、国登録有形文化財であることから、今後も必要な設備等を更新し、市民の交流の場として維持するとともに、貴重な文化財として保存していく必要があります。

・竹内源造記念館

竹内源造記念館は、国登録有形文化財であり、平成 25 年度のリニューアルにより、建築当時の建物に復元、竹内源造の代表作の 1 つである双龍の移設展示を行うなど施設の魅力も高まっています。「鏝絵のまち小杉」の情報発信拠点として維持するとともに、貴重な文化財として保存していく必要があります。

・陶房「匠の里」

陶房「匠の里」は、平成元年度の開館以来、目立った破損箇所等はなく、大規模改修工事は実施していません。利用者数はほぼ横ばいながらやや減少傾向にあります。

開館当初は宿泊棟であった施設は現在研修棟となっていますが、ほとんど利用されていません。研修棟の利活用も含め、新たな事業展開を検討することで施設の魅力が高まり、利用者の増加を図ることも可能と考えられます。運営方法や整備手法など、民間活力の活用も含めた様々な観点から今後の施設の在り方を検討します。

・大島絵本館

大島絵本館は、平成6年度の開館以来、27年が経過しています。この間、屋根防水工事等を行っていますが、大規模改修工事は実施していません。特に各種設備については耐用年数を超えており、更新する必要があります。ここ10年間の入館者数は少子化やニーズの多様化などから平成22年度の43,290人をピークに減少傾向にあります。(令和元年度利用者数：30,522人)

今後、より効率的かつ効果的に絵本文化事業を推進するため、文化施設の再編基本構想の検討の中で、提供機能や整備手法、民間活力の活用も含めた様々な観点から今後の施設の在り方を検討します。

・下村民俗資料館

下村民俗資料館は、建築後33年が経過しており、大規模改修工事を実施していないことから、各所に経年劣化が見受けられ、特に外壁のひび割れや屋根からの雨漏りが発生しています。今後、大規模改修が必要になった時点で、施設の在り方を検討します。

具体的な対策と実施時期

【施設概要の凡例】

- ・経過年数：令和3年4月1日時点の経過年数
- ・構造：S（鉄骨造） R C（鉄筋コンクリート造） S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造） W（木造）
- ・耐用年数：「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）で、構造や用途によって定められている耐用年数に基づき市の固定資産台帳に記載したものの
- ・その他：令和元年度実績（稼働率：利用時間 / 利用可能時間）

	施設名	施設概要				実施時期 年度	短期				
							R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
1	新湊博物館	建築年度	平成10 (1998)	延利用者数	6,040人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	71,899千円	取組内容	エリア構想 策定	屋上防水改修 二酸化炭素消火設備更新 空調機・冷温水発生器修繕 等			
		経過年数	23	維持管理費/ 延利用者数	11,904円/人						
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	—						
生涯学習・スポーツ課	延床面積	1,993.60㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	103百万円					
2	小杉展示館	建築年度	明治44 (1911)	延利用者数	5,425人	経過年数	築後110年				
		改修年度	—	維持管理費	5,339千円	取組内容					
		経過年数	110	維持管理費/ 延利用者数	984円/人						
		構造/ 耐用年数	W/24年	稼働率	—						
地域振興・文化課	延床面積	286.60㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
3	竹内源造 記念館	建築年度	昭和9 (1934)	延利用者数	6,007人	経過年数				築後90年	
		改修年度	平成25 (2013)	維持管理費	6,044千円	改修後年数			改修後10年		
		経過年数	87	維持管理費/ 延利用者数	1,006円/人	取組内容			外壁塗装		
		構造/ 耐用年数	W/24年	稼働率	—						
地域振興・文化課	延床面積	594.62㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	11百万円					
4	陶房 「匠の里」	建築年度	平成1 (1989)	延利用者数	13,150人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	26,175千円	取組内容	提供サービスの見直し、 民間参入の可能性の調査・検討				・民間活力の導入 ・大規模改修して存続
		経過年数	32	維持管理費/ 延利用者数	1,990円/人						
		構造/ 耐用年数	W/24年	稼働率	—						
地域振興・文化課	延床面積	1,189.79㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
5	大島絵本館	建築年度	平成6 (1994)	延利用者数	30,522人	経過年数				築後30年	
		改修年度	—	維持管理費	91,311千円	取組内容	・文化施設等再編基本構想の策定（方向 性を決定） ・既存建物（又は跡地）の利活用の可能 性の調査・検討				・新文化施設を整備し、 ・大規模改修して存続
		経過年数	27	維持管理費/ 延利用者数	2,992円/人						
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	5.9%						
地域振興・文化課	延床面積	2,405.75㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
6	下村民俗 資料館	建築年度	昭和63 (1988)	延利用者数	26人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	48千円	取組内容					
		経過年数	33	維持管理費/ 延利用者数	1,844円/人						
		構造/ 耐用年数	W/24年	稼働率	—						
生涯学習・スポーツ課	延床面積	113.40㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						

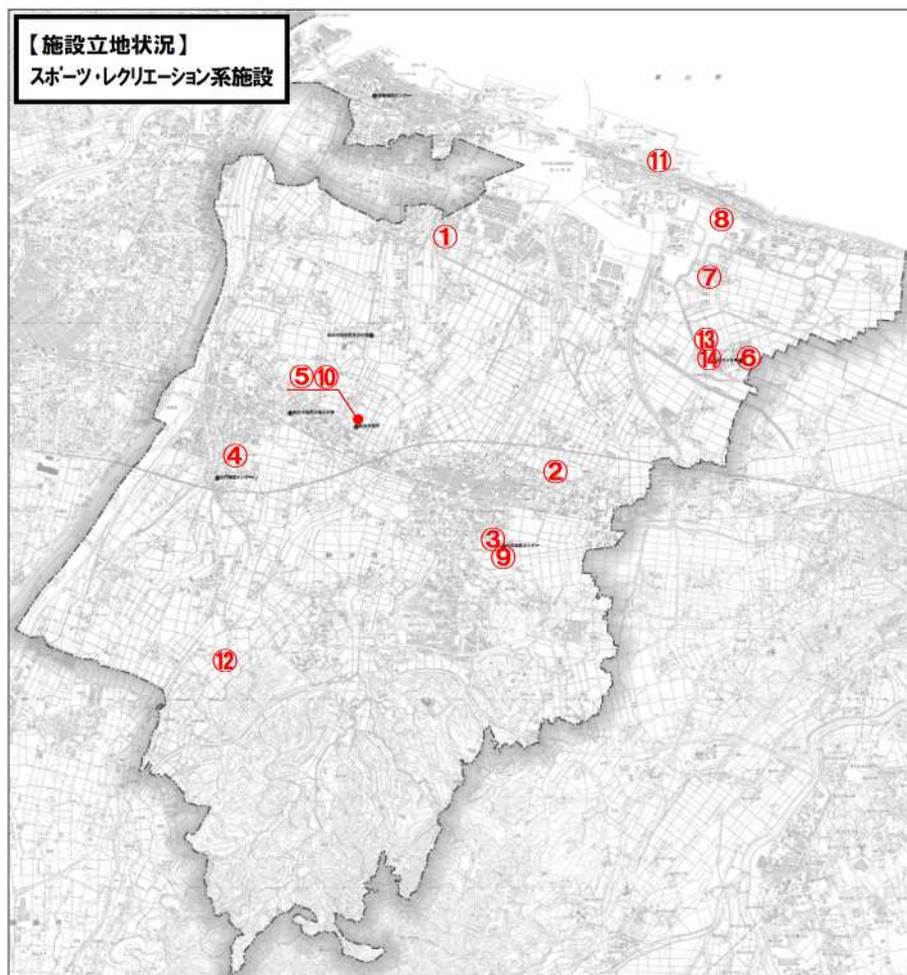
注：各工事等の実施時期や内容は、現在想定される目安であり、今後の社会経済情勢等の変化や総合計画等の見直し等により、大きく変動する可能性があります。また、概算事業費は、同種工事の直近の単価等を基に機械的に試算したものであり、財政見直し等との整合を図ったものではありません。

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
		築後30年						令和3年度以降は、施設の保全に必要な箇所に限った改修。建築後35年頃を目途に大規模改修工事を実施し、併せて常設展示の展示替えを行う。
					実施設計・大規模改修			
					960百万円			
					築後120年			国登録有形文化財であることから適正に保存管理
					外壁塗装			
					10百万円			
							改修後20年	国登録有形文化財であることから適正に保存管理
							外壁塗装	
							11百万円	
			築後40年					民間事業者の確保が課題 (大規模改修の場合は令和10年度を目途に実施：概算事業費 344百万円)
								文化施設の再編と併せて令和5年度末までに方向性を決定する。
機能移転後、廃止（既存建物〔又は跡地〕の利活用計画策定）								
(大規模改修の場合は令和11年度を目途に実施：概算事業費 772百万円)								
		築後40年						大規模改修が必要になった時点で、施設の在り方を検討する。

3 スポーツ・レクリエーション系施設

大分類	小分類	対象施設
スポーツ・レクリエーション系 (14)	主要体育館(6)	新湊総合体育館、小杉総合体育センター、小杉体育館、大門総合体育館、大島体育館、下村体育館
	地区体育館(1)	七美体育館
	主要グラウンド(1)	サン・ビレッジ新湊
	野球場(1)	歌の森運動公園野球場
	弓道場(1)	大島弓道場
	プール(1)	海竜スポーツランド
	パークゴルフ場(2)	パークゴルフ南郷、下村パークゴルフ場
	その他スポーツ(1)	下村馬事公園

配置状況



- 新湊総合体育館
- 小杉総合体育センター
- 小杉体育館
- 大門総合体育館
- 大島体育館
- 下村体育館
- 七美体育館
- サン・ビレッジ新湊
(管理棟)
- 歌の森運動公園
野球場
- 大島弓道場
- 海竜スポーツランド
- パークゴルフ南郷
- 下村パークゴルフ場
- 下村馬事公園

施設の役割

本市では、平成 26 年度に策定した「射水市スポーツ推進計画」に基づき、市民がスポーツに親しむ環境づくりや子供たちの体力向上、選手の育成・強化など、スポーツ振興施策を積極的に推進しています。

地域において身近にスポーツを「する」「みる」ための拠点として、公共のスポーツ施設は重要な役割を果たしており、多くの市民に利用されています。

日常的にスポーツに取り組むことは、肥満・生活習慣病の予防や加齢に伴う運動能力の低下の防止、社会生活に必要な運動機能維持・向上を図ることにつながります。

また、競技スポーツの拠点として選手や指導者の育成等、競技力の向上に資するとともに、各種大会などの公式競技会場や広域的な生涯スポーツの拠点として重要な役割を担っています。

老朽化状況と過去の工事等の履歴

対象施設の老朽化状況と過去に実施した主な工事等は、以下のとおりです。

(凡例... A : おおむね健全 B : やや劣化 C : 劣化 D : 著しい劣化)

	施設名	老朽化状況		主な工事等(着工年度)
			特記事項	
1	新湊総合体育館	敷地・地盤	B ・地盤沈下により舗装部に凹みがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・ランニング走路他改修工事(H17) ・非常用照明用蓄電池取替工事(H17) ・公共下水道接続工事(H17) ・大アリーナ煙感知器取替工事(H17) ・空調設備工事(建築主体)(H19) ・空調設備工事(電気設備)(H19) ・空調設備工事(機械設備工事)(H19) ・非常用発電機蓄電池等取替工事(H26) ・2階北側会議室空調機器取替工事(H28) ・新湊テニスコート改修工事(H29) ・監視カメラ設備取替工事(H29) ・トイレ改修工事(H30) ・トレーニング室床改修工事(H31)
		外部	C ・外壁の剥がれ等による雨漏りがある。	
		屋上・屋根	C ・屋上部出入口付近から雨漏りが発生している。	
		内部	B ・一部クラック等がある。	
2	小杉総合体育センター	敷地・地盤	C ・地盤沈下により舗装部に凹みがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・雨漏り補修工事(H17) ・駐車場区画線設置工事(H20) ・屋根防水外改修工事(H22) ・アリーナ監視装置改修工事(H22) ・熱源台数制御装置取替工事(H29) ・温水洗浄便座取付工事(H30)
		外部	C ・外壁の一部に剥がれがある。	
		屋上・屋根	D ・屋上部が原因の雨漏りが複数箇所ある。	
		内部	C ・床面に一部剥がれがある。 ・屋根下部の断熱材が劣化している。	
3	小杉体育館(未耐震)	敷地・地盤	D ・地盤沈下による凹みがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種ドア補修工事(H17) ・雨漏り改修工事(H18) ・テラス改修工事(H18) ・1階便所污水管改修工事(H19) ・吸収式冷温水発生機部品取替工事(H19) ・卓球室屋上防水改修工事(H20) ・柔剣道室屋上防水改修工事(H20) ・天井仕上材落下防止ネット設置工事(H20) ・柔剣道室屋上防水改修その2工事(H20) ・給湯用ボイラー取替工事(H24)
		外部	C ・外壁の剥がれ等による雨漏りがある。	
		屋上・屋根	C ・ひび割れ等による雨漏りが発生している。	
		内部	C ・床面に軋み、内壁にひび割れがある。	

	施設名	老朽化状況			主な工事等（着工年度）
				特記事項	
4	大門総合体育館	敷地・地盤	B	・地盤沈下により舗装部に凹みがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットゴールバックボード取替工事(H19) ・アリーナ照明設備改修工事(H19)
		外部	C	・外壁の剥がれ等による雨漏りがある。	
		屋上・屋根	B	・屋上部からの雨漏りがある。	
		内部	C	・床面に軋み、内壁にひび割れがある。	
5	大島体育館	敷地・地盤	B	・地盤沈下により舗装部に凹みがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・談話室整備工事(H17) ・北側駐車場整備工事(H22) ・床養生シート設置工事(H23) ・トレーニング室系統空調機器更新工事(H25) ・会議室・研修室系統空調機器更新工事(H26) ・談話室空調機器更新工事(H28) ・更衣室空調機器更新工事(H28)
		外部	A		
		屋上・屋根	B	・屋上部からの雨漏りがある。	
		内部	A		
6	下村体育館	敷地・地盤	B	・地盤沈下により舗装部に凹みがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・雨漏り改修工事(H18) ・フットサル用防球ネット取付工事(H18) ・空調設備外改修工事(H19) ・床張替改修工事(H19)
		外部	C	・外壁のひび割れ等による雨漏りがある。	
		屋上・屋根	B	・老朽化しているものの、雨漏り等はなし	
		内部	B	・一部内壁にひび割れがある。	
7	七美体育館	敷地・地盤	C	・地盤沈下による亀裂がある。	
		外部	C	・外壁のひび割れ等による雨漏りがある。	
		屋上・屋根	D	・老朽化が著しく、雨漏りが発生している。	
		内部	C	・内壁にひび割れがある。	
8	サン・ビレッジ新湊（管理棟）	敷地・地盤	A		
		外部	B	・外壁の剥がれ等がある。	
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
9	歌の森運動公園野球場	敷地・地盤	A		
		外部	B	・一部にひび割れがある。	
		屋上・屋根	A		
		内部	B	・一部にひび割れがある。	
10	大島弓道場	敷地・地盤	A		<ul style="list-style-type: none"> ・安土改修工事(H18) ・公共下水道接続工事(H21)
		外部	B	・射場の折戸の開閉が困難	
		屋上・屋根	A		
		内部	A		

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等（着工年度）
11	海竜スポーツランド	敷地・地盤	A		<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーヒートポンプ他整備工事(H17) ・ろ過装置減圧弁取付工事(H19) ・プールろ過装置取替工事(H20) ・スクリーヒートポンプ水熱交換器破損復旧工事(H21、H22) ・プールサイド床面改修工事(H22) ・外壁ガラス改修工事(H22) ・給湯設備更新工事(H24) ・屋上手摺及び屋外階段設置工事(H25) ・25mプール昇温用熱交換機整備工事(H25) ・井水槽防水補修工事(H28) ・全自動水質管理装置改修工事(H29) ・シャワー室等内装塗装工事(H29) ・ジャグジー系統塩素滅菌装置取替工事(H30) ・熱源更新工事(R2)
		外部	C	・外壁の剥がれ、クラックがある。	
		屋上・屋根	C	・プール棟から雨漏り等がある。	
		内部	C	・内壁に亀裂等、窓枠からの雨漏りがある。	
12	パークゴルフ南郷	敷地・地盤	A		<ul style="list-style-type: none"> ・倉庫改築工事(H24) ・集水樹改修工事(H30) ・貯留池浚渫工事(H30)
		外部	B	・柱が一部腐食している。	
		屋上・屋根	B	・入口屋根が劣化により破損している。	
		内部	A		
13	下村パークゴルフ場	敷地・地盤	A		<ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープ整備工事(H17) ・トイレ設置工事(H20) ・散水栓設置工事(H27)
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
14	下村馬事公園	敷地・地盤	B	・舗装の剥がれがある。	
		外部	B	・一部外壁にひび割れ及び剥がれがある。	
		屋上・屋根	A		
		内部	A		

老朽化状況は、原則として建築基準法第12条の規定による定期調査の結果を参考に記載しています。

施設の課題と今後の方向性

・主要体育館

市内にある6つの主要体育館のうち、小杉体育館（昭和56年度築）、大門総合体育館（昭和57年度築）及び下村体育館（昭和60年度築）は、建築後36年～40年が経過していますが、いずれもこれまで施設の大規模改修工事等を実施していないことから、施設、設備の劣化が進んでいます。特に小杉体育館については、耐震基準を満たしていないという課題があります。

新湊総合体育館（昭和61年度築）は、建築後35年が経過し、各所に経年劣化が見受けられます。

小杉総合体育センター（平成4年度築）は、各所に経年劣化が見受けられ、外壁、内壁の亀裂等の劣化による雨漏り等が発生しています。

大島体育館は（平成12年度築）は、おおむね健全な状況にあります。

再編方針では、6 体育館を新湊総合体育館と小杉総合体育センターの 2 体育館に集約する方針を示しています。その場合、利用者（令和元年度利用者数：小杉 101,787 人、大門 79,883 人、大島 84,004 人、下村 14,109 人）の受け皿が必要になります。さらには、それぞれの体育館が総合型地域スポーツクラブの拠点となっていることから、施設を廃止する場合、総合型地域スポーツクラブの統合などが必要となります。

また、存続施設の大規模改修や改築には多額の財源が必要であり、公民連携（PPP/PFI 手法）による施設整備等についても、検討を進める必要があります。

- ・地区体育館

地区体育館である七美体育館（昭和 57 年度築）は、老朽化が著しいことに加え、利用者は年々減少（平成 26 年度：5,859 人 令和元年度：3,498 人）しており、令和 3 年度末を目途に廃止を検討します。

- ・サン・ビレッジ新湊（管理棟）

サン・ビレッジ新湊（管理棟）は、平成 8 年度建築と比較的新しいものの、利用者数が減少（平成 26 年度：12,546 人 令和元年度：9,681 人）しており、地元住民の利用が中心となっています。今後の管理については、地元の海老江地域振興会への移管を検討します。

- ・歌の森運動公園野球場

歌の森運動公園野球場は、建築後 25 年が経過していますが、これまでに大きな工事は実施していません。必要に応じて改修を行い、適切な維持保全を図ります。

- ・大島弓道場

大島弓道場は、建築後 28 年が経過していますが、これまでに大きな工事は実施していません。全国の自治体では体育館に併設している弓道場もあることから利用状況を見ながら拠点体育館への移転・併設の可能性を検討します。

- ・海竜スポーツランド

海竜スポーツランドは令和 2 年度に熱源機械の更新工事を行うなど、必要な改修を行ってきました。また、堀岡小学校の学校プールとしての役割を担っていることから引き続き適切な維持管理に努めます。

具体的な対策と実施時期

【施設概要の凡例】

- ・経過年数：令和3年4月1日時点の経過年数
- ・構造：S（鉄骨造） R C（鉄筋コンクリート造） S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造） W（木造）
- ・耐用年数：「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）で、構造や用途によって定められている耐用年数に基づき市の固定資産台帳に記載したものの
- ・その他：令和元年度実績（稼働率：利用時間 / 利用可能時間）

施設名	施設概要				実施時期	短期					
	年度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
3 小杉体育館	建築年度	昭和56 (1981)	延利用者数	101,787人	経過年数	築後40年					
	改修年度	—	維持管理費	21,538千円	取組内容	他施設への機能集約や 民間参入の可能性の調査・検討					
	経過年数	40	維持管理費/ 延利用者数	212円/人							
	構造/ 耐用年数	SRC/47年	稼働率	49.2%							
生涯学習・スポーツ課	延床面積	4,290.00㎡	避難所収容 可能人数	1,502人	概算事業費						
4 大門総合 体育館	建築年度	昭和57 (1982)	延利用者数	79,883人	経過年数	築後40年					
	改修年度	—	維持管理費	12,609千円	取組内容	他施設への機能集約や 民間参入の可能性の調査・検討					
	経過年数	39	維持管理費/ 延利用者数	158円/人							
	構造/ 耐用年数	SRC/47年	稼働率	38.0%							
生涯学習・スポーツ課	延床面積	3,213.87㎡	避難所収容 可能人数	1,124人	概算事業費						
6 下村体育館	建築年度	昭和60 (1985)	延利用者数	14,109人	経過年数					築後40年	
	改修年度	—	維持管理費	11,211千円	取組内容	他施設への機能集約や 民間参入の可能性の調査・検討					
	経過年数	36	維持管理費/ 延利用者数	795円/人							
	構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	29.8%							
生涯学習・スポーツ課	延床面積	1,225.00㎡	避難所収容 可能人数	428人	概算事業費						
1 新湊総合 体育館	建築年度	昭和61 (1986)	延利用者数	113,042人	経過年数						
	改修年度	—	維持管理費	41,602千円	取組内容	実施設計・大規模					
	経過年数	35	維持管理費/ 延利用者数	368円/人							
	構造/ 耐用年数	SRC/47年	稼働率	29.3%							
生涯学習・スポーツ課	延床面積	8,846.02㎡	避難所収容 可能人数	3,001人	概算事業費					2,786百万円	
2 小杉総合体育 センター	建築年度	平成4 (1992)	延利用者数	94,816人	経過年数	築後30年					
	改修年度	—	維持管理費	25,297千円	取組内容						
	経過年数	29	維持管理費/ 延利用者数	267円/人							
	構造/ 耐用年数	SRC/47年	稼働率	47.4%							
生涯学習・スポーツ課	延床面積	6,762.00㎡	避難所収容 可能人数	2,355人	概算事業費						
5 大島体育館	建築年度	平成12 (2000)	延利用者数	84,004人	経過年数						
	改修年度	—	維持管理費	17,952千円	取組内容	他施設への機能集約や 民間参入の可能性の調査・検討					
	経過年数	21	維持管理費/ 延利用者数	214円/人							
	構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	36.3%							
生涯学習・スポーツ課	延床面積	3,966.00㎡	避難所収容 可能人数	1,388人	概算事業費						
7 七美体育館	建築年度	昭和57 (1982)	延利用者数	3,498人	経過年数	築後40年					
	改修年度	—	維持管理費	309千円	取組内容	機能を 移転後廃止					
	経過年数	39	維持管理費/ 延利用者数	88円/人							
	構造/ 耐用年数	S/34年	稼働率	11.3%							
生涯学習・スポーツ課	延床面積	499.67㎡	避難所収容 可能人数	174人	概算事業費		11百万円				

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
		耐用年数			築後50年			体育館6館 2館 大規模修繕をしておらず老朽化が進んでいる。他施設へ機能集約や民間への譲渡を検討し、困難な場合は大規模改修が必要になった時点で廃止・解体する。民営化の場合、引受法人の確保が課題
		民営化又は機能を移転後廃止						
			耐用年数			築後50年		体育館6館 2館 大規模修繕をしておらず老朽化が進んでいる。他施設へ機能集約や民間への譲渡を検討し、困難な場合は大規模改修が必要になった時点で廃止・解体する。民営化の場合、引受法人の確保が課題
			民営化又は機能を移転後廃止					
						耐用年数		体育館6館 2館 大規模修繕をしておらず老朽化が進んでいる。他施設へ機能集約や民間への譲渡を検討し、困難な場合は大規模改修が必要になった時点で廃止・解体する。民営化の場合、引受法人の確保が課題
						民営化又は機能を移転後廃止		
築後40年							耐用年数	体育館6館 2館 体育館機能の集約先として大規模改修を実施
改修								
						築後40年		体育館6館 2館 体育館機能の集約先として大規模改修等を実施
実施設計・大規模改修等								
2,130百万円（改修の場合） 3,170百万円（増築・改修の場合）								
				築後30年				体育館6館 2館 他施設へ機能集約や民間への譲渡を検討する。
						築後50年		

射水市公共施設個別施設計画

	施設名	施設概要				実施時期 年度	短期					
							R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	
8	サン・ビレッジ 新湊(管理棟)	建築年度	平成8 (1996)	延利用者数	9,681人	経過年数						
		改修年度	—	維持管理費	6,308千円	取組内容						
		経過年数	25	維持管理費/ 延利用者数	652円/人							
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	5.7%							
	生涯学習・スポーツ課	延床面積	299.75㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
9	歌の森運動 公園野球場	建築年度	平成8 (1996)	延利用者数	7,480人	経過年数						
		改修年度	—	維持管理費	8,817千円	取組内容						
		経過年数	25	維持管理費/ 延利用者数	1,179円/人							
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	—							
	生涯学習・スポーツ課	延床面積	823.00㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
10	大島弓道場	建築年度	平成5 (1993)	延利用者数	11,920人	経過年数			築後30年			
		改修年度	—	維持管理費	8,022千円	取組内容			拠点体育館への 移転・併設の可能性を 検討			
		経過年数	28	維持管理費/ 延利用者数	673円/人							
		構造/ 耐用年数	S/34年	稼働率	—							
	生涯学習・スポーツ課	延床面積	801.20㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
11	海竜スポーツ ランド	建築年度	平成10 (1998)	延利用者数	88,727人	経過年数						
		改修年度	—	維持管理費	62,981千円	取組内容						
		経過年数	23	維持管理費/ 延利用者数	710円/人							
		構造/ 耐用年数	RC/38年	稼働率	—							
	生涯学習・スポーツ課	延床面積	3,397.27㎡	避難所収容 可能人数	1,123人	概算事業費						
13	下村パーク ゴルフ場	建築年度	平成11 (1999)	延利用者数	40,458人	経過年数						
		改修年度	—	維持管理費	16,341千円	取組内容						
		経過年数	22	維持管理費/ 延利用者数	404円/人							
		構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	—							
	生涯学習・スポーツ課	延床面積	529.47㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
12	パークゴルフ 南郷	建築年度	平成19 (2007)	延利用者数	29,809人	経過年数		耐用年数				
		改修年度	—	維持管理費	13,577千円	取組内容						
		経過年数	14	維持管理費/ 延利用者数	455円/人							
		構造/ 耐用年数	W/15年	稼働率	—							
	生涯学習・スポーツ課	延床面積	286.39㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
14	下村馬事公園	建築年度	平成7 (1995)	延利用者数	5,302人	経過年数				築後30年		
		改修年度	—	維持管理費	4,144千円	取組内容				在り方検討		
		経過年数	26	維持管理費/ 延利用者数	782円/人							
		構造/ 耐用年数	W/17年	稼働率	—							
	生涯学習・スポーツ課	延床面積	766.99㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
—	(仮称) フットボール センター	建築年度	令和3 (2021)	延利用者数	—	経過年数						
		改修年度	—	維持管理費	—	取組内容	整備					
		経過年数	0	維持管理費/ 延利用者数	—							
		構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	—							
	生涯学習・スポーツ課	延床面積	579.00㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	1,635百万円					

注：各工事等の実施時期や内容は、現在想定される目安であり、今後の社会経済情勢等の変化や総合計画等の見直し等により、大きく変動する可能性があります。また、概算事業費は、同種工事の直近の単価等を基に機械的に試算したものであり、財政見通し等との整合を図ったものではありません。

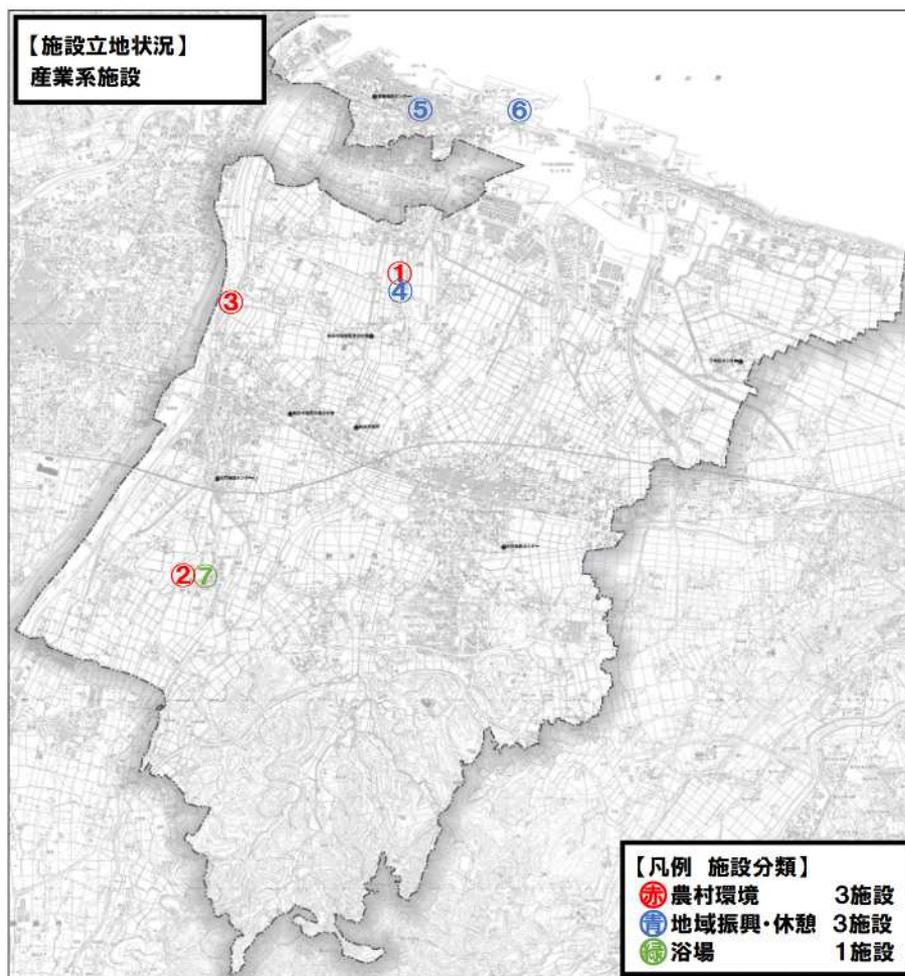
中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
築後30年								地元の海老江地域振興会への移管を検討する。
地域への管理移管を検討								
築後30年								存続し、機能を維持していく。
				実施設計・大規模改修				
				259百万円				
	耐用年数						築後40年	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点体育館へ機能移転後廃止 ・大規模改修して存続（大規模改修の場合は令和10年度を目途に実施：概算事業費 172百万円）
		築後30年						存続し、機能を維持していく。 （堀岡小学校プールとしての役割を担っている。）
	実施設計・大規模改修							
	1,070百万円							
			築後30年					実施設計・大規模改修
						114百万円		
	築後20年							実施設計・大規模改修
		実施設計・大規模改修						
		41百万円						
								公共がサービスを提供していくことの必要性について見直しの余地があることから、存廃を含めた在り方を検討する。
					築後10年			芝の更新
						200百万円		

現在建設中のフラワーパーク沖塚原パークゴルフ場は、都市公園条例に基づく公園内施設であることから、本計画の対象外としています。

4 産業系施設

大分類	小分類	対象施設
産業系(7)	農村環境(3)	新湊農村環境改善センター、大門農村環境改善センター、大島農村環境改善センター
	地域振興・休憩(3)	道の駅新湊、川の駅新湊、いみず観光情報館
	浴場(1)	大門コミュニティセンター

配置状況



【農村環境施設】

新湊農村環境改善センター
 大門農村環境改善センター
 大島農村環境改善センター

【地域振興・休憩施設】

道の駅新湊
 川の駅新湊
 いみず観光情報館

【浴場施設】

大門コミュニティセンター

施設の役割

・農村環境改善センター

農村環境改善センターは、農村生活の環境改善、健康増進及び地域連帯感の醸成を図るため、様々な研修、交流活動やレクリエーションなどの場を提供する施設として新湊・大門・大島の3か所に設置しています。

各施設では、陶芸創作室、多目的ホールなど、それぞれの特色を生かして、主に文化・スポーツ教室や研修等、一般的な貸館施設として機能しています。

また、周辺の公共施設と相互に連携し、一体的に利用されています。

・道の駅新湊

道の駅新湊は、運転者等の疲労防止や道路交通情報の提供を図るためのくつろげる休憩施設を確保するとともに、地場製品の展示販売等による地域産業の活性化及び情報の発信を目的としています。現在は、誰もが気軽に立ち寄って休憩ができる施設であるとともに、特産物や観光資源を生かして「ひと」を呼び込む拠点・核として地域振興に寄与しています。

・川の駅新湊

川の駅新湊は、内川の歴史を生かしたまちづくりを目的に、市民の交流の場として活用するとともに、地場製品の展示販売等による射水ブランドの情報発信を行い、水辺から市街地への玄関口としての観光拠点とするため設置しています。駅内には、曳山の展示、特産品の販売コーナー、カフェレストラン等があり、内川散策の拠点となる憩いのスペースとして利用されています。

・いみず観光情報館

いみず観光情報館は、本市の地域イメージの向上及び交流人口の増加を図るため、射水ベイエリアを中心とした魅力を発信する情報拠点として、平成26年度に取得した施設です。館内には、本市の観光、イベント等に関する各種パンフレットを取り揃え、来訪者一人ひとりのニーズに合わせたマンツーマンでの情報を提供する場所として活用しています。

・大門コミュニティセンター

大門コミュニティセンターは、市内企業の従業員及び住民の福祉、健康増進及び教養の向上並びにレクリエーションの便宜を供与する施設として設置しています。

また、併設する大門農村環境改善センターの多目的ホールを利用して、高齢者の健康づくりやコミュニティづくりの場としても利用されています。

老朽化状況と過去の工事等の履歴

対象施設の老朽化状況と過去に実施した主な工事等は、以下のとおりです。

(凡例... A : おおむね健全 B : やや劣化 C : 劣化 D : 著しい劣化)

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等(着工年度)
1	新湊農村環境改善センター	敷地・地盤	C	・舗装地盤沈下のため亀裂	
		外部	B	・鋼鉄製扉の腐食	
		屋上・屋根	B	・屋根の軒下部(雨樋)の錆び及び破損	
		内部	B	・内壁の亀裂	
2	大門農村環境改善センター	敷地・地盤	C	・アスファルト舗装の亀裂	・空調設備更新工事(H16) ・屋根等修繕工事(H22)
		外部	C	・外壁躯体及び外壁仕上げ(タイル)の亀裂	
		屋上・屋根	B	・老朽化しているものの、雨漏り等はなし	
		内部	B	・内壁の亀裂	
3	大島農村環境改善センター	敷地・地盤	C	・アスファルト舗装の亀裂	・冷温水発生器取替改修工事(H27)
		外部	B	・外壁仕上げ(タイル)の亀裂	
		屋上・屋根	B	・屋根の軒下部(雨樋)の錆び	
		内部	B	・内壁の亀裂	
4	道の駅新湊	敷地・地盤	C	・入口付近段差あり	・空調設備更新工事(H19) ・都市ガス配管修繕工事(H23) ・厨房ピット内排水工事(H24) ・厨房ピット内配管修繕工事(H24) ・トイレ様式化等工事(H24) ・屋上防水改修工事(H29)
		外部	B	・錆、塗装の劣化	
		屋上・屋根	A		
		内部	B	【内装】 ・壁、床の傷、色あせ等の劣化	
D	【設備】 ・空調の劣化、配管の劣化				
5	川の駅新湊	敷地・地盤	A		
		外部	B	・2階ウッドデッキの劣化	
		屋上・屋根	B	・雨樋の破損	
		内部	A		
6	いみず観光情報館	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	B	・雨漏りあり	
		内部	A	【内装】	
B	【設備】 ・空調の劣化				

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等（着工年度）
7	大門コミュニティセンター	敷地・地盤	C	・アスファルト舗装の亀裂	・浴室等増築工事(H8) ・女性風呂用設備等更新工事(H20)
		外部	C	・外壁躯体及び外壁仕上げ（タイル）の亀裂	
		屋上・屋根	B	・老朽化しているものの、雨漏り等はなし	
		内部	B	【内装】 ・内壁の亀裂	
C	【設備】 ・男性風呂用設備（給湯設備、屋内配管等）の劣化				

老朽化状況は、原則として建築基準法第12条の規定による定期調査の結果を参考に記載しています。

施設の課題と今後の方向性

・新湊農村環境改善センター及び大島農村環境改善センター

新湊農村環境改善センター及び大島農村環境改善センターは、それぞれ建築後25年、23年が経過し、今後老朽化による修繕の増加が見込まれます。また、本来の農業者団体の利用が減少し、主に一般利用者が貸室として利用していることから、大島農村環境改善センターについては、同様の貸室機能を有する施設との統廃合を含めた在り方を検討します。新湊農村環境改善センターについては、道の駅新湊周辺エリアの魅力向上に向けた構想策定の中で、一体的な利活用を検討します。

・大門農村環境改善センター及び大門コミュニティセンター

大門農村環境改善センター及び大門コミュニティセンターは、それぞれ建築後32年、34年が経過していますが、いずれもこれまで大規模改修工事を実施していないことから、施設、設備の劣化が進んでいます。

大門農村環境改善センターについては、他の農村環境改善センターと同様、本来の農業者団体の利用が減少し、主に一般利用者が貸室として利用していますが、他に比べて延利用者数は大幅に少ない現状です。

大門コミュニティセンターについては、現在も年間約45,000人が利用していますが、民間の入浴施設とサービスが重複していること、男性風呂用設備の老朽化が進んでいることなどを踏まえ、大門農村環境改善センターと併せ、令和5年度末までに民間譲渡・売却の可能性を検討し、困難な場合は施設を廃止します。

・道の駅新湊

道の駅新湊は、建築後23年が経過していますが、これまで大規模改修工事を実施していないことから、施設、設備の劣化が進んでいます。特に空調設備においては、平成19年度に更新工事を行っているものの、近年、故障が目立っています。来場者数が年間70万人を超える当施設において、空調設備のトラブルは利用者の減少やテナントの売上げ減少にも直結するため、設備の更新等、早急な対応が必要な状況です。

今後、新湊農村環境改善センターを含むエリア全体の魅力向上に向けた構想を策定した上で、大規模改修を実施します。

・川の駅新湊

川の駅新湊は、建築後 13 年が経過しています。これまでに大きな工事は実施していないことから、屋外部分の劣化が見受けられます。今後も必要な保全を行いながら、利用促進を図っていきます。

・いみず観光情報館

いみず観光情報館は、建築後 17 年が経過しています。これまでに大きな工事は実施しておらず、空調に劣化が見受けられるため、今後、空調設備の更新工事を行う必要があります。

一方、観光客の動線からやや離れた位置に立地し、来場者が伸び悩んでいるという課題があることから、今後、機能やサービスの見直しを含め、施設の在り方を検討します。

具体的な対策と実施時期

【施設概要の凡例】

- ・経過年数：令和3年4月1日時点の経過年数
- ・構造：S（鉄骨造） RC（鉄筋コンクリート造） SRC（鉄骨鉄筋コンクリート造） W（木造）
- ・耐用年数：「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）で、構造や用途によって定められている耐用年数に基づき市の固定資産台帳に記載したものの
- ・その他：令和元年度実績（稼働率：利用時間 / 利用可能時間）

	施設名	施設概要				実施時期 年度	短期				
							R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
7	大門コミュニティセンター	建築年度	昭和62 (1987)	延利用者数	45,522人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	25,062千円	取組内容	民間参入の可能性の調査・検討 (廃止)			譲渡・売却	
		経過年数	34	維持管理費/延利用者数	551円/人						
		構造/耐用年数	RC/31年	稼働率	—						
農林水産課	延床面積	1,122.13㎡	避難所収容可能人数	(799人)	概算事業費						
2	大門農村環境改善センター	建築年度	平成1 (1989)	延利用者数	5,983人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	13,733千円	取組内容	民間参入の可能性の調査・検討 (廃止)			譲渡・売却	
		経過年数	32	維持管理費/延利用者数	2,295円/人						
		構造/耐用年数	RC/47年	稼働率	5.4%						
農林水産課	延床面積	1,162.84㎡	避難所収容可能人数	799人	概算事業費						
3	大島農村環境改善センター	建築年度	平成10 (1998)	延利用者数	20,170人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	10,392千円	取組内容	エリア構想策定				
		経過年数	23	維持管理費/延利用者数	515円/人						
		構造/耐用年数	SRC/47年	稼働率	18.1%						
農林水産課	延床面積	1,038.52㎡	避難所収容可能人数	330人	概算事業費						
1	新湊農村環境改善センター	建築年度	平成8 (1996)	延利用者数	19,785人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	8,172千円	取組内容	エリア構想策定				
		経過年数	25	維持管理費/延利用者数	413円/人						
		構造/耐用年数	RC/47年	稼働率	8.9%						
農林水産課	延床面積	951.53㎡	避難所収容可能人数	333人	概算事業費						
4	道の駅新湊	建築年度	平成10 (1998)	延利用者数	702,268人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	17,302千円	取組内容	エリア構想策定 基本設計・実施設計・大規模改修				
		経過年数	23	維持管理費/延利用者数	25円/人						
		構造/耐用年数	S/34年	稼働率	—						
港湾・観光課	延床面積	978.96㎡	避難所収容可能人数	—	概算事業費	344百万円					
6	いみず観光情報館	建築年度	平成16 (2004)	延利用者数	10,513人	経過年数				築後20年	
		改修年度	—	維持管理費	6,142千円	取組内容					
		経過年数	17	維持管理費/延利用者数	584円/人						
		構造/耐用年数	S/38年	稼働率	—						
港湾・観光課	延床面積	167.67㎡	避難所収容可能人数	—	概算事業費						
5	川の駅新湊	建築年度	平成20 (2008)	延利用者数	46,929人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	20,667千円	取組内容				空調更新	
		経過年数	13	維持管理費/延利用者数	440円/人						
		構造/耐用年数	RC/50年	稼働率	—						
港湾・観光課	延床面積	558.79㎡	避難所収容可能人数	—	概算事業費					33百万円	

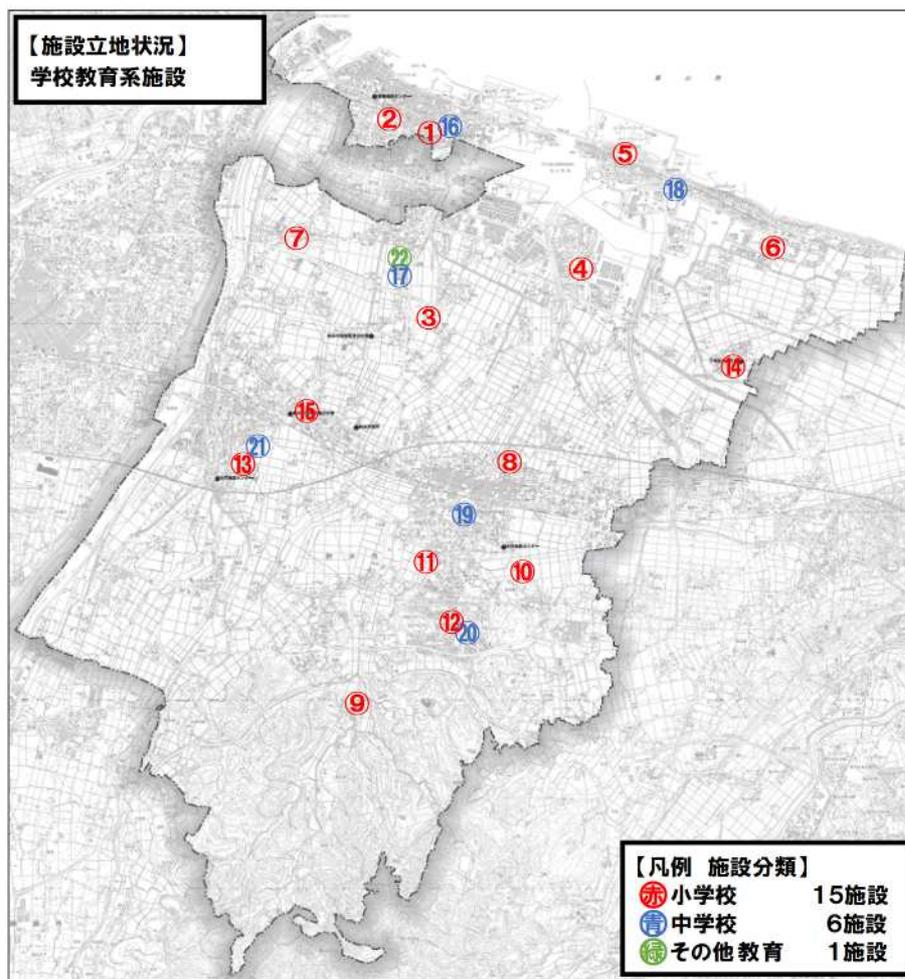
注：各工事等の実施時期や内容は、現在想定される目安であり、今後の社会経済情勢等の変化や総合計画等の見直し等により、大きく変動する可能性があります。また、概算事業費は、同種工事の直近の単価等を基に機械的に試算したものであり、財政見直し等との整合を図ったものではありません。

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
	築後40年							民間譲渡・売却の可能性を検討し、困難な場合は令和5年度末をもって廃止する。
			築後40年					大門コミュニティセンターと一体の施設であることから、センターの方向性を踏まえて方針を決定する。
		築後30年						指定管理者の更新時期を考慮しながら、令和10年度から令和12年度までを目途に施設の在り方を検討し、その後の方向性を決定する。
		民間参入の可能性を含めた在り方検討		・譲渡・売却又は廃止 ・大規模改修し、存続 (大規模改修の場合は令和15年度を目途に実施：概算事業費 278百万円)				
築後30年								指定管理者の更新時期を考慮しながら、令和10年度から令和12年度までを目途に施設の在り方を検討し、その後の方向性を決定する。ただし、エリア構想の方向性によって実施時期が変更となる可能性がある。
		民間参入の可能性を含めた在り方検討		・譲渡・売却又は廃止 ・大規模改修し、存続 (大規模改修の場合は令和13年度を目途に実施：概算事業費 255百万円)				
		築後30年				耐用年数		大規模改修に当たっては、エリア全体の魅力向上に資するよう留意する。
								今後、機能やサービスの見直しを含め、施設の在り方を検討する。
		築後20年						

5 学校教育系施設

大分類	小分類	対象施設
学校教育系 (22)	小学校(15)	放生津、新湊、作道、片口、堀岡、東明、塚原、小杉、金山、歌の森、太閤山、中太閤山、大門、下村、大島
	中学校(6)	新湊、新湊南部、射北、小杉、小杉南、大門
	その他教育(1)	学校給食センター

配置状況



【小学校】

放生津小学校
新湊小学校
作道小学校
片口小学校
堀岡小学校
東明小学校
塚原小学校
小杉小学校
金山小学校
歌の森小学校
太閤山小学校
中太閤山小学校
大門小学校
下村小学校
大島小学校

【中学校】

新湊中学校
新湊南部中学校
射北中学校
小杉中学校
小杉南中学校
大門中学校

【その他教育施設】

学校給食センター

施設の役割

学校教育施設は、射水市教育振興基本計画に掲げる基本理念「豊かな人間性と創造性を備えた、たくましい人材の育成、射水市を担い、様々な分野で活躍できる人づくり」の実現に向けて、各施策を展開するための最も基本的かつ中核的な施設です。

当該施設は、児童生徒の学習・生活の場であるとともに、地域のコミュニティの核の一つとして地域住民や地域で活動する様々な団体の活動の場でもあります。

老朽化状況と過去の工事等の履歴

対象施設の老朽化状況と過去に実施した主な工事等は、以下のとおりです。

(凡例... A : おおむね健全 B : やや劣化 C : 劣化 D : 著しい劣化)

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等(着工年度)
1	放生津小学校	敷地・地盤	B	・ブロック塀に傾きや破損がある等	
		外部	C	・外壁にクラックや露筋がある等	
		屋上・屋根	B	・屋根ふき材等に劣化が見られる等	
		内部	B	・床にクラックがある等	
2	新湊小学校	敷地・地盤	A		
		外部	C	・外壁にクラックや露筋がある等	
		屋上・屋根	B	・防水層に損傷がある等	
		内部	B	・壁や天井に漏水跡がある等	
3	作道小学校	敷地・地盤	A		・校舎棟大規模改造及び耐震補強工事(H24) ・屋内運動場大規模改造工事(H26)
		外部	B	・外壁にクラックがある等	
		屋上・屋根	B	・排水に支障があり雨水が溜まっている等	
		内部	A		
4	片口小学校	敷地・地盤	B	・舗装面に一部割れや沈下がある等	・校舎棟改築工事(H6) ・屋内運動場改築工事(H21) ・校舎棟大規模改造工事(H28)
		外部	B	・外壁にクラックがある等	
		屋上・屋根	B	・排水に支障があり雨水が溜まっている等	
		内部	B	・壁にクラックがある等	
5	堀岡小学校	敷地・地盤	B	・舗装面に沈下がある等	
		外部	B	・外壁にクラックがある等	
		屋上・屋根	B	・排水に支障があり雨水が溜まっている等	
		内部	B	・壁や天井に漏水跡がある等	
6	東明小学校	敷地・地盤	B	・舗装面にひび割れがある等	・校舎棟大規模改造及び耐震補強工事(H19) ・屋内運動場改築工事(H21) ・グラウンド改修工事(H23)
		外部	B	・外壁にクラックがある等	
		屋上・屋根	B	・排水に支障があり雨水が溜まっている等	
		内部	B	・壁に白華、天井に漏水跡がある等	

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等（着工年度）
7	塚原小学校	敷地・地盤	B	・舗装面にひび割れがある等 ・木造玄関部が劣化している等 ・防水層が劣化している等 ・壁や天井に漏水跡がある等	・校舎棟大規模改造及び耐震補強工事(H24) ・屋内運動場大規模改造工事(H26) ・プール改築工事(H28) ・グラウンド改修工事(H28)
		外部	B		
		屋上・屋根	B		
		内部	B		
8	小杉小学校	敷地・地盤	A	・外壁にクラックがある等 ・排水に支障があり雨水が溜まっている等	・校舎棟大規模改造及び耐震補強工事(H21) ・屋内運動場大規模改造及び耐震補強工事(H23)
		外部	B		
		屋上・屋根	B		
		内部	A		
9	金山小学校	敷地・地盤	A	・外壁にクラックがある等 ・排水に支障があり雨水が溜まっている等	・屋内運動場改築工事(H8) ・校舎棟大規模改造及び耐震補強工事(H13)
		外部	B		
		屋上・屋根	B		
		内部	A		
10	歌の森小学校	敷地・地盤	A		・校舎棟大規模改造工事(H29) ・屋内運動場大規模改造工事(R1) ・グラウンド改修工事(R2)
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
11	太閤山小学校	敷地・地盤	A	・外壁にクラックがある等 ・排水に支障があり雨水が溜まっている等	
		外部	B		
		屋上・屋根	B		
		内部	A		
12	中太閤山小学校	敷地・地盤	A	・外壁にクラックがある等 ・排水に支障があり雨水が溜まっている等	・校舎棟大規模改造及び耐震補強工事(H18) ・屋内運動場大規模改造及び耐震補強工事(H19)
		外部	B		
		屋上・屋根	B		
		内部	A		
13	大門小学校	敷地・地盤	B	・縁石にがたつきがある等 ・外壁にクラックがある等 ・排水に支障があり雨水が溜まっている等	
		外部	B		
		屋上・屋根	B		
		内部	A		
14	下村小学校	敷地・地盤	A	・外壁にクラックがある等	・屋内運動場改築工事(H22) ・校舎棟大規模改造及び耐震補強工事(H23)
		外部	B		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
15	大島小学校	敷地・地盤	A	・外壁にクラックがある等 ・防水層のふくれがある等	・校舎棟増改築工事(H24) ・校舎棟大規模改造及び耐震補強工事(H24) ・プール改築工事(H25) ・グラウンド改修工事(H28)
		外部	B		
		屋上・屋根	B		
		内部	A		

	施設名	老朽化状況			主な工事等（着工年度）
				特記事項	
16	新湊中学校	敷地・地盤	B	・石タイルに地割れがある等	
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
17	新湊南部中学校	敷地・地盤	A	・軒天仕上材の剥離がある等 ・防水層のふくれがある等	
		外部	B		
		屋上・屋根	B		
		内部	A		
18	射北中学校	敷地・地盤	A	・外壁塗装の剥がれがある等	・校舎棟大規模改造及び耐震補強工事(H24) ・屋内運動場大規模改造工事(H26) ・グラウンド改修工事(H29)
		外部	B		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
20	小杉中学校	敷地・地盤	A	・壁に白華がある等 ・排水に支障があり雨水が溜まっている等 ・壁に白華、天井に漏水跡がある等	・校舎棟大規模改造及び耐震補強工事(H24)
		外部	B		
		屋上・屋根	B		
		内部	B		
20	小杉南中学校	敷地・地盤	A		・校舎棟大規模改造工事(H29) ・屋内運動場大規模改造工事(R1) ・グラウンド改修工事(R2)
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
21	大門中学校	敷地・地盤	-		・校舎棟及び屋内運動場耐震補強工事(H8) ・校舎棟長寿命化改良工事(H30)
		外部	-		
		屋上・屋根	-		
		内部	-		
22	学校給食センター	敷地・地盤	A	・外壁にクラックがある等 ・防水層に損傷がある等	
		外部	B		
		屋上・屋根	B		
		内部	A		

老朽化状況は、原則として建築基準法第12条の規定による定期調査の結果を参考に記載しています。

大門中学校長寿命化改良工事実施中（平成30年度～令和5年度）

施設の課題と今後の方向性

本市の学校教育施設は、児童生徒数の急増に伴って、昭和40年代後半から50年代にかけて建築された建物が多く、建築後30年以上経過する建物の面積が学校教育施設全体面積の約55%を占めている状況です。このため、今後10年から20年の間に、これら建物の改修や建替等を一斉に迎えることとなり、短期間で多額の財政支出が必要になることが見込まれます。併せて、老朽化が進む小学校のプールや平成10年代以降順次整備された空調設備の更新も、計画的に取り組んでいく必要があります。

一方、少子高齢化と人口減少の進行により、本市の児童生徒数は減少傾向にあり、学校の小規模校化や複式学級化が今後急速に進むと見込まれています。このため、施設の改修等に当たっては、「射水市学校の適正規模・適正配置に関する基本方針(平成23年3月)」に基づき、児童生徒数の減少が教育に及ぼす影響等も考慮し、子どもたちにとって望ましい教育環境について、地域住民やPTA等の方々とともに検討していく必要があります。

「射水市学校の適正規模・適正配置に関する基本方針(抜粋)」(平成22年度策定)

〔適正規模・適正配置の基本方針〕

(1) 小規模校の取扱い

複式学級が続くと見込まれるような学校は、原則、学校の統廃合を検討するものとする。小規模校は、地域の合意が得られるならば、学校の統廃合を検討するものとする。

〔整備方針〕

- ・ 校舎等...築後30年：大規模改造
築後50年：長寿命化改良(大規模改造及び躯体の長寿命化、省エネ化)
- ・ プール...築後35～40年：改築 ・ 空調...設置後15年～20年：更新

【小・中学校児童生徒(見込)数について】

学校名	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)
放生津小学校	138	139	120	121	115	99	102	90
新湊小学校	270	250	235	221	212	208	194	187
作道小学校	337	337	344	336	349	331	331	314
片口小学校	217	198	197	198	197	178	172	171
堀岡小学校	143	138	127	117	135	134	126	126
東明小学校	282	282	269	271	258	262	240	227
塚原小学校	143	142	136	128	129	122	123	122
小杉小学校	578	586	611	609	614	618	633	632
金山小学校	63	64	60	58	55	55	52	48
歌の森小学校	422	426	438	442	443	446	440	441
太閤山小学校	376	370	351	355	349	348	332	325
中太閤山小学校	316	320	314	311	291	297	289	270
大門小学校	768	733	691	648	618	609	566	524
大島小学校	666	640	622	631	626	624	632	605
下村小学校	85	77	71	67	62	63	56	54
新湊中学校	253	246	245	231	216	205	182	181
新湊南部中学校	201	209	225	250	245	255	241	245
射北中学校	365	350	351	340	320	304	311	318
小杉中学校	674	697	664	673	656	654	633	642
小杉南中学校	328	318	296	299	306	297	287	285
大門中学校	779	788	801	789	745	698	658	646

令和3年度以降：推計値

具体的な対策と実施時期

【施設概要の凡例】

- ・経過年数：令和3年4月1日時点の経過年数
 - ・構造：S（鉄骨造） RC（鉄筋コンクリート造） SRC（鉄骨鉄筋コンクリート造） W（木造）
 - ・耐用年数：「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）で、構造や用途によって定められている耐用年数に基づき市の固定資産台帳に記載したものの
 - ・その他：令和元年度実績（児童・生徒数は令和元年5月1日現在の数値）
- 6クラス以下となることが見込まれる小学校については、取組内容及び概算事業費を括弧書きで表記

施設名	施設概要				実施時期 年度	短期				
						R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
1 放生津小学校	建築年度	平成1 (1989)	児童数	138人	経過年数					
	改修年度	—	維持管理費	13,738千円	取組内容					
	経過年数	32	維持管理費/ 児童数	99,553円/人						
	構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	6,314.00㎡	避難所収容 可能人数		2,160人	概算事業費			
2 新湊小学校	建築年度	平成3 (1991)	児童数	270人	経過年数	築後30年				
	改修年度	—	維持管理費	18,961千円	取組内容					
	経過年数	30	維持管理費/ 児童数	70,226円/人						
	構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	7,305.00㎡	避難所収容 可能人数		2,527人	概算事業費			
9 金山小学校	建築年度	昭和50 (1975)	児童数	63人	経過年数		耐用年数			築後50年
	改修年度	平成13 (2001)	維持管理費	19,160千円	改修後年数	改修後20年				
	経過年数	46	維持管理費/ 児童数	304,133円/人	取組内容					
	構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	3,101.00㎡	避難所収容 可能人数		1,044人	概算事業費			
5 堀岡小学校	建築年度	平成14 (2002)	児童数	143人		経過年数		築後20年		
	改修年度	—	維持管理費	13,827千円	取組内容		空調設備 更新			
	経過年数	19	維持管理費/ 児童数	96,694円/人						
	構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	4,968.00㎡	避難所収容 可能人数		1,671人	概算事業費	18百万円		
11 太閤山小学校	建築年度	平成17 (2005)	児童数	376人	経過年数					築後20年
	改修年度	—	維持管理費	34,468千円	取組内容		空調設備 更新			
	経過年数	16	維持管理費/ 児童数	91,671円/人						
	構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	9,069.00㎡	避難所収容 可能人数		3,134人	概算事業費	40百万円		
13 大門小学校	建築年度	平成17 (2005)	児童数	768人	経過年数					築後20年
	改修年度	—	維持管理費	97,893千円	取組内容		実施設計・空調設備更新			
	経過年数	16	維持管理費/ 児童数	127,465円/人						
	構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	11,136.00㎡	避難所収容 可能人数		3,767人	概算事業費	71百万円		
12 中太閤山 小学校	建築年度	昭和52 (1977)	児童数	316人	経過年数				耐用年数	
	改修年度	平成18 (2006)	維持管理費	35,055千円	改修後年数					
	経過年数	44	維持管理費/ 児童数	110,932円/人	取組内容		実施設計・プール改築			
	構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	8,271.00㎡	避難所収容 可能人数		2,844人	概算事業費	194百万円		

	施設名	施設概要				実施時期 年度	短期				
							R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
6	東明小学校	建築年度	昭和47 (1972)	児童数	282人	経過年数		築後50年			
		改修年度	平成19 (2007)	維持管理費	27,787千円	改修後年数					
		経過年数	49	維持管理費/ 児童数	98,536円/人	取組内容					
		構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	6,282.82㎡	避難所収容 可能人数	2,101人	概算事業費					
8	小杉小学校	建築年度	昭和45 (1970)	児童数	578人	経過年数					
		改修年度	平成21 (2009)	維持管理費	49,611千円	改修後年数					
		経過年数	51	維持管理費/ 児童数	85,833円/人	取組内容	実施設計・プール改築				
		構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	8,537.00㎡	避難所収容 可能人数	2,880人	概算事業費	5百万円	188百万円			
14	下村小学校	建築年度	昭和45 (1970)	児童数	85人	経過年数					
		改修年度	平成23 (2011)	維持管理費	21,285千円	改修後年数	改修後10年				
		経過年数	51	維持管理費/ 児童数	250,417円/人	取組内容					
		構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	4,908.00㎡	避難所収容 可能人数	1,309人	概算事業費					
3	作道小学校	建築年度	昭和56 (1981)	児童数	337人	経過年数	築後40年				
		改修年度	平成24 (2012)	維持管理費	16,435千円	改修後年数		改修後10年			
		経過年数	40	維持管理費/ 児童数	48,768円/人	取組内容					
		構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	5,412.00㎡	避難所収容 可能人数	1,828人	概算事業費					
7	塚原小学校	建築年度	昭和55 (1980)	児童数	143人	経過年数					
		改修年度	平成24 (2012)	維持管理費	13,058千円	改修後年数		改修後10年			
		経過年数	41	維持管理費/ 児童数	91,317円/人	取組内容					
		構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	5,012.64㎡	避難所収容 可能人数	1,702人	概算事業費					
15	大島小学校	建築年度	昭和51 (1976)	児童数	666人	経過年数			耐用年数		
		改修年度	平成25 (2013)	維持管理費	50,141千円	改修後年数			改修後10年		
		経過年数	45	維持管理費/ 児童数	75,286円/人	取組内容					
		構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	10,318.00㎡	避難所収容 可能人数	3,586人	概算事業費					
4	片口小学校	建築年度	昭和59 (1984)	児童数	217人	経過年数				築後40年	
		改修年度	平成28 (2016)	維持管理費	14,789千円	改修後年数					
		経過年数	37	維持管理費/ 児童数	68,150円/人	取組内容			(実施設計・大規模)		
		構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	5,516.27㎡	避難所収容 可能人数	1,864人	概算事業費			(1,130百万円)		
10	歌の森小学校	建築年度	昭和57 (1982)	児童数	422人	経過年数		築後40年			
		改修年度	平成29 (2017)	維持管理費	35,196千円	改修後年数					
		経過年数	39	維持管理費/ 児童数	83,402円/人	取組内容	プール改築				
		構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	6,081.00㎡	避難所収容 可能人数	2,056人	概算事業費	184百万円				

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
						築後60年		
	改修後20年							
実施設計・長寿命化改良等								
2,220百万円								
				築後60年				
			改修後20年					
実施設計・長寿命化改良等								
2,750百万円								
				築後60年				児童の減少数の推移を注視し、整備の有無を検討する。
					改修後20年			
(実施設計・改築・長寿命化改良等)								
(1,560百万円)								
		耐用年数			築後50年			実施設計・長寿命化改良等は令和12年度から令和18年度までの7か年で実施。概算事業費は7か年の合計額
						改修後20年		
実施設計・長寿命化改良等								
2,030百万円								
	耐用年数			築後50年				児童の減少数の推移を注視し、整備の有無を検討する。なお、実施設計・長寿命化改良等を実施する場合は令和14年度から令和19年度までの6か年で実施。概算事業費は6か年の合計額
						改修後20年		
(実施設計・長寿命化改良等)								
(1,640百万円)								
築後50年								実施設計・改築・長寿命化改良等は令和13年度から令和16年度までの4か年で実施。概算事業費は4か年の合計額
						改修後20年		
実施設計・改築・長寿命化改良等								
2,240百万円								
					耐用年数			児童の減少数の推移を注視し、整備の有無を検討する。
改修後10年								
改造等)								
			耐用年数			築後50年		
	改修後10年							

	施設名	施設概要				実施時期 年度	短期				
							R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
21	大門中学校	建築年度	昭和47 (1972)	生徒数	779人	経過年数		築後50年			
		改修年度	平成9 (1997)	維持管理費	51,841千円	改修後年数					
		経過年数	49	維持管理費/ 生徒数	66,549円/人	取組内容	長寿命化改良等				
		構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	10,684.75㎡	避難所収容 可能人数	3,577人	概算事業費	1,175百万円	873百万円			
17	新湊南部 中学校	建築年度	平成20 (2008)	生徒数	201人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	19,935千円	取組内容	空調設備 更新				
		経過年数	13	維持管理費/ 生徒数	99,177円/人						
		構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	7,559.78㎡	避難所収容 可能人数	2,628人	概算事業費		41百万円			
18	射北中学校	建築年度	昭和53 (1978)	生徒数	365人	経過年数					耐用年数
		改修年度	平成24 (2012)	維持管理費	18,100千円	改修後年数		改修後10年			
		経過年数	43	維持管理費/ 生徒数	49,588円/人	取組内容					
		構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	8,795.00㎡	避難所収容 可能人数	2,871人	概算事業費					
19	小杉中学校	建築年度	昭和54 (1979)	生徒数	674人	経過年数					
		改修年度	平成25 (2013)	維持管理費	57,665千円	改修後年数			改修後10年		
		経過年数	42	維持管理費/ 生徒数	85,557円/人	取組内容					
		構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	11,760.00㎡	避難所収容 可能人数	4,060人	概算事業費					
16	新湊中学校	建築年度	平成26 (2014)	生徒数	253人	経過年数				築後10年	
		改修年度	—	維持管理費	17,281千円	取組内容					
		経過年数	7	維持管理費/ 生徒数	68,304円/人						
		構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	8,009.00㎡	避難所収容 可能人数	2,796人	概算事業費					
20	小杉南中学校	建築年度	昭和58 (1983)	生徒数	328人	経過年数			築後40年		
		改修年度	平成29 (2017)	維持管理費	30,671千円	改修後年数					
		経過年数	38	維持管理費/ 生徒数	93,510円/人	取組内容	大規模改造等				
		構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	8,946.00㎡	避難所収容 可能人数	3,013人	概算事業費	54百万円				
22	学校給食 センター	建築年度	平成22 (2010)	延利用者数	—	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	141,038千円	取組内容	ボイラ				
		経過年数	11	維持管理費/ 延利用者数	—						
		構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—						
	学校教育課	延床面積	2,180.53㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					30

注：各工事等の実施時期や内容は、現在想定される目安であり、今後の社会経済情勢等の変化や総合計画等の見直し等により、大きく変動する可能性があります。また、概算事業費は、同種工事の直近の単価等を基に機械的に試算したものであり、財政見通し等との整合を図ったものではありません。

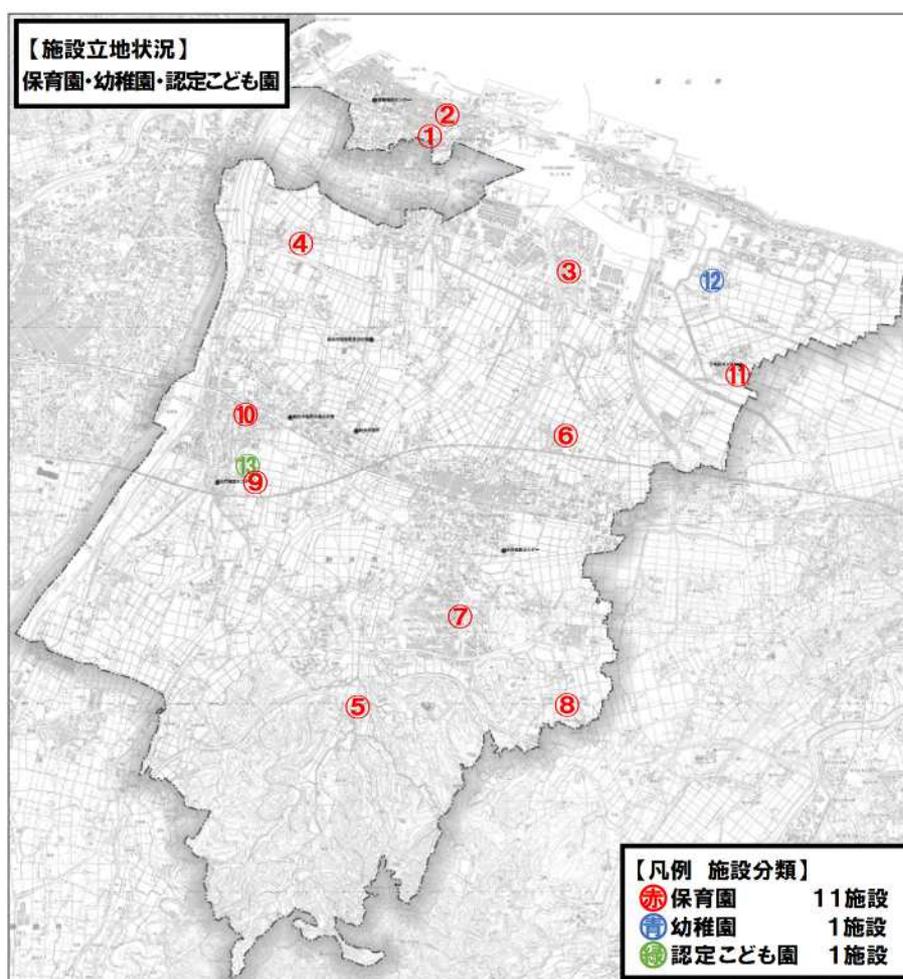
中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
						築後60年		
	改修後30年							
			空調設備更新					
			48百万円					
		築後20年						武道館（木造、平成12(2000)年度整備）について、建築後30年を目途に大規模改修を実施
			実施設計・大規模改造等（武道館）					
			170百万円					
		築後50年						建物の長寿命化を図るため、中期（後半）での対策が必要。実施設計・長寿命化改良等は令和13年度から令和18年度までの6か年で実施。概算事業費は6か年の合計額
						改修後20年		
					実施設計・長寿命化改良等			
					2,630百万円			
耐用年数			築後50年					実施設計・長寿命化改良等は令和14年度から令和19年度までの6か年で実施。概算事業費は6か年の合計額
							改修後20年	
					実施設計・長寿命化改良等			
					3,670百万円			
			空調設備更新					
			74百万円					
				耐用年数			築後50年	
	改修後10年							
			空調設備更新					
			35百万円					
				築後20年				学校給食のセーフティーネットを果たすことから、早期の対応が必要である。
一更新			実施設計・大規模改造					
百万円			650百万円					

6 子育て支援系施設

(1) 保育園・幼稚園・認定こども園

大分類	小分類	対象施設
子育て支援 (24)	保育園(11)	放生津、八幡、片口、塚原、金山、大江、千成、池多、 大門きらら、大島南部、下村
	幼稚園(1)	七美
	認定こども園(1)	大門わかば幼稚園

配置状況



【保育園】

放生津保育園
八幡保育園
片口保育園
塚原保育園
金山保育園
大江保育園
千成保育園
池多保育園
大門きらら保育園
大島南部保育園
下村保育園

【幼稚園】

七美幼稚園

【認定こども園】

大門わかば幼稚園

施設の役割

子どもの健全な心身の発達を図りつつ生涯にわたる人格形成の基礎を培うため、本市では、よりよい保育・教育環境を提供する施設として、保育園・幼稚園・認定こども園を設置しています。

保育園は、保護者が仕事や病気等で就学前の乳幼児を保育できない場合に保護者のかわりに保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とした施設であり、中でも市立保育園は、保育サービスの供給を支え、子育て世帯にとってのセーフティネットの役割を担っています。

幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とした施設です。

認定こども園は、保育園と幼稚園の両方の機能と特長を併せ持ち、地域の子育て支援も行う施設です。

老朽化状況と過去の工事等の履歴

対象施設の老朽化状況と過去に実施した主な工事等は、以下のとおりです。

(凡例... A：おおむね健全 B：やや劣化 C：劣化 D：著しい劣化)

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等（着工年度）
1	放生津保育園	敷地・地盤	B	・土間コンクリートの亀裂	・防水補修工事(H25) ・屋根防水改修工事(H26)
		外部	C	・外壁躯体の亀裂・露筋 ・外壁仕上材の損傷（剥離）	
		屋上・屋根	C	・屋根仕上材の劣化 ・パラペット立上り部の損傷	
		内部	B	・内壁躯体の亀裂 ・内壁仕上材の損傷（剥離）	
2	八幡保育園	敷地・地盤	C	・土間コンクリートの沈下	・外壁剥離改修工事(H27)
		外部	C	・外壁躯体の亀裂・露筋 ・外壁仕上材の損傷（剥離）	
		屋上・屋根	B	・屋根仕上材の劣化	
		内部	B	・内壁仕上材の亀裂 ・床躯体の亀裂	
3	片口保育園	敷地・地盤	B	・土間コンクリートの亀裂	・北棟・遊戯室改修（建築主体）工事(H28) ・北棟・遊戯室改修（電気設備）工事(H28) ・北棟・遊戯室改修（機械設備）工事(H28)
		外部	B	・外壁躯体の亀裂 ・外壁仕上材の剥離	
		屋上・屋根	A		
		内部	B	・内壁躯体の亀裂 ・内壁仕上材の剥離・隙間あり	
4	塚原保育園	敷地・地盤	A		・耐震補強工事(H27)
		外部	B	・外壁躯体の亀裂 ・外壁仕上材の剥離・汚れあり	
		屋上・屋根	A		
		内部	B	・内壁躯体の亀裂 ・内壁仕上材の剥離・隙間あり	

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等（着工年度）
5	金山保育園	敷地・地盤	B	<ul style="list-style-type: none"> ・土間コンクリート亀裂 ・外壁亀裂、複層塗材剥離・浮きあり ・屋上ドレンからの排水管腐食 ・トップライト下モルタル亀裂落下のおそれ危険 ・内壁躯体の亀裂 ・内壁仕上材の剥離 	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修工事(H17) ・防水改修工事(H29)
		外部	B		
		屋上・屋根	B		
		内部	B		
6	大江保育園	敷地・地盤	A	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁躯体の亀裂 ・複層塗材剥離・浮きあり ・屋上面の防水層に膨れや破れ等あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修工事(H16) ・増築工事(H29)
		外部	B		
		屋上・屋根	B		
		内部	A		
7	千成保育園	敷地・地盤	B	<ul style="list-style-type: none"> ・アスファルト舗装沈下 ・土間コンクリート亀裂 ・外壁躯体の亀裂 ・外壁仕上材の剥離 ・屋根折板の腐食 ・内壁躯体の亀裂 ・内壁仕上材の剥離 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強（建築主体）工事(H26) ・耐震補強（電気設備）工事(H26) ・保育室改修工事(H28)
		外部	B		
		屋上・屋根	B		
		内部	B		
8	池多保育園	敷地・地盤	A	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁躯体の亀裂 ・複層塗材剥離・浮きあり ・屋根仕上材の劣化 ・内壁躯体の亀裂 ・内壁仕上材の剥離 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強及び乳児室増築工事(H26) ・増築工事(H29)
		外部	B		
		屋上・屋根	B		
		内部	B		
9	大門きらら保育園	敷地・地盤	A	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根折板の腐食 ・内壁仕上材の剥離 	<ul style="list-style-type: none"> ・増築（建築主体）工事(H20) ・増築（電気・機械設備）工事(H20) ・外壁等改修工事(R2)
		外部	A		
		屋上・屋根	B		
		内部	B		
10	大島南部保育園	敷地・地盤	A		<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事(H30)
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
11	下村保育園	敷地・地盤	A		<ul style="list-style-type: none"> ・外壁等改修工事(R1)
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等（着工年度）
12	七美幼稚園	敷地・地盤	B	<ul style="list-style-type: none"> ・土間コンクリートの沈下 ・外壁のモルタル亀裂落下のおそれ危険 ・表面にひび割れ、欠損や著しい錆び（腐食）あり ・塗装や吹付けに剥がれや浮きあり 	・屋上防水改修工事(H30)
		外部	D		
		屋上・屋根	A		
		内部	C		
13	大門わかば幼稚園	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		

老朽化状況は、原則として建築基準法第 12 条の規定による定期調査の結果を参考に記載しています。

施設の課題と今後の方向性

本市では、平成 28 年度に策定した「市立保育園・幼稚園の今後の民営化方針」の中で、定員 90 人以上の市立保育園は、市内 4 地区の教育・保育提供区域（北西、北東、南西、南東の 4 地区）におおむね 1 園（南東地区は 2 園）程度を市立保育園として存続し、それ以外の保育園は統廃合を含めた民営化を進める方針を示しています。

また、統廃合を含めた民営化を検討する要件（以下「統廃合要件」という。）として、施設の老朽化に伴う改築や大規模改修等が早期に必要な場合及び、入園児童数が 2 年連続して年度初日においておおむね 30 人を下回り、かつ 3 歳以上児が 20 人を下回った場合において、他の保育園・幼稚園との統廃合を基本に、施設の存続の在り方等の協議を進めるとしています。

市立保育園（11 施設）・幼稚園（1 施設）・認定こども園（1 施設）のうち、定員が 90 人に満たない施設は、放生津、八幡、金山、池多、大島南部、下村の 6 保育園及び七美、大門わかば幼稚園の計 8 施設です。

このうち八幡保育園は、建築後 46 年が経過し、大規模改修工事を実施していないことから老朽化が進んでいます。園児数も年々減少しており、今後統廃合要件を満たした場合は、施設の在り方を検討し方向性を決定します。

〔八幡保育園の園児数〕

- ・平成 31 年 4 月 1 日現在：32 人（うち 3 歳以上児 22 人）
- ・令和 2 年 4 月 1 日現在：20 人（うち 3 歳以上児 15 人）

七美幼稚園は、建築後 42 年が経過し、外壁、内壁の亀裂等、劣化が著しく、園児数も年々減少しており、統廃合要件を満たしているため、施設の在り方を検討し方向性を決定します。

〔七美幼稚園の園児数〕

- ・平成 31 年 4 月 1 日現在：17 人
- ・令和 2 年 4 月 1 日現在：15 人

その他の施設についても、統廃合要件を満たす場合は施設の在り方を検討し、その後の方向性を決定することとし、存続する施設については、必要に応じ大規模改修を行うなど適切に保全していきます。

「市立保育園・幼稚園の今後の民営化方針（抜粋）」（平成 28 年度策定）

〔統廃合を含めた民営化を検討する要件〕

集団保育が困難となる場合や施設の老朽化など保育環境の改善が必要となる場合は、原則、他の保育園及び幼稚園との統廃合を基本とし、次の判断基準に基づき施設の存続の在り方等の協議を進めます。

- ・施設の老朽化に伴う改築や大規模改修等が早期に必要な場合
- ・入園児童数が、2 年連続して年度初日において概ね 30 人を下回り、かつ 3 歳以上児が 20 人を下回った場合。ただし、地理的条件や社会的条件等を考慮し、この民営化の対象から除く場合がある。

具体的な対策と実施時期

【施設概要の凡例】

- ・経過年数：令和3年4月1日時点の経過年数
- ・構造：S（鉄骨造） R C（鉄筋コンクリート造） S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造） W（木造）
- ・耐用年数：「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）で、構造や用途によって定められている耐用年数に基づき市の固定資産台帳に記載したものの
- ・その他：令和元年度実績（園児数は平成31年4月1日現在の数値）
定員90人未満の市立保育園については、取組内容及び概算事業費を括弧書きで表記

施設名	施設概要				実施時期 年度	短期				
						R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
2 八幡保育園	建築年度	昭和50 (1975)	園児数	32人	経過年数		耐用年数			築後50年
	改修年度	—	維持管理費	55,586千円	取組内容	統廃合要件を満たした場合は、 施設の在り方を検討し、方向性を決定				
	経過年数	46	維持管理費/ 園児数	1,737,049円/人						
	構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
子育て支援課	延床面積	794.38㎡	避難所収容 可能人数	277人	概算事業費					
1 放生津保育園	建築年度	昭和57 (1982)	園児数	60人	経過年数		築後40年			
	改修年度	—	維持管理費	79,803千円	取組内容	八幡保育園の方向性を踏まえ、 整備内容を決定				
	経過年数	39	維持管理費/ 園児数	1,330,051円/人						
	構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
子育て支援課	延床面積	898.80㎡	避難所収容 可能人数	314人	概算事業費					(365百万円)
8 池多保育園	建築年度	昭和52 (1977)	園児数	60人	経過年数				耐用年数	
	改修年度	平成15 (2003)	維持管理費	80,661千円	改修後年数			改修後20年		
	経過年数	44	維持管理費/ 園児数	1,344,353円/人	取組内容					
	構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
子育て支援課	延床面積	365.21㎡	避難所収容 可能人数	127人	概算事業費					
6 大江保育園	建築年度	昭和60 (1985)	園児数	100人	経過年数					築後40年
	改修年度	平成16 (2004)	維持管理費	111,407千円	改修後年数			改修後20年		
	経過年数	36	維持管理費/ 園児数	1,114,074円/人	取組内容					
	構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
子育て支援課	延床面積	578.03㎡	避難所収容 可能人数	202人	概算事業費					
5 金山保育園	建築年度	昭和59 (1984)	園児数	45人	経過年数				築後40年	
	改修年度	平成17 (2005)	維持管理費	82,830千円	改修後年数				改修後20年	
	経過年数	37	維持管理費/ 園児数	1,840,662円/人	取組内容					
	構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
子育て支援課	延床面積	457.95㎡	避難所収容 可能人数	160人	概算事業費					
7 千成保育園	建築年度	昭和48 (1973)	園児数	110人	経過年数			築後50年		
	改修年度	平成26 (2014)	維持管理費	132,089千円	改修後年数				改修後10年	
	経過年数	48	維持管理費/ 園児数	1,200,811円/人	取組内容					
	構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
子育て支援課	延床面積	1,069.81㎡	避難所収容 可能人数	374人	概算事業費					
4 塚原保育園	建築年度	昭和51 (1976)	園児数	97人	経過年数			耐用年数		
	改修年度	平成27 (2015)	維持管理費	128,540千円	改修後年数				改修後10年	
	経過年数	45	維持管理費/ 園児数	1,325,150円/人	取組内容					
	構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
子育て支援課	延床面積	897.80㎡	避難所収容 可能人数	314人	概算事業費					

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
								園児数の推移を踏まえ、整備の有無を検討する。統廃合要件を満たした場合は施設の在り方の検討を進め、方針を決定・実施する。
			耐用年数			築後50年		
改修等)								
	築後50年						改修後30年	園児数の推移を踏まえ、整備の有無を検討する。統廃合要件を満たした場合は施設の在り方の検討を進め、方針を決定・実施する。
		(実施設計・大規模改修等)						
		(174百万円)						
						耐用年数		
			実施設計・大規模改修等					
			226百万円					
					耐用年数			園児数の推移を踏まえ、整備の有無を検討する。統廃合要件を満たした場合は施設の在り方の検討を進め、方針を決定・実施する。
			(実施設計・大規模改修等)					
			(210百万円)					
							築後60年	
築後50年								

射水市公共施設個別施設計画

	施設名	施設概要				実施時期 年度	短期				
							R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
3	片口保育園	建築年度	昭和51 (1976)	園児数	126人	経過年数			耐用年数		
		改修年度	平成28 (2016)	維持管理費	154,651千円	改修後年数					
		経過年数	45	維持管理費/ 園児数	1,227,392円/人	取組内容					
		構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	子育て支援課	延床面積	1,512.52㎡	避難所収容 可能人数	529人	概算事業費					
10	大島南部 保育園	建築年度	平成8 (1996)	園児数	76人	経過年数					
		改修年度	平成30 (2018)	維持管理費	79,076千円	改修後年数					
		経過年数	25	維持管理費/ 園児数	1,040,476円/人	取組内容					
		構造/ 耐用年数	W/22年	稼働率	—						
	子育て支援課	延床面積	636.39㎡	避難所収容 可能人数	222人	概算事業費					
11	下村保育園	建築年度	平成6 (1994)	園児数	67人	経過年数				築後30年	
		改修年度	令和1 (2019)	維持管理費	80,838千円	改修後年数					
		経過年数	27	維持管理費/ 園児数	1,206,531円/人	取組内容					
		構造/ 耐用年数	W/22年	稼働率	—						
	子育て支援課	延床面積	780.98㎡	避難所収容 可能人数	273人	概算事業費					
9	大門きらら 保育園	建築年度	平成11 (1999)	園児数	260人	経過年数	耐用年数				
		改修年度	令和2 (2020)	維持管理費	237,959千円	改修後年数					
		経過年数	22	維持管理費/ 園児数	915,225円/人	取組内容					
		構造/ 耐用年数	W/22年	稼働率	—						
	子育て支援課	延床面積	2,079.61㎡	避難所収容 可能人数	727人	概算事業費					
12	七美幼稚園	建築年度	昭和54 (1979)	園児数	17人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	24,606千円	取組内容	統廃合要件を満たしているため、 施設の在り方を検討し、方向性を決定				
		経過年数	42	維持管理費/ 園児数	1,447,392円/人						
		構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	子育て支援課	延床面積	455.00㎡	避難所収容 可能人数	159人	概算事業費				方向性の実施	
13	大門わかば 幼稚園	建築年度	平成17 (2005)	園児数	55人	経過年数				築後20年	
		改修年度	—	維持管理費	82,825千円	取組内容					
		経過年数	16	維持管理費/ 園児数	1,505,916円/人						
		構造/ 耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
	子育て支援課	延床面積	1,550.00㎡	避難所収容 可能人数	542人	概算事業費					

注：各工事等の実施時期や内容は、現在想定される目安であり、今後の社会経済情勢等の変化や総合計画等の見直し等により、大きく変動する可能性があります。また、概算事業費は、同種工事の直近の単価等を基に機械的に試算したものであり、財政見直し等との整合を図ったものではありません。

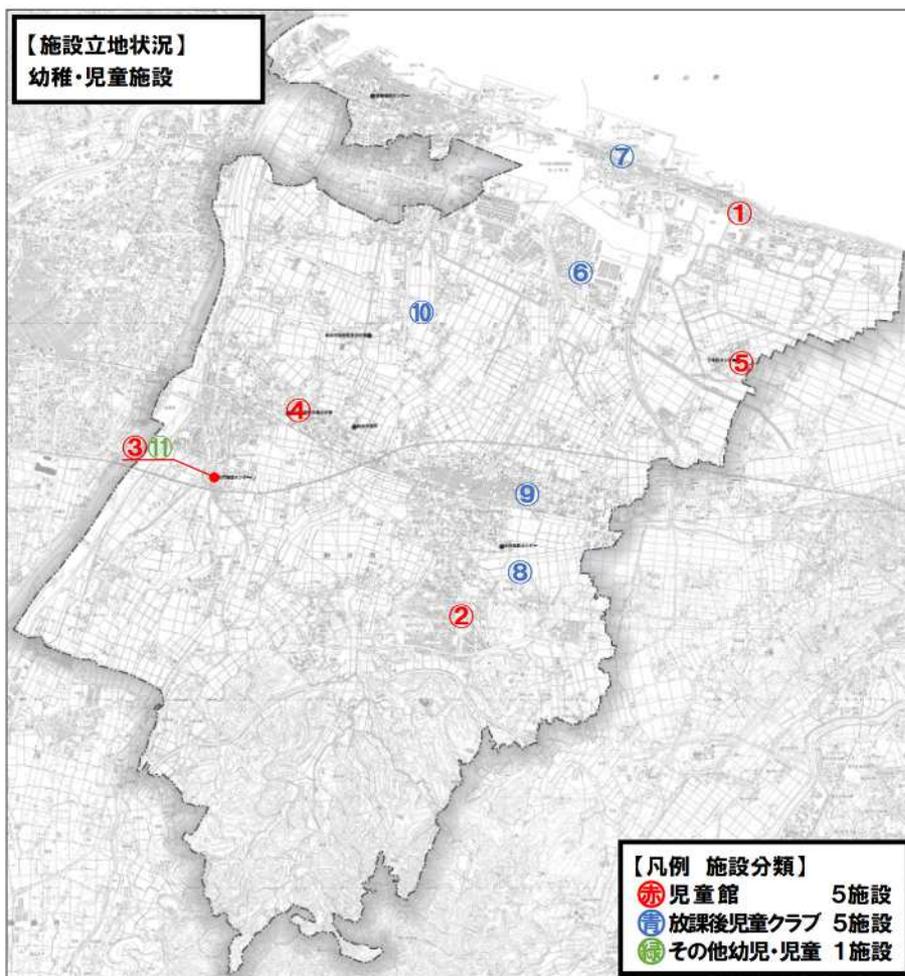
中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
築後50年								
改修後10年								
築後30年								統廃合要件を満たした場合は施設の在り方の検討を進め、方針を決定・実施する。
		改修後10年						
								統廃合要件を満たした場合は施設の在り方の検討を進め、方針を決定・実施する。
			改修後10年					
			築後30年					
				改修後10年				
耐用年数			築後50年					
								統廃合要件を満たした場合は施設の在り方の検討を進め、方針を決定・実施する。

(2) 幼児・児童施設

大分類	小分類	対象施設
子育て支援 (24)	児童館(5)	海老江児童センター、太閤山、大門、大島、下村
	放課後児童クラブ(5)	とねりこ学級(片口小学校放課後児童クラブ) なでしこクラブ(堀岡小学校放課後児童クラブ) ピノキオ学級B組(歌の森小学校放課後児童クラブ) ひばり学級(小杉小学校放課後児童クラブ) 道の子学級(作道小学校放課後児童クラブ)
	その他幼児・児童(1)	子ども子育て総合支援センター

放課後児童クラブは、専用施設として整備したものを対象としています。

配置状況



【児童館】

- 海老江児童センター
- 太閤山児童館
- 大門児童館
- 大島児童館
- 下村児童館

【放課後児童クラブ】

- とねりこ学級
(片口小学校放課後児童クラブ)
- なでしこクラブ
(堀岡小学校放課後児童クラブ)
- ピノキオ学級B組
(歌の森小学校放課後児童クラブ)
- ひばり学級
(小杉小学校放課後児童クラブ)
- 道の子学級
(作道小学校放課後児童クラブ)

【その他幼児・児童施設】

- 子ども子育て
総合支援センター

施設の役割

・児童館

児童館は、18歳未満の子どもを対象とし、地域における遊びや生活の援助、子育て家庭の支援のほか、子どもの心身の育成及び情操を豊かにすることを目的としています。

主な役割は以下のとおりです。

遊びなどを通した子どもの発達支援

子どもの安定した日常生活の支援

子どもやその家庭が抱える課題の早期発見と対応

子育て家庭への支援

子どもの育成組織や地域ネットワークの形成

・放課後児童クラブ

放課後児童クラブは、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室や放課後児童クラブ専用施設等を利用して、適切な遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図るとともに、保護者の子育てと仕事の両立支援を行うことを目的としています。

全体の児童数が減少している中、放課後児童クラブの利用者は、ほぼ横ばいで推移しています。

現在、13小学校区22学級で放課後児童クラブを実施しており、うち6学級(とねりこ学級、なでしこクラブ、ピノキオ学級B組、ひばり学級、道の子学級A・B)が放課後児童クラブ専用施設です。他の学級は、小学校、コミュニティセンター、地区センターや児童館の施設内に設置されています。

・子ども子育て総合支援センター

子ども子育て総合支援センター(キッズポートいみず)は、子育て支援体制の充実と妊娠、出産、育児、就学などそれぞれのステージにおける専門的な相談支援の拠点となる包括的な子育て総合支援施設です。

本施設には、母子総合相談室、子どもの悩み総合相談室、子ども発達相談室、幼児ことばの教室、子育て支援センター、大門児童館があり、射水市保健センターと連携し、妊娠、出産、子育て期にわたる総合的な相談窓口として、切れ目ない相談・支援を行っています。

老朽化状況と過去の工事等の履歴

対象施設の老朽化状況と過去に実施した主な工事等は、以下のとおりです。

(凡例... A : おおむね健全 B : やや劣化 C : 劣化 D : 著しい劣化)

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等(着工年度)
1	海老江児童センター	敷地・地盤	A		・ 駐車場整備工事(H28)
		外部	D	・ 基礎表面の亀裂 ・ 外壁仕上げ材の亀裂、剥落(鉄筋露出)、白華、さび	
		屋上・屋根	B	・ 屋根仕上材の劣化	
		内部	C	・ 内壁・梁仕上げ材の亀裂、剥落	
2	太閤山児童館	敷地・地盤	A		・ 大規模修繕(屋根、外壁、内装、給排水、空調、電気設備)(H14) ・ 防水改修工事(H29)
		外部	B	・ 外壁仕上げ材の亀裂、剥落	
		屋上・屋根	B	・ 屋根仕上材の劣化	
		内部	B	・ 内壁仕上げ材の亀裂	
4	大島児童館	敷地・地盤	A		・ 放課後児童クラブ室整備(トイレ改修)(H27)
		外部	B	・ 変色あり	
		屋上・屋根	A		
		内部	B	・ 1・2階天井から雨漏り(大雨や台風時)	
6	とねりこ学級 (片口小学校放課後児童クラブ)	敷地・地盤	A		・ プレハブ建屋外壁工事(H28)
		外部	B	外壁一部劣化あり	
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
7	なでしこクラブ (堀岡小学校放課後児童クラブ)	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
8	ピノキオ学級B組 (歌の森小学校放課後児童クラブ)	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
9	ひばり学級 (小杉小学校放課後児童クラブ)	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
10	道の子学級 (作道小学校放課後児童クラブ)	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		

	施設名	老朽化状況		主な工事等（着工年度）
			特記事項	
11	子ども子育て総合支援センター	敷地・地盤	B	・アスファルト舗装亀裂 ・外壁のひび割れ ・設備（建築、電気、機械）工事(H28) ・防災アンプ等更新工事(H28) ・大門庁舎地区窓口整備工事(H28) ・外構整備工事(H28) ・外構工事(H29) ・外構整備工事（屋外児童遊具）(H30)
		外部	B	
		屋上・屋根	A	
		内部	A	

大門児童館は子ども子育て総合支援センターで、下村児童館は下村図書館（下村交流センター）(32ページ)で記載。

施設の課題と今後の方向性

・児童館

海老江児童センターは、建築後41年を経過し、外壁等の損傷やトイレ、ボイラー設備等の劣化が著しい状態です。地域の児童数も年々減少している影響で利用者数も減少傾向にあり、今後の施設の在り方を検討する必要があります（年間利用者数：平成29年度5,818人 令和元年度4,944人）。

太閤山児童館は、平成14年度に大規模改修を行っているものの、建築後38年を経過し、劣化が進んでいます。また、利用者数も減少傾向にあり、地域のコミュニティセンター等の整備時における児童室化に向けた検討が必要です（年間利用者数：平成29年度6,398人 令和元年度4,180人）。

大島児童館は、建築後30年が経過し、耐用年数（22年）を超えています。また、利用者数の増加や平成27年7月から同施設の2階に放課後児童クラブを設置した影響もあり、スペースが大変手狭となっています（年間利用者数：平成29年度11,135人 令和元年度13,255人）。今後、大島コミュニティセンターへの移転や大規模改修による保全等を検討します。

下村児童館は、下村交流センターの機能の一つとして平成14年度に整備し、建築後19年を経過しています。当面は適切に保全し、建築後35年を目途に大規模改修を行いますが、併設する下村図書館や下地区センターの今後の方向性によっては、実施時期等を変更する可能性があります。

大門児童館は、子ども子育て総合支援センターの機能の一つとして平成28年度に移転し、大規模改修後5年を経過しています。

・放課後児童クラブ

とねりこ学級は、建築後19年経過しており、外壁に若干経年劣化が見受けられます。

なでしこクラブ、ピノキオ学級B組及びびびり学級（それぞれ建築後7年経過）並びに道の子学級（建築後5年経過）は、建築後間もないことから、目立った劣化は見られません。引き続き適切に保全していきます。

全体の児童数が減少している中、放課後児童クラブの利用ニーズは、高い状態が続いており、今後の利用児童数は、ほぼ横ばいで推移すると見込まれます（市内放課後児童クラブの児童数：平成29年度876人、平成30年度891人、令和元年度887人）。

・子ども子育て総合支援センター

旧大門庁舎の1階から3階を平成28年度に大規模改修して設置しましたが、建築後39年が経過しており、外壁等の劣化が見受けられます。

利用者数は、平成29年度34,438人、平成30年度39,942人、令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響から35,482人と減少していますが、相談件数は平成29年度1,057件、平成30年度1,163件、令和元年度1,376件と年々増加しています。

引き続き、妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目ない相談支援の拠点としての体制を維持していくに当たり、専門スタッフ（助産師、小児神経専門医等）の確保が課題となっています。

具体的な対策と実施時期

【施設概要の凡例】

- ・経過年数：令和3年4月1日時点の経過年数
- ・構造：S（鉄骨造） R C（鉄筋コンクリート造） S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造） W（木造）
- ・耐用年数：「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）で、構造や用途によって定められている耐用年数に基づき市の固定資産台帳に記載したものの
- ・その他：令和元年度実績

施設名	施設概要				実施時期	短期				
	年度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)				
1 海老江児童センター	建築年度	昭和55（1980）	延利用者数	4,944人	経過年数					
	改修年度	—	維持管理費	11,427千円	取組内容					今後の在りし、方向性
	経過年数	41	維持管理費/延利用者数	2,311円/人						
	構造/耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
子育て支援課	延床面積	321.75㎡	避難所収容可能人数	112人	概算事業費					
4 大島児童館	建築年度	平成3（1991）	延利用者数	13,255人	経過年数	築後30年				
	改修年度	—	維持管理費	7,871千円	取組内容					今後の在り方を検討し、方向性を決定
	経過年数	30	維持管理費/延利用者数	594円/人						
	構造/耐用年数	W/22年	稼働率	—						
子育て支援課	延床面積	541.78㎡	避難所収容可能人数	—	概算事業費					
2 太閤山児童館	建築年度	昭和58（1983）	延利用者数	4,180人	経過年数			築後40年		
	改修年度	平成14（2002）	維持管理費	11,749千円	改修後年数		改修後20年			
	経過年数	38	維持管理費/延利用者数	2,811円/人	取組内容					
	構造/耐用年数	RC/47年	稼働率	—						
子育て支援課	延床面積	195.75㎡	避難所収容可能人数	68人	概算事業費					
5 下村児童館	建築年度	平成14（2002）	延利用者数	16,361人	経過年数		築後20年		耐用年数	
	改修年度	—	維持管理費	19,332千円	取組内容					
	経過年数	19	維持管理費/延利用者数	1,182円/人						
	構造/耐用年数	W/22年	稼働率	—						
子育て支援課	延床面積	588.07㎡	避難所収容可能人数	—	概算事業費					
3 大門児童館	建築年度	昭和57（1982）	延利用者数	8,539人	経過年数		築後40年			
	改修年度	平成28（2016）	維持管理費	15,420千円	改修後年数					
	経過年数	39	維持管理費/延利用者数	1,806円/人	取組内容					
	構造/耐用年数	RC/50年	稼働率	—						
子育て支援課	延床面積	258.23㎡	避難所収容可能人数	—	概算事業費					
6 とねりこ学級 (片口小学校 放課後児童 クラブ)	建築年度	平成14（2002）	延利用者数	—	経過年数		築後20年			
	増築年度	平成16（2004）	維持管理費	6,252千円	経過年数 (増築部分)				築後20年 (増築部分)	
	経過年数	19	維持管理費/延利用者数	—	取組内容					
	構造/耐用年数	S/34年	稼働率	—						
生涯学習・スポーツ課	延床面積	236.96㎡	避難所収容可能人数	—	概算事業費					
7 なでしこ クラブ (堀岡小学校 放課後児童 クラブ)	建築年度	平成26（2014）	延利用者数	—	経過年数				築後10年	
	改修年度	—	維持管理費	5,389千円	取組内容					
	経過年数	7	維持管理費/延利用者数	—						
	構造/耐用年数	S/34年	稼働率	—						
生涯学習・スポーツ課	延床面積	153.00㎡	避難所収容可能人数	—	概算事業費					

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
	耐用年数			築後50年				
方を検討 を決定	方向性に基づき整備計画を 策定・実行							
					築後40年			
方向性に基づき整備計画を策 定・実行（大規模改修の場合 は令和9年度に実施：概算事 業費 198百万円）								同館2階（107.03㎡）で放課後 児童クラブを実施している。
				耐用年数			築後50年	
						改修後30年		
				近隣施設との複合化を 検討し、方向性を決定		方向性に基づき整備計画を 策定・実行		近隣施設との協議により実施年 度が変更する可能性がある。
						築後30年		
						築後50年 耐用年数		
改修後10年								
						築後30年		

	施設名	施設概要				実施時期	短期				
						年度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
8	ピノキオ学級 B組 (歌の森小学校 放課後児童 クラブ)	建築年度	平成26 (2014)	延利用者数	—	経過年数				築後10年	
		改修年度	—	維持管理費	10,437千円	取組内容					
		経過年数	7	維持管理費/ 延利用者数	—						
		構造/ 耐用年数	S/34年	稼働率	—						
	生涯学習・スポーツ課	延床面積	142.50㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
9	ひばり学級 (小杉小学校 放課後児童 クラブ)	建築年度	平成26 (2014)	延利用者数	—	経過年数				築後10年	
		改修年度	—	維持管理費	7,054千円	取組内容					
		経過年数	7	維持管理費/ 延利用者数	—						
		構造/ 耐用年数	S/34年	稼働率	—						
	生涯学習・スポーツ課	延床面積	99.50㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
10	道の子学級 (作道小学校 放課後児童 クラブ)	建築年度	平成28 (2016)	延利用者数	—	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	8,982千円	取組内容					
		経過年数	5	維持管理費/ 延利用者数	—						
		構造/ 耐用年数	S/34年	稼働率	—						
	生涯学習・スポーツ課	延床面積	214.97㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
11	子ども子育て 総合支援 センター	建築年度	昭和57 (1982)	延利用者数	35,482人	経過年数		築後40年			
		改修年度	平成28 (2016)	維持管理費	7,924千円	改修後年数					
		経過年数	39	維持管理費/ 延利用者数	223円/人	取組内容					
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	—						
	保健センター	延床面積	4,329.80㎡	避難所収容 可能人数	899人	概算事業費					

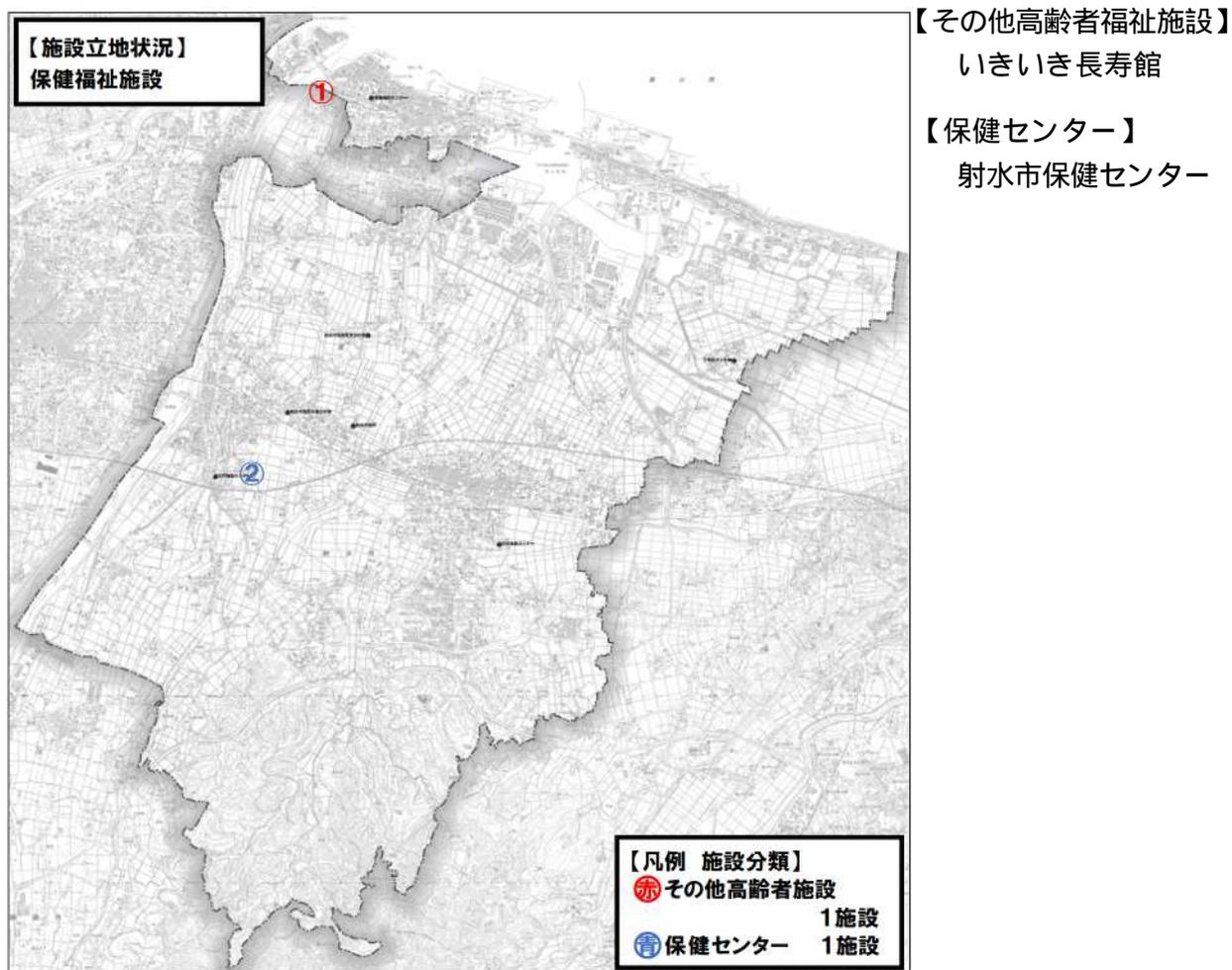
注：各工事等の実施時期や内容は、現在想定される目安であり、今後の社会経済情勢等の変化や総合計画等の見直し等により、大きく変動する可能性があります。また、概算事業費は、同種工事の直近の単価等を基に機械的に試算したものであり、財政見直し等との整合を図ったものではありません。

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
築後10年								
						築後50年 耐用年数		
改修後10年								

7 保健福祉施設

大分類	小分類	対象施設
保健福祉	その他高齢者福祉(1)	いきいき長寿館
	(2) 保健センター(1)	射水市保健センター

配置状況



施設の役割

・いきいき長寿館

いきいき長寿館は、高齢者が気軽に集い、活動できる介護予防施設です。カローリングや卓球、きららか射水 100 歳体操等で利用されています。

・射水市保健センター

射水市保健センターは、全ての市民に対して、健康相談、健康診査、健康教育、家庭訪問等、地域保健に関し必要な事業を提供し、市民の疾病予防、健康増進を図る拠点となっています。子どもに対するサービスでは、母子健康手帳の交付及び保健指導、家庭訪問（新生児訪問等）、乳幼児健診（3～4か月児、1歳6か月児、3歳6か月児）、育児相談・教室等を実施しており、家庭の支援を含めた母子保健支援の中心となっています。

老朽化状況と過去の工事等の履歴

対象施設の老朽化状況と過去に実施した主な工事等は、以下のとおりです。

（凡例… A：おおむね健全 B：やや劣化 C：劣化 D：著しい劣化）

	施設名	老朽化状況		主な工事等（着工年度）	
			特記事項		
1	いきいき長寿館	敷地・地盤	B	・舗装・外構等の老朽化	<ul style="list-style-type: none"> ・改修（建築主体）工事(H28) ・改修（機械設備）工事(H28) ・改修（電気設備）工事(H28)
		外部	D	・外壁の劣化が進んでいる。	
		屋上・屋根	B	・屋根材の老朽化	
		内部	B	・内壁・天井等の老朽化	
2	射水市保健センター	敷地・地盤	C	・アスファルト舗装沈下、亀裂	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場増設工事(H27) ・診察室系統空調設備改修工事(H28) ・多目的集会室系統空調設備改修工事(H28) ・事務室系統空調設備改修工事(H29) ・トイレ改修工事(H30)
		外部	C	・外壁のひび割れ、塗装の剥離	
		屋上・屋根	C	・屋上面の防水層劣化による雨漏りあり	
		内部	B	・内壁の亀裂	

施設の課題と今後の方向性

・いきいき長寿館

いきいき長寿館は、旧新湊西部中学校の統合に伴う地元要望として、平成 28 年度に武道館の内部を改修し、高齢者の介護予防施設として平成 29 年度に開館した施設です。建築後 33 年が経過し、外壁や屋根の劣化が進んでおり、今後、必要な保全を行います。

なお、令和元年度の利用者数は 5,130 人となっています。

・射水市保健センター

平成 28 年度に、旧大門保健センターへ市内 4 か所の保健センター機能を統合して業務を行ってきましたが、建築後 26 年が経過し、各所に経年劣化が見受けられます。

また、統合により従来の事務室に全ての職員を配置できず、2 部屋に分けて配置しており、事務効率及び職員間の連携に課題があります。さらに、乳幼児健診では全ての部屋を使用する必要があり、健診時は他の要件で来所された方の対応が困難であるほか、各種健康教室・相談、がん検診等事業の日程調整が難しいといった課題があります。

一方、近接する子ども子育て総合支援センターにおいては、周産期や発達支援を中心とした母子保健に係るサービスを提供している現状があります。

こうしたことを踏まえ、今後、現施設の大規模改修や子ども子育て総合支援センターへの移転も含め、保健センターの今後の方向性について、幅広く検討します。

具体的な対策と実施時期

【施設概要の凡例】

- ・経過年数：令和3年4月1日時点の経過年数
- ・構造：S（鉄骨造） RC（鉄筋コンクリート造） SRC（鉄骨鉄筋コンクリート造） W（木造）
- ・耐用年数：「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）で、構造や用途によって定められている耐用年数に基づき市の固定資産台帳に記載したものの
- ・その他：令和元年度実績（稼働率：利用時間 / 利用可能時間）

	施設名	施設概要				実施時期	短期				
						年度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
1	いきいき 長寿館	建築年度	昭和63 (1988)	延利用者数	5,130人	経過年数					
		改修年度	平成28 (2016)	維持管理費	5,835千円	改修後年数					
		経過年数	33	維持管理費/ 延利用者数	1,137円/人	取組内容	外壁補修				
		構造/ 耐用年数	W/22年	稼働率	19.8%						
地域福祉課	延床面積	523.56㎡	避難所収容 可能人数	183人	概算事業費	6百万円					
2	射水市保健 センター	建築年度	平成7 (1995)	延利用者数	10,000人	経過年数					築後30年
		改修年度	—	維持管理費	6,303千円	取組内容					
		経過年数	26	維持管理費/ 延利用者数	630円/人						
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	—						
保健センター	延床面積	1,045.43㎡	避難所収容 可能人数	365人	概算事業費						
—	小杉ふれあい センター	建築年度	昭和62 (1987)	延利用者数	—	経過年数	耐用年数				
		改修年度	—	維持管理費	—	取組内容	解体				
		経過年数	34	維持管理費/ 延利用者数	—						
		構造/ 耐用年数	S/34年	稼働率	—						
地域福祉課	延床面積	1,028.00㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	41百万円					

注：各工事等の実施時期や内容は、現在想定される目安であり、今後の社会経済情勢等の変化や総合計画等の見直し等により、大きく変動する可能性があります。また、概算事業費は、同種工事の直近の単価等を基に機械的に試算したものであり、財政見直し等との整合を図ったものではありません。

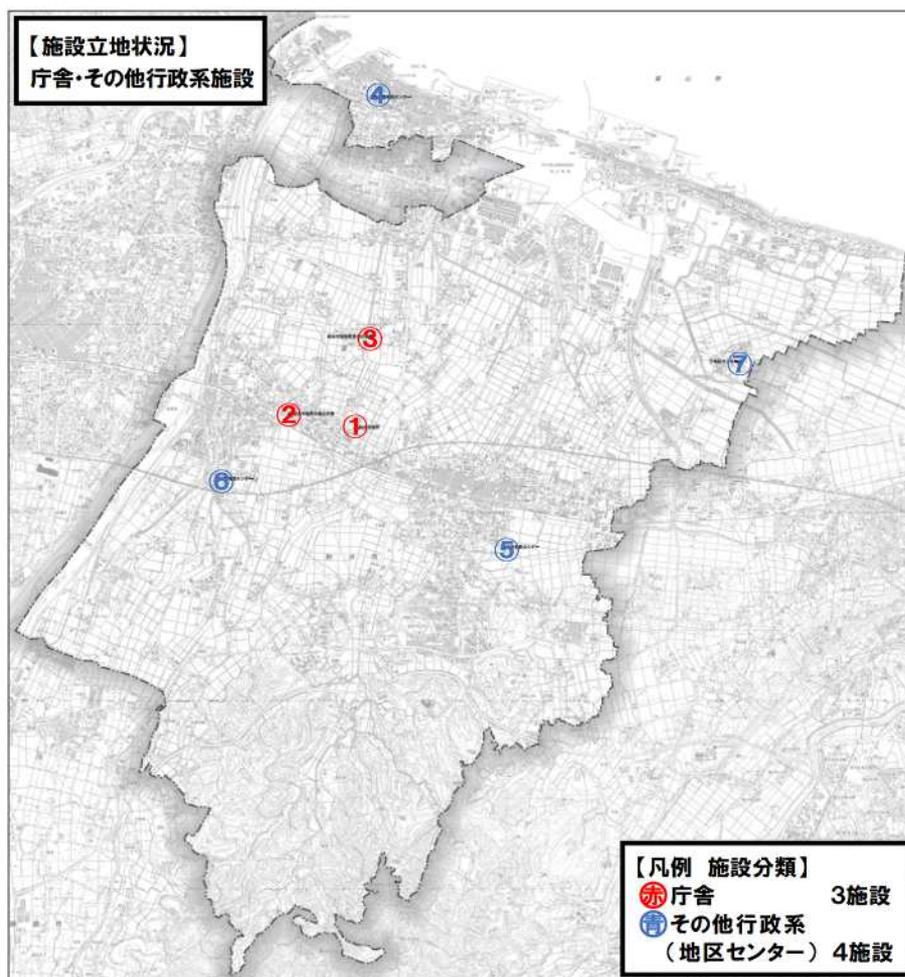
中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
		築後40年						
改修後10年								
子ども子育て総合支援センターへの移転も含めた方向性の検討		子ども子育て総合支援センターへの移転 ・大規模改修し、存続（大規模改修の場合は令和11年度を目途に実施：概算事業費 333百万円）						大規模改修の場合、施設レイアウト等を見直す必要がある。また、改修中の代替場所の確保が課題
	築後40年							

8 行政系施設

(1) 庁舎・その他行政系施設

大分類	小分類	対象施設
行政系 (37)	庁舎(3)	庁舎、大島分庁舎、布目分庁舎別館
	その他行政系(4)	新湊地区センター、小杉地区センター、大門地区センター、下地区センター

配置状況



【庁舎】

市庁舎
大島分庁舎
布目分庁舎別館

【その他行政系施設】

新湊地区センター
小杉地区センター
大門地区センター
下地区センター

施設の役割

・市庁舎、大島分庁舎

市庁舎、大島分庁舎は、本市の行政サービスの拠点施設です。市庁舎には、災害発生時に災害対策本部が置かれるなど災害対策拠点としての役割も有します。

・布目分庁舎別館

1階は、本市とハローワーク高岡が運営する公的職業紹介機関「ワークセンター射水」が入居し、市民等からの職業相談を受け付けています。

2階及び3階は、教育関連施設となっており、いじめ、不登校及び子育てなどの教育全般についての相談を受け付ける「教育相談室」や「適応指導教室」を設置しており、日々の生活や学校生活等に悩む親や子どもたちへの支援を行っています。

・地区センター

地区センターは、新湊、小杉、大門、下の4地区に設置しており、証明書の発行業務や各種申請書の受付のほか、関係課への引継業務など、地区の身近な行政窓口としてのサービスを提供しています。

老朽化状況と過去の工事等の履歴

対象施設の老朽化状況と過去に実施した主な工事等は、以下のとおりです。

(凡例... A : おおむね健全 B : やや劣化 C : 劣化 D : 著しい劣化)

施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等(着工年度)
	敷地・地盤	内部		
1 市庁舎	敷地・地盤	A		
	外部	A		
	屋上・屋根	A		
	内部	A		
2 大島分庁舎	敷地・地盤	B	・一部地盤沈下がある。(駐車場に一部段差あり)	・昇降機改修工事(H28) ・排煙装置改修工事(H28) ・高圧受電設備更新工事(H28) ・大島分庁舎空調用チラー更新工事(H30)
	外部	B	・一部ひび割れ及びタイル貼り剥がれ	
	屋上・屋根	A		
	内部	B	・一部内装に剥がれ	
3 布目分庁舎別館	敷地・地盤	A		・屋上・外壁防水修繕(H26)
	外部	B	・外壁にクラックがある等	
	屋上・屋根	C	・防水層に損傷がある等	
	内部	B	【内装】 ・壁や天井に漏水跡がある等	
C		【設備】 ・空調、エレベーターの劣化		
5 小杉地区センター	敷地・地盤	A		・旧小杉保健センター改修(建築主体)工事(H28) ・小杉地区センター屋上防水改修工事(R1) ・バルク(ガス)貯槽入替工事(R1)
	外部	B	・一部ひび割れから染み出しあり	
	屋上・屋根	A		
	内部	A		

新湊地区センターは新湊消防署(108ページ)で、大門地区センターは子ども子育て総合支援センター(88ページ)で、下地区センターは、下村図書館(下村交流センター)(32ページ)で記載。

施設の課題と今後の方向性

・市庁舎、大島分庁舎

市庁舎は平成 28 年度に供用開始した新しい施設であることから、施設、設備ともに目立った劣化は見られません。大島分庁舎については、一部劣化が見られますが、引き続き適切に維持保全していきます。

・布目分庁舎別館

布目分庁舎別館は、建築後 24 年が経過し、空調設備やエレベーター設備の老朽化が進行していることから、早急に設備の更新を行い、施設利用者の安全確保等を図る必要があります。

・地区センター

地区センターは、当面維持し、今後の利用状況や行政手続のデジタル化の進展状況等を踏まえ、適切な時期に在り方を検討します。

具体的な対策と実施時期

【施設概要の凡例】

- ・経過年数：令和3年4月1日時点の経過年数
- ・構造：S（鉄骨造） RC（鉄筋コンクリート造） SRC（鉄骨鉄筋コンクリート造） W（木造）
- ・耐用年数：「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）で、構造や用途によって定められている耐用年数に基づき市の固定資産台帳に記載したものの
- ・その他：令和元年度実績

	施設名	施設概要				実施時期 年度	短期				
							R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
1	市庁舎	建築年度	平成28（2016）	延利用者数	—	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	78,579千円	取組内容					
		経過年数	5	維持管理費/ 延利用者数	—						
	管財契約課	延床面積	15,434.86㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
2	大島分庁舎	建築年度	平成1（1989）	延利用者数	—	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	26,788千円	取組内容					
		経過年数	32	維持管理費/ 延利用者数	—						
	管財契約課	延床面積	4,039.87㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
3	布目分庁舎 別館	建築年度	平成9（1997）	延利用者数	—	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	5,121千円	取組内容	空調設備・ エレベーター制御盤 等更新				
		経過年数	24	維持管理費/ 延利用者数	—						
	学校教育課	延床面積	1,319.00㎡	避難所収容 可能人数	461人	概算事業費	55百万円				
4	新湊地区 センター	建築年度	平成20（2008）	証明発行件数	7,858件	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	4,215千円	取組内容					
		経過年数	13	維持管理費/ 証明発行件数	—						
	市民課	延床面積	187.60㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
5	小杉地区 センター	建築年度	昭和59（1984）	証明発行件数	9,629件	経過年数			築後40年		
		改修年度	平成28（2016）	維持管理費	7,054千円	改修後年数					
		経過年数	37	維持管理費/ 証明発行件数	—	取組内容					
	市民課	延床面積	571.99㎡	避難所収容 可能人数	109人		概算事業費				
6	大門地区 センター	建築年度	昭和57（1982）	証明発行件数	4,927件	経過年数		築後40年			
		改修年度	平成28（2016）	維持管理費	7,131千円	改修後年数					
		経過年数	39	維持管理費/ 証明発行件数	—	取組内容					
	市民課	延床面積	101.04㎡	避難所収容 可能人数	—		概算事業費				
7	下地区 センター	建築年度	平成14（2002）	証明発行件数	4,444件	経過年数		築後20年		耐用年数	
		改修年度	—	維持管理費	2,967千円	取組内容					
		経過年数	19	維持管理費/ 証明発行件数	—						
	市民課	延床面積	42.93㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					

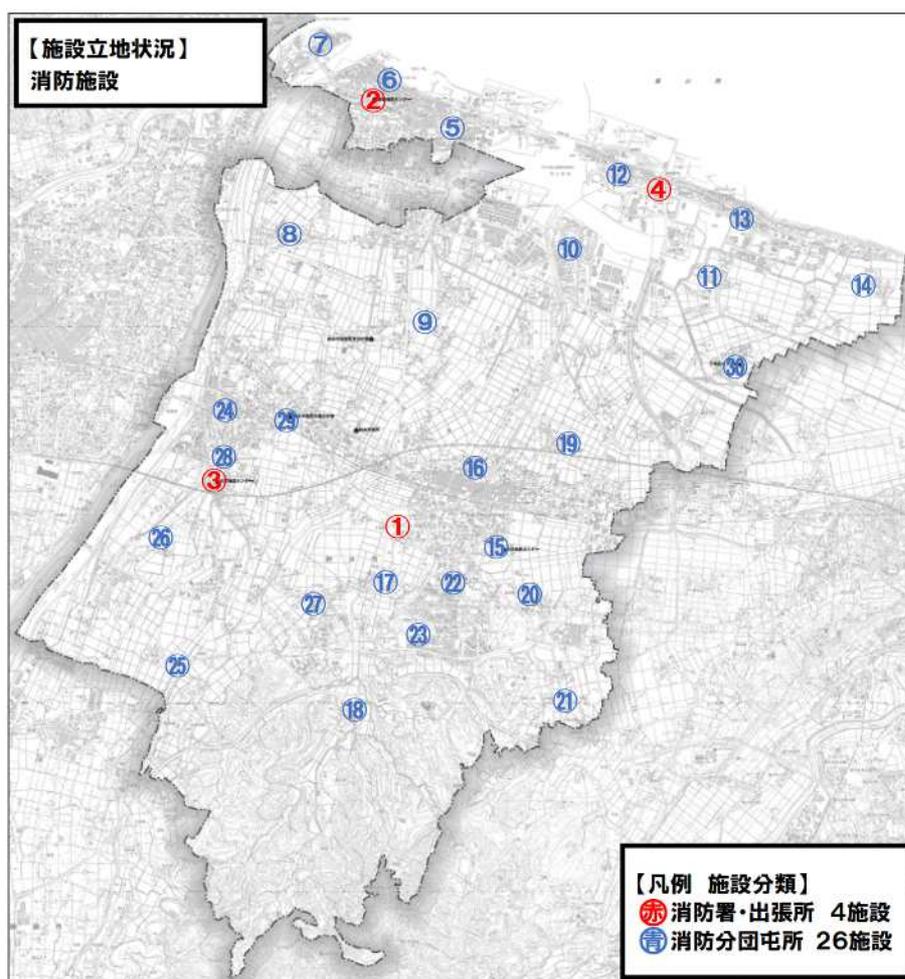
注：各工事等の実施時期や内容は、現在想定される目安であり、今後の社会経済情勢等の変化や総合計画等の見直し等により、大きく変動する可能性があります。また、概算事業費は、同種工事の直近の単価等を基に機械的に試算したものであり、財政見直し等との整合を図ったものではありません。

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
築後10年								
			築後40年					
	築後30年							
		築後20年						今後の利用状況等を踏まえ、適切な時期に在り方を検討する。
改修後10年								今後の利用状況等を踏まえ、適切な時期に在り方を検討する。
						築後50年 耐用年数		今後の利用状況等を踏まえ、適切な時期に在り方を検討する。
改修後10年								
						築後30年		今後の利用状況等を踏まえ、適切な時期に在り方を検討する。

(2) 消防施設

大分類	小分類	対象施設
行政系 (37)	消防署(4)	射水消防署、新湊消防署、射水消防署大門出張所、 新湊消防署東部出張所
	消防分団屯所(26)	放生津、新湊、庄西、塚原、作道、片口、七美、堀岡、海老江、 本江、戸破、三ヶ、橋下条、金山、大江、黒河、池多、太閤山、 中・南太閤山、大門、櫛田、浅井、水戸田、二口、大島、下

配置状況



【消防署・出張所】

射水消防署
新湊消防署
射水消防署大門出張所
射水消防署東部出張所

【消防分団屯所】

射水市消防団放生津分団屯所
射水市消防団新湊分団屯所
射水市消防団庄西分団屯所
射水市消防団塚原分団屯所
射水市消防団作道分団屯所
射水市消防団片口分団屯所
射水市消防団七美分団屯所
射水市消防団堀岡分団屯所
射水市消防団海老江分団屯所
射水市消防団本江分団屯所
射水市消防団戸破分団屯所
射水市消防団三ヶ分団屯所
射水市消防団橋下条分団屯所
射水市消防団金山分団屯所
射水市消防団大江分団屯所
射水市消防団黒河分団屯所
射水市消防団池多分団屯所
射水市消防団太閤山分団屯所
射水市消防団

中・南太閤山分団屯所
射水市消防団大門分団屯所
射水市消防団櫛田分団屯所
射水市消防団浅井分団屯所
射水市消防団水戸田分団屯所
射水市消防団二口分団屯所
射水市消防団大島分団屯所
射水市消防団下分団屯所

施設の役割

・消防署・出張所

常備消防施設である消防署・出張所は、非常備消防施設である消防団屯所とともに、地域の防災拠点となる施設です。

消防署・出張所では、火災出動をはじめ、救助出動、警戒出動、救急出動など日々の市民生活における緊急事態に24時間体制で対応するため、施設は常に稼働・機能しています。

また、大地震や水害などの大規模災害が発生した際には、災害活動の拠点として、基幹的な役割を果たします。

消防署・出張所は、各種災害から市民の生命・身体・財産を守るため、必要不可欠な施設であり、現在の消防力を確保・向上していく必要があります。

・消防分団屯所

市内26か所の消防分団屯所は、地域防災の要となる施設であり、災害発生時には消防団員の活動拠点としての役割を果たします。

老朽化状況と過去の工事等の履歴

対象施設の老朽化状況と過去に実施した主な工事等は、以下のとおりです。

(凡例... A : おおむね健全 B : やや劣化 C : 劣化 D : 著しい劣化)

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等(着工年度)
1	射水消防署	敷地・地盤	B	・アスファルト舗装の一部に段差がある。 ・屋上面の防水層に膨れやひび割れがある。	
		外部	A		
		屋上・屋根	B		
		内部	A		
2	新湊消防署	敷地・地盤	A	・屋上面の防水層一部にひび割れがある。	
		外部	A		
		屋上・屋根	B		
		内部	A		
3	射水消防署 大門出張所	敷地・地盤	A	・屋上面の防水層に膨れがある。	
		外部	A		
		屋上・屋根	B		
		内部	A		
4	新湊消防署 東部出張所	敷地・地盤	A		・屋上防水改修工事(H27) ・大規模改修工事(H30)
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
5	消防団放生 津分団屯所	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等（着工年度）
6	消防団新湊分団屯所	敷地・地盤	A	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁タイル貼りや石貼りに剥がれがある。 ・外壁塗装や吹付けに剥がれや浮きがある。 	
		外部	B		
		屋上・屋根	A		
		内部	B		
7	消防団庄西分団屯所	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
8	消防団塚原分団屯所	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
9	消防団作道分団屯所	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
10	消防団片口分団屯所	敷地・地盤	B	<ul style="list-style-type: none"> ・アスファルト舗装の一部にひび割れがある。 ・外壁表面にひび割れ、欠損がある。 ・外壁面から室内に雨漏りがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シャッター取替工事(H19) ・屋上防水改修工事(H30)
		外部	C		
		屋上・屋根	A		
		内部	D		
11	消防団七美分団屯所	敷地・地盤	A	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁表面にひび割れや塗装吹付けに浮きがある。 ・屋上面の防水層に膨れがある。 ・内壁の表面にひび割れがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車庫棟増築工事及び和室部分改修工事(H13)
		外部	B		
		屋上・屋根	B		
		内部	B		
12	消防団堀岡分団屯所	敷地・地盤	A	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁表面の部分的にひび割れがある。 ・部分的に屋上面の防水層に膨れや破れ等がある。 ・内壁の一部に欠損やひび割れ、雨漏り跡がある。 	
		外部	B		
		屋上・屋根	B		
		内部	B		
13	消防団海老江分団屯所	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
14	消防団本江分団屯所	敷地・地盤	A		<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修工事(R1)
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等（着工年度）	
15	消防団戸破分団屯所	敷地・地盤	A	・基礎の一部にひび割れがある。		
		外部	B			
		屋上・屋根	A			
		内部	B			・壁面ボードの一部にひび割れがある。
16	消防団三ヶ分団屯所	敷地・地盤	A	・外壁のごく一部にひび割れがある。		
		外部	B			
		屋上・屋根	A			
		内部	A			
17	消防団橋下条分団屯所	敷地・地盤	A			
		外部	A			
		屋上・屋根	A			
		内部	A			
18	消防団金山分団屯所	敷地・地盤	A	・外壁の表面ごく一部にひび割れがある。		
		外部	B			
		屋上・屋根	A			
		内部	B			・内壁の表面ごく一部にひび割れがある。
19	消防団大江分団屯所	敷地・地盤	A			
		外部	A			
		屋上・屋根	A			
		内部	A			
20	消防団黒河分団屯所	敷地・地盤	A			
		外部	A			
		屋上・屋根	A			
		内部	A			
21	消防団池多分団屯所	敷地・地盤	A	・基礎のごく一部に剥がれがある。 ・外壁の表面ごく一部に著しい錆びがある。		
		外部	B			
		屋上・屋根	A			
		内部	B			・天井、内壁にひび割れがある。
22	消防団太閤山分団屯所	敷地・地盤	A			
		外部	A			
		屋上・屋根	A			
		内部	A			
23	消防団中・南太閤山分団屯所	敷地・地盤	A	・外壁改修工事(H29)		
		外部	A			
		屋上・屋根	B			・屋根材に錆びや損傷がある。
		内部	A			
24	消防団大門分団屯所	敷地・地盤	A	・軒裏の石貼りに剥がれがある。 ・屋上面の防水層に部分的にひび割れがある。 ・内壁モルタル壁表面にひび割れがある。		
		外部	B			
		屋上・屋根	B			
		内部	B			

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等（着工年度）
25	消防団櫛田分団屯所	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
26	消防団浅井分団屯所	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
27	消防団水戸田分団屯所	敷地・地盤	B	・アスファルト舗装にひび割れやがある。	
		外部	A		
		屋上・屋根	B	・屋根材に錆びや損傷がある。	
		内部	B	・内壁の一部に雨漏り跡がある。	
28	消防団二口分団屯所	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	B	・屋根材に錆びや損傷がある。	
		内部	A		
29	消防団大島分団屯所	敷地・地盤	A		
		外部	B	・外壁サイディング表面の一部に浮きや剥がれがある。	
		屋上・屋根	A		
		内部	B	・天井の一部に雨漏りの跡がある。	
30	消防団下分団屯所	敷地・地盤	A		
		外部	B	・外壁のタイル貼りの一部に剥がれがある。	
		屋上・屋根	A		
		内部	A		

施設の課題と今後の方向性

・消防署・出張所

建築後 35 年以上が経過していた東部出張所については、平成 30 年度の大規模改修により施設全般の長寿命化を実施するとともに、施設設備の更新を図りました。その他の 3 署所については、平成 16 年度から平成 20 年度に整備され、これまで不具合に対してのみ修繕対応してきたところですが、空調設備の不具合や屋上面の防水層に膨れやひび割れがあるなど、徐々に施設・設備の劣化が進んでいます。

今後も引き続き、現在の位置で災害時の活動拠点としての機能を十分に発揮させ、現状の施設を維持するためには、施設・設備の老朽化への対策を順次講じる必要があります。

・消防分団屯所

消防分団屯所は、新耐震基準の適用（昭和 56 年 6 月）以前に建築された施設を優先的に建替・改修を実施していますが、その他の屯所については著しい不具合に対してのみ修繕対応しており、経過年数に比例し各所に経年劣化が見受けられます。今後は、建築後おおむね 40 年を経過し老朽化が著しい施設から計画的に整備を行います。

具体的な対策と実施時期

【施設概要の凡例】

- ・経過年数：令和3年4月1日時点の経過年数
- ・構造：S（鉄骨造） R C（鉄筋コンクリート造） S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造） W（木造）
- ・耐用年数：「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）で、構造や用途によって定められている耐用年数に基づき市の固定資産台帳に記載したものの
- ・その他：令和元年度実績（団員数は平成31年4月1日現在の数値）

	施設名	施設概要				実施時期	短期				
		年度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)				
1	射水消防署	建築年度	平成16 (2004)	団員数	—	経過年数				築後20年	
		改修年度	—	維持管理費	49,154千円	取組内容	実施設計・空調設備更新				
		経過年数	17	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	—						屋上	
消防本部総務課	延床面積	3,459.59㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	2百万円	50百万円			32	
3	射水消防署 大門出張所	建築年度	平成18 (2006)	団員数	—	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	3,719千円	取組内容					
		経過年数	15	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	—							
消防本部総務課	延床面積	575.74㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
2	新湊消防署	建築年度	平成20 (2008)	団員数	—	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	16,163千円	取組内容					
		経過年数	13	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	—						実施 空調設	
消防本部総務課	延床面積	2,487.82㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					38	
4	新湊消防署 東部出張所	建築年度	昭和54 (1979)	団員数	—	経過年数					
		改修年度	平成30 (2018)	維持管理費	2,868千円	改修後年数					
		経過年数	42	維持管理費/ 団員数	—	取組内容					
	構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	—							
消防本部総務課	延床面積	587.02㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
10	消防団 片口分団屯所	建築年度	昭和51 (1976)	団員数	28人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	2,944千円	取組内容	大規模改修				
		経過年数	45	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	RC/41年	稼働率	—							
消防本部総務課	延床面積	105.51㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	22百万円					
11	消防団 七美分団屯所	建築年度	昭和54 (1979)	団員数	22人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	3,864千円	取組内容	実施設計・補修増築				
		経過年数	42	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	RC/41年	稼働率	—							
消防本部総務課	延床面積	84.28㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	1百万円	33百万円				
28	消防団 二口分団屯所	建築年度	昭和63 (1988)	団員数	24人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	4,239千円	取組内容	実施設計・移転改修				
		経過年数	33	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—						解体・ 借地返還	
消防本部総務課	延床面積	130.64㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	1百万円	23百万円	4百万円			

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
防水								施設設備の修繕を行い、長寿命化を図る。
百万円								
築後20年								施設設備の修繕を行い、長寿命化を図る。
屋上防水								
15百万円								
		築後20年						施設設備の修繕を行い、長寿命化を図る。
設計・備更新		屋上防水						
百万円		23百万円						
			築後50年 耐用年数					平成30年度に長寿命化に向けた大規模改修工事を実施。引き続き予防修繕に努める。
		改修後10年						
築後50年								令和3年に大規模改修工事を実施後、長寿命化に向け予防修繕に努める。
			築後50年					七美コミセン解体に合わせ、屯所部分について補修・増築を行い、長寿命化を図る。
		築後40年						現屯所の前面道路は道幅が狭く一方通行道路であることから支障を来しており、また敷地も借地である。円滑な活動を行うためにも市有地（旧大門庁舎車庫棟）に早期に機能を移転する。

射水市公共施設個別施設計画

施設名	施設概要				実施時期	短期				
	建築年度	昭	団員数		年度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
6 新湊分団屯所	建築年度	昭和56 (1981)	団員数	26人	経過年数	築後40年	耐用年数			
	改修年度	—	維持管理費	2,261千円	取組内容	実施設計・移転建替	解体			
	経過年数	40	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	RC/41年	稼働率	—						
	消防本部総務課	延床面積	105.90㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	57百万円		4百万円	
12 堀岡分団屯所	建築年度	昭和55 (1980)	団員数	28人	経過年数	耐用年数				
	改修年度	—	維持管理費	2,717千円	取組内容	実施設計・ 大規模改修又は建替				
	経過年数	41	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	RC/41年	稼働率	—						
	消防本部総務課	延床面積	150.39㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	43百万円(改修の場合)		63百万円(建替の場合)	
21 池多分団屯所	建築年度	昭和59 (1984)	団員数	16人	経過年数				築後40年	
	改修年度	—	維持管理費	2,026千円	取組内容	実施設計・ 大規模改修又は建替				
	経過年数	37	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—						
	消防本部総務課	延床面積	97.20㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	29百万円(改修の場合)		63百万円	
24 大門分団屯所	建築年度	昭和59 (1984)	団員数	34人	経過年数				築後40年	耐用年数
	改修年度	—	維持管理費	3,498千円	取組内容	実施 大規模改修				
	経過年数	37	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	RC/41年	稼働率	—						
	消防本部総務課	延床面積	270.13㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	77百万円(改修の場合)			
29 大島分団屯所	建築年度	平成1 (1989)	団員数	28人	経過年数					
	改修年度	—	維持管理費	2,747千円	取組内容					
	経過年数	32	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—						
	消防本部総務課	延床面積	136.00㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費			39百万円	
26 浅井分団屯所	建築年度	平成1 (1989)	団員数	40人	経過年数					
	改修年度	—	維持管理費	3,000千円	取組内容					
	経過年数	32	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—						
	消防本部総務課	延床面積	124.80㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費				
18 金山分団屯所	建築年度	昭和62 (1987)	団員数	16人	経過年数					
	改修年度	—	維持管理費	2,400千円	取組内容					
	経過年数	34	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	RC/41年	稼働率	—						
	消防本部総務課	延床面積	140.34㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費				
15 戸破分団屯所	建築年度	平成2 (1990)	団員数	22人	経過年数	耐用年数				
	改修年度	—	維持管理費	2,653千円	取組内容					
	経過年数	31	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—						
	消防本部総務課	延床面積	139.12㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費				

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
					築後50年			令和4、5年度に移転建替えを実施し、令和6年度に現在の屯所を解体予定
				築後50年				整備方法について協議する。
								予防修繕に努めながら、整備方法について協議する。
(建替の場合)								
設計・ 又は建替								予防修繕に努めながら、整備方法について協議する。
63百万円（建替の場合）								
			築後40年					予防修繕に努めながら、整備方法について協議する。
実施設計・ 大規模改修又は建替								
(改修の場合) 63百万円（建替の場合）								
			築後40年					予防修繕に努めながら、整備方法について協議する。
実施設計・ 大規模改修又は建替								
36百万円（改修の場合） 63百万円（建替の場合）								
	築後40年	耐用年数						予防修繕に努めながら、整備方法について協議する。
実施設計・ 大規模改修又は建替								
41百万円（改修の場合） 63百万円（建替の場合）								
				築後40年				予防修繕に努めながら、整備方法について協議する。
実施設計・ 大規模改修又は建替								
40百万円（改修の場合） 63百万円（建替の場合）								

施設名	施設概要					実施時期	短期				
	年度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
25 消防団 櫛田分団屯所	建築年度	平成2 (1990)	団員数	29人	経過年数						
	改修年度	—	維持管理費	2,436千円	取組内容						
	経過年数	31	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	112.60㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
27 消防団 水戸田分団 屯所	建築年度	平成3 (1991)	団員数	25人	経過年数	築後30年	耐用年数				
	改修年度	—	維持管理費	2,326千円	取組内容						
	経過年数	30	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	107.55㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
16 消防団 三ヶ分団屯所	建築年度	平成5 (1993)	団員数	17人	経過年数		築後30年	耐用年数			
	改修年度	—	維持管理費	2,135千円	取組内容						
	経過年数	28	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	140.25㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
30 消防団 下分団屯所	建築年度	平成6 (1994)	団員数	26人	経過年数				築後30年	耐用年数	
	改修年度	—	維持管理費	4,570千円	取組内容						
	経過年数	27	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	190.67㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
23 消防団 中・南太閤山 分団屯所	建築年度	平成9 (1997)	団員数	15人	経過年数						
	改修年度	—	維持管理費	2,320千円	取組内容						
	経過年数	24	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	139.12㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
20 消防団 黒河分団屯所	建築年度	平成10 (1998)	団員数	23人	経過年数						
	改修年度	—	維持管理費	4,267千円	取組内容						
	経過年数	23	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	144.78㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
17 消防団 橋下条分団 屯所	建築年度	平成16 (2004)	団員数	20人	経過年数				築後20年		
	改修年度	—	維持管理費	2,222千円	取組内容						
	経過年数	17	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	140.25㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
19 消防団 大江分団屯所	建築年度	平成18 (2006)	団員数	21人	経過年数						
	改修年度	—	維持管理費	2,527千円	取組内容						
	経過年数	15	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	143.26㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
				築後40年				予防修繕に努めながら、整備方法について協議する。
				実施設計・大規模改修又は建替				
			33百万円（改修の場合）		63百万円（建替の場合）			
					築後40年			予防修繕に努めながら、整備方法について協議する。
				実施設計・大規模改修又は建替				
			31百万円（改修の場合）		63百万円（建替の場合）			
							築後40年	予防修繕に努めながら、整備方法について協議する。
				実施設計・大規模改修又は建替				
			41百万円（改修の場合）		63百万円（建替の場合）			
								予防修繕に努めながら、整備方法について協議する。なお、実施設計・大規模改修又は建替は令和15年度及び令和16年度の2か年で実施。概算事業費は2か年の合計額
				実施設計・大規模改修又は建替				
			55百万円（改修の場合）		63百万円（建替の場合）			
	築後30年	耐用年数						
	築後20年							

射水市公共施設個別施設計画

	施設名	施設概要				実施時期	短期					
		建築年度	平成21 (2009)	団員数	31人	年度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	
8	消防団 塚原分団屯所	改修年度	—	維持管理費	2,639千円	経過年数						
		経過年数	12	維持管理費/ 団員数	—							取組内容
		構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
		消防本部総務課	延床面積	143.26㎡	避難所収容 可能人数							—
	消防本部総務課	延床面積	143.26㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
13	消防団 海老江分団 屯所	改修年度	—	維持管理費	2,642千円	経過年数		築後10年				
		経過年数	9	維持管理費/ 団員数	—							取組内容
		構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
		消防本部総務課	延床面積	143.48㎡	避難所収容 可能人数							—
	消防本部総務課	延床面積	143.48㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
22	消防団 太閤山分団 屯所	改修年度	—	維持管理費	3,413千円	経過年数					築後10年	
		経過年数	6	維持管理費/ 団員数	—							取組内容
		構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
		消防本部総務課	延床面積	143.26㎡	避難所収容 可能人数							—
	消防本部総務課	延床面積	143.26㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
5	消防団 放生津分団 屯所	改修年度	—	維持管理費	2,612千円	経過年数						
		経過年数	5	維持管理費/ 団員数	—							取組内容
		構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
		消防本部総務課	延床面積	143.26㎡	避難所収容 可能人数							—
	消防本部総務課	延床面積	143.26㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
7	消防団 庄西分団屯所	改修年度	—	維持管理費	2,229千円	経過年数						
		経過年数	3	維持管理費/ 団員数	—							取組内容
		構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
		消防本部総務課	延床面積	145.74㎡	避難所収容 可能人数							—
	消防本部総務課	延床面積	145.74㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
14	消防団 本江分団屯所	改修年度	令和1 (2019)	維持管理費	1,999千円	経過年数						
		経過年数	43	維持管理費/ 団員数	—							取組内容
		構造/ 耐用年数	RC/41年	稼働率	—							
		消防本部総務課	延床面積	113.70㎡	避難所収容 可能人数							—
	消防本部総務課	延床面積	113.70㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
9	消防団 作道分団屯所	改修年度	—	維持管理費	2,882千円	経過年数						
		経過年数	1	維持管理費/ 団員数	—							取組内容
		構造/ 耐用年数	W/22年	稼働率	—							
		消防本部総務課	延床面積	139.94㎡	避難所収容 可能人数							—
	消防本部総務課	延床面積	139.94㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	4百万円					

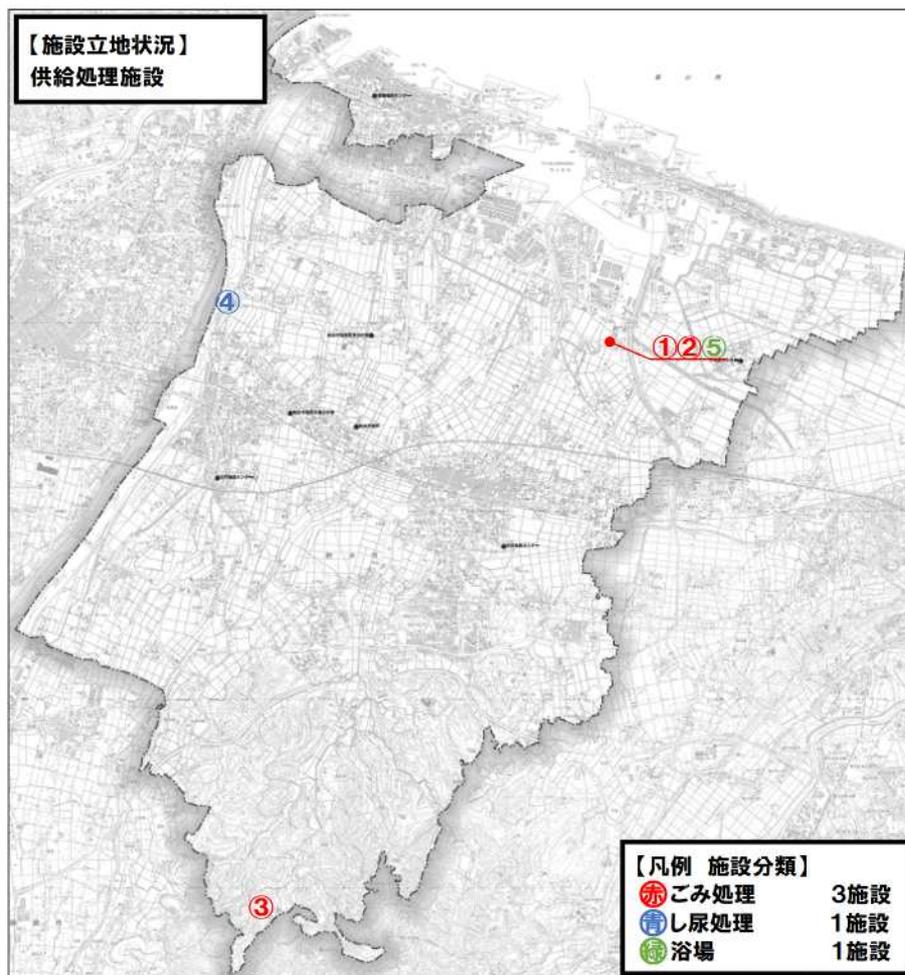
注：各工事等の実施時期や内容は、現在想定される目安であり、今後の社会経済情勢等の変化や総合計画等の見直し等により、大きく変動する可能性があります。また、概算事業費は、同種工事の直近の単価等を基に機械的に試算したものであり、財政見通し等との整合を図ったものではありません。

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
			築後20年					
						築後20年		
築後10年								
		築後10年						
		築後50年						
			改修後10年					
				築後10年				

9 供給処理施設

大分類	小分類	対象施設
供給処理 (5)	ごみ処理(3)	クリーンピア射水、ミライクル館、野手埋立処分所
	し尿処理(1)	衛生センター
	浴場(1)	クリーンピア射水温浴施設

配置状況



施設の役割

・クリーンピア射水

クリーンピア射水は、日常生活から排出される廃棄物の処理を適切に行い、健康で快適な生活環境を確保するために設置している廃棄物焼却施設です。

本施設は、公害防止に万全な対策を講じ、また、廃棄物の焼却処理時に発生する余熱等を再利用するなど、生活環境の保全とともに循環型社会形成拠点としての役割を担っています。

・ミライクル館

ミライクル館は、廃棄物の資源化とリサイクルに関する体験及び学習を目的に設置している施設です。

プラザ棟では、リサイクル体験工房、環境学習コーナー等があり、市民が幅広く環境について学び、自由に利用できる環境を創出しています。

処理棟では、金属缶やペットボトル等、リサイクル物の再資源化を図っています。

大量消費、大量廃棄から脱却し、限りある資源を大切にするためのリサイクル拠点としての役割を担っています。

・野手埋立処分所

野手埋立処分所は、市内から発生する一般廃棄物及びその処理残渣を最終処分するために、昭和 57 年 3 月に開設した施設です。

本市が将来にわたって責任を持ってごみを適正に最終処分するための重要な施設です。

・衛生センター

衛生センターは、一般家庭から排出されるし尿や浄化槽汚泥等を適切に処理するための施設です。

現施設は、昭和 62 年 9 月から稼働し、1 日当たり 116 kℓの処理能力を有します。近年、下水道の整備に伴い全体の処理量は減少傾向にあり、この状況に対応するため、土日の運転を休止するなど経費縮減に努めています。

・クリーンピア射水温浴施設

平成 14 年度のクリーンピア射水の建設に際し、地元振興策として従業員用に設置する浴室を住民の利用にも供することを目的としてクリーンピア射水内に設置した施設です。現在も、年間延べ約 15,000 人の方々に利用されています。

老朽化状況と過去の工事等の履歴

対象施設の老朽化状況と過去に実施した主な工事等は、以下のとおりです。

(凡例... A : おおむね健全 B : やや劣化 C : 劣化 D : 著しい劣化)

	施設名	老朽化状況		主な工事等(着工年度)
			特記事項	
1	クリーンピア射水	敷地・地盤	-	・ 基幹的設備改良工事(R1～R3)
		外部	-	
		屋上・屋根	-	
		内部	-	
2	ミライクル館	敷地・地盤	B ・ 路面案内表示が消えている。	・ 処理棟プラント機器点検工事(H18～H23) ・ 処理棟整備工事(H24～R2)
		外部	B ・ 外壁亀裂、外壁塗装の剥離	
		屋上・屋根	A	
		内部	B ・ 内部仕上げ材の剥離	
3	野手埋立処分所	敷地・地盤	B ・ へこみ他	・ 再生整備事業(H19～H21) ・ 浸出水処理施設定期整備工事(H24) ・ 法面災害復旧工事(H24) ・ 浸出水処理施設定期整備工事(H25) ・ 埋立地遮水シート張り工事(H25) ・ 浸出水処理施設汚泥濃縮装置 NO.3 蒸発缶設置工事(R1)
		外部	B ・ 通路等へこみ他	
		屋上・屋根	A	
		内部	A	
4	衛生センター	敷地・地盤	C ・ アスファルトひび割れ、舗装・地盤沈下	
		外部	C ・ 外壁亀裂、外壁塗装の剥離	
		屋上・屋根	C ・ 屋上仕上げ材、目地劣化	
		内部	C 【内装】 ・ 床、内壁に亀裂	
B 【設備】 ・ 配管腐食				
5	クリーンピア射水温浴施設	敷地・地盤	-	基幹的設備改良工事(R1～R3)
		外部	-	
		屋上・屋根	-	
		内部	-	

クリーンピア射水基幹的設備改良工事実施中(令和元年度～3年度)

施設の課題と今後の方向性

・クリーンピア射水

クリーンピア射水は、平成 29 年度に施設周辺 5 自治会と「クリーンピア射水の施設稼働期間延長に係る覚書」を締結し、現施設を令和 18 年度末まで稼働延長することとしています。それに伴い、令和元年度から令和 3 年度にかけて、クリーンピア射水基幹的設備改良工事を実施しており、長寿命化を図るとともに、安全かつ安定したごみ処理の推進及び省エネや二酸化炭素の削減等、環境への配慮も図ることとしています。将来計画としては、広域化も視野に入れつつ、施設整備の方向性を検討します。

・ミライクル館

処理棟は平成 14 年度に、プラザ棟は平成 23 年度に竣工し、それぞれ建築後 19 年、10 年が経過していますが、外壁の亀裂、外壁塗装の剥離が見られるものの、大規模な改修が必要な老朽箇所は見受けられません。

クリーンピア射水が令和 18 年度末まで稼働延長したことから、本市における資源循環型社会形成推進の拠点である本施設も同期間開設することを想定し、計画的に点検、定期整備を実施するなど適切な管理を行っていきます。

また、リサイクルの重要性をはじめ、環境に関する様々な情報を発信するため、NPO や市民団体又は市民協働事業での活用を検討するなど、更に幅広く利用促進に努めます。

・野手埋立処分所

昭和 57 年 3 月に供用を開始した野手埋立処分所は、老朽化が進んでいたことから、平成 21 年度に埋立容量の増量及び浸出水処理施設の更新など再生整備工事を実施し、より安全性、耐久性の高い最終処分場として長寿命化を図りました。

令和 9 年度には埋立完了を見込むため、令和 4 年度に新埋立所の整備計画を策定し、令和 10 年度から新埋立所の供用を開始する計画としています。

・衛生センター

衛生センターは、供用を開始した昭和 62 年度から 30 年以上稼働しており、その間、建物の躯体工事等を行っておらず、施設内配管・外壁・各処理水槽等に経年劣化による腐食や水漏れ等が見られます。また、施設内の設備機器においても、そのほとんどが耐用年数を超えており、部品調達も困難になってきています。

こうしたことから、令和 5 年度及び令和 6 年度において、今後のし尿、浄化槽汚泥等の搬入量や下水道の接続状況等を踏まえ、規模を縮小し、施設の長寿命化を図る計画としています。

- ・クリーンピア射水温浴施設

平成 29 年度に施設周辺 5 自治会と「クリーンピア射水の稼働期間延長に係る覚書」を締結し、クリーンピア射水を令和 18 年度末まで稼働延長することに伴い、地元振興策として設置した本施設も稼働延長期間と同期間設置することとし、令和元年度から令和 3 年度にかけて、クリーンピア射水基幹的設備改良工事に付随して施設の長寿命化を図っています。

具体的な対策と実施時期

【施設概要の凡例】

- ・経過年数：令和3年4月1日時点の経過年数
- ・構造：S（鉄骨造） R C（鉄筋コンクリート造） S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造） W（木造）
- ・耐用年数：「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）で、構造や用途によって定められている耐用年数に基づき市の固定資産台帳に記載したものの
- ・その他：令和元年度実績

	施設名	施設概要				実施時期 年度	短期				
							R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
1	クリーンピア 射水	建築年度	平成14（2002）	延利用者数	—	経過年数		築後20年			
		改修年度	令和3（2021）	維持管理費	724,012千円	改修後年数					
		経過年数	19	維持管理費/ 延利用者数	—	取組内容	基幹的設備改良 (R1~R3)				
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
環境課	延床面積	11,124.49㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	970百万円					
2	ミライクル館	建築年度 (処理棟)	平成14（2002）	延利用者数	—	経過年数 (処理棟)		築後20年			
		建築年度 (プラザ棟)	平成23（2011）	維持管理費	146,144千円	経過年数 (プラザ棟)	築後10年				
		経過年数	19	維持管理費/ 延利用者数	—	取組内容					
	構造/ 耐用年数	S/31年 S/38年	稼働率	—							
環境課	延床面積	3,565.77㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
3	野手埋立 処分所	建築年度	平成21（2009）	延利用者数	—	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	98,536千円	取組内容	整備方針 決定	計画策定	設計・環境影響評価		
		経過年数	12	維持管理費/ 延利用者数	—						
	構造/ 耐用年数	RC/38年	稼働率	—							
環境課	延床面積	873.16㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
4	衛生センター	建築年度	昭和62（1987）	延利用者数	—	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	87,330千円	取組内容	長寿命化 総合計画 策定	環境影響 評価・発注 仕様書作成	規模縮小化・長寿命化		
		経過年数	34	維持管理費/ 延利用者数	—						
	構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	—							
環境課	延床面積	3,698.00㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費			700百万円			
5	クリーンピア 射水 温浴施設	建築年度	平成14（2002）	延利用者数	15,081人	経過年数		築後20年			
		改修年度	令和3（2021）	維持管理費	—	改修後年数					
		経過年数	19	維持管理費/ 延利用者数	—	取組内容	基幹的設備改良 (R1~R3)				
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
環境課	延床面積	210.62㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	1に含む					

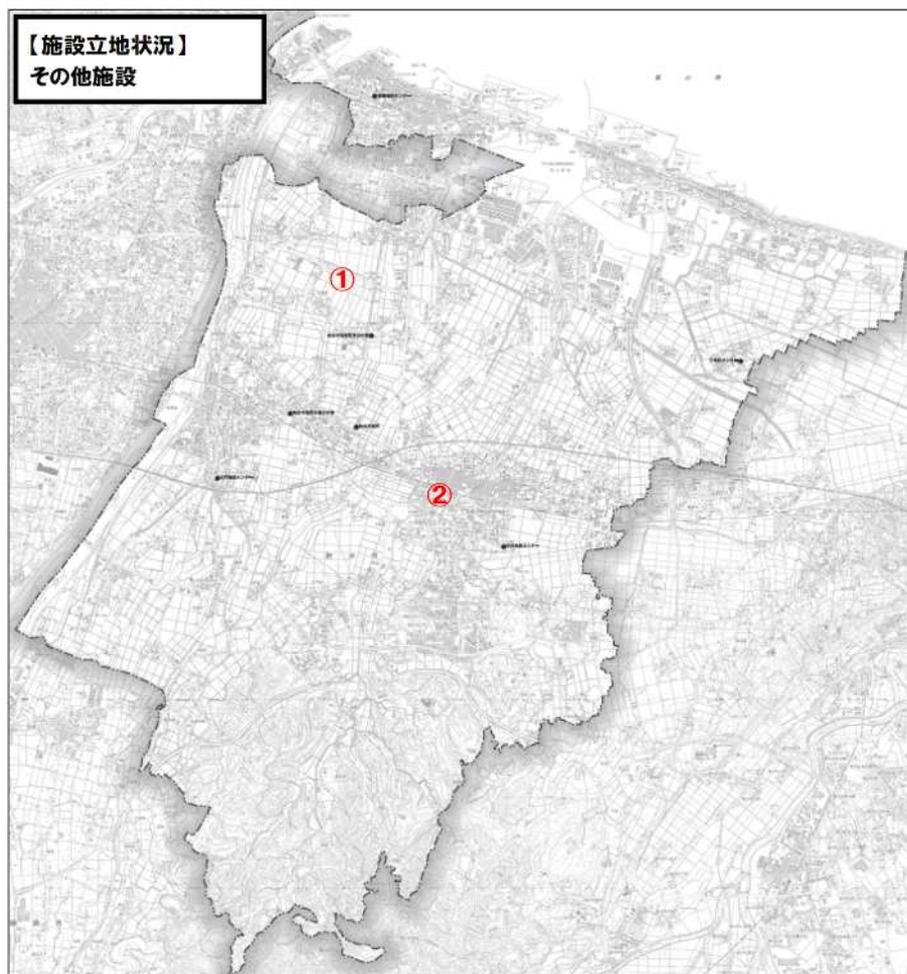
注：各工事等の実施時期や内容は、現在想定される目安であり、今後の社会経済情勢等の変化や総合計画等の見直し等により、大きく変動する可能性があります。また、概算事業費は、同種工事の直近の単価等を基に機械的に試算したものであり、財政見直し等との整合を図ったものではありません。

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
						築後30年	耐用年数	
					改修後10年			
					広域化も視野に入れた 施設整備の方向性を検討			
						築後30年	耐用年数	
					築後20年			
			築後20年					埋立容量は50,000m ³ 規模（11年間の供用）を想定
整備								
1,000百万円								
	築後40年							
						築後30年	耐用年数	
					改修後10年			

10 その他施設

大分類	小分類	対象施設
その他(2)	その他(2)	斎場、小杉駅南口駅舎

配置状況



斎場
小杉駅南口駅舎

施設の役割

・ 斎場

斎場は、昭和 41 年度に寺塚原地内で新湊市営斎場として整備され、施設の老朽化や高齢化に伴う火葬件数の増加、更には葬送形態の多様化に対応するため、沖塚原地内において新斎場を建設し、令和 3 年 4 月から供用を開始する運びとなっています。

斎場は、この世で縁のあった方々が故人への最後の別れを告げる場所であり、また、葬祭行為を通して死を受容する極めて重要な役割を担う施設です。

・ 小杉駅南口駅舎

民間企業のご協力等により平成 8 年度に設置された小杉駅南口駅舎は、鉄道や射水市コミュニティバス、タクシー等の交通結節点であることから、乗り継ぎや雨天、降雪時の待合室として利用されています。待合室では、音声及び電光掲示板での案内のほか、コミュニティバスの時刻表の掲示、バスロケーションシステムで直近に来るバスの映像・音声案内を行うなど、地域公共交通利用者の利便性向上を図っています。

さらには、広報誌、観光案内、各種イベント等のパンフレットやハローワークの求人情報、また、統計書、各種計画書、公共施設ガイド等の行政刊行物などを設置し、市政情報の提供も行っています。

老朽化状況と過去の工事等の履歴

対象施設の老朽化状況と過去に実施した主な工事等は、以下のとおりです。

(凡例... A : おおむね健全 B : やや劣化 C : 劣化 D : 著しい劣化)

	施設名	老朽化状況		主な工事等(着工年度)	
			特記事項		
1	斎場	敷地・地盤	-	<ul style="list-style-type: none"> 敷地造成工事(H30) 新築(建築主体)工事(R1) 新築(機械設備)工事(R1) 他2件 新築に伴う水路整備工事(R1) 	
		外部	-		
		屋上・屋根	-		
		内部	-		
2	小杉駅南口駅舎	敷地・地盤	A	<ul style="list-style-type: none"> 増築及びエレベーター設置工事(H17) 多目的トイレ設置工事(H17) 待合室エアコン入れ替え工事(H30) 	
		外部	C		・錆あり、タイルの割れ
		屋上・屋根	C		・雨漏りあり、塗装の劣化
		内部	C		【内装】 ・雨漏りに伴う染みあり
C	【設備】 ・空調設備の劣化				

施設の課題と今後の方向性

・ 斎場

令和3年度から供用開始する新斎場は、日常のメンテナンスによるデータの蓄積・修繕を行うとともに、環境面、衛生面に配慮した良好な維持管理運営を行っていきます。

・ 小杉駅南口駅舎

小杉駅南口駅舎は、建築後25年、改修後16年経過しており、施設や設備の劣化が進んでいます。特に外部では、こ線橋の鉄骨柱の錆及び外壁タイルの剥離・割れ、屋根の塗装の劣化が見られ、利用者の安全を確保するため、早めの補修等の対応が必要です。

内部では、一部雨漏りが見られるほか、空調設備の不具合やドア等の設備の不良が目立ってきており、更新対応が必要です。

小杉駅の乗車人数については、ここ数年は年間110万人超で推移しており、引き続き小杉駅南口駅舎の適切な維持管理に努めます。

具体的な対策と実施時期

【施設概要の凡例】

- ・経過年数：令和3年4月1日時点の経過年数
- ・構造：S（鉄骨造） R C（鉄筋コンクリート造） S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造） W（木造）
- ・耐用年数：「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）で、構造や用途によって定められている耐用年数に基づき市の固定資産台帳に記載したものの
- ・その他：令和元年度実績

	施設名	施設概要				実施時期	短期				
						年度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
1	斎場	建築年度	令和2（2020）	火葬件数	(1,137件)	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費 (R3予算額)	82,825千円	取組内容	旧斎場解体 (新斎場稼働)				
		経過年数	1	維持管理費/ 火葬件数	—						
		構造/ 耐用年数	SRC/50年	稼働率	—						
環境課	延床面積	3,692.31㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	62百万円					
2	小杉駅南口 駅舎	建築年度	平成8（1996）	延利用者数	—	経過年数					
		改修年度	平成17（2005）	維持管理費	3,189千円	改修後年数					改修後20年
		経過年数	25	維持管理費/ 延利用者数	—	取組内容	実施設計・改修等				
		構造/ 耐用年数	SRC/50年	稼働率	—						
生活安全課	延床面積	239.45㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	1百万円	32百万円				

注：各工事等の実施時期や内容は、現在想定される目安であり、今後の社会経済情勢等の変化や総合計画等の見直し等により、大きく変動する可能性があります。また、概算事業費は、同種工事の直近の単価等を基に機械的に試算したものであり、財政見直し等との整合を図ったものではありません。

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
				築後10年				令和3年4月1日から新斎場の供用を開始
築後30年								短期的には、外壁の修繕や設備の更新が必要。中長期的には、小杉駅周辺再開発の中で検討していく。

第3章 計画の推進

1 保有延床面積の削減

次世代に過度の負担を残さないため、「公共施設の総量削減」は避けて通ることができない課題であり、総合管理計画では、令和36(2054)年度までの40年間で、公共施設の延床面積を20%(77,820㎡)削減する数値目標を掲げています。

なお、本計画の終期(令和15〔2033〕年度末)における削減面積は、再編の方向性が決まっていない施設の面積を除き、11,400㎡となる見込みであり、数値目標の達成には、更に66,420㎡の削減が必要ということになります。

【保有延床面積の削減見込】

	H27(2015)年度当初 (総合管理計画始期)	R3(2021)年度当初 〔見込〕 (個別施設計画始期)	R15(2033)年度末 〔見込〕 (個別施設計画終期)	R36(2054)年度末 〔目標〕 (総合管理計画終期)
延床面積(㎡)	390,846	389,945	379,446	313,026
削減面積(㎡)	-	901	11,400	77,820
削減率(%)	-	0.2	2.9	20.0

R15(2033)年度末の削減面積には、再編の方向性が決まっていない施設の面積は含んでいません。

また、計画期間(令和3年度～令和15年度)における概算事業費(投資的経費)の総額は約451.5億円、年度平均では約34.7億円であり、平均額の水準は、令和2年3月に公表した「後期実施計画財政見通し(令和3年度～令和5年度)」で示す公共施設に係る投資的経費の年度平均額(約17.6億円)を大幅に上回っています。

今後も市民サービスを総合的に維持・向上していくためには、施設ごとの方向性を早期に決定し、投資的経費や一般会計(歳出)の約12%を占める維持管理経費(R1決算:約48.5億円)の抑制を図り、二重投資を避ける観点から、計画的に施設総量を削減していく必要があります。

また、全国的に、PPP/PFIなど、ソフト・ハード両面で「公民連携」の取組が進んでおり、公共施設の魅力向上とコストの抑制・平準化を両立させる事例も多く見られることから、今後、こうした手法を積極的に導入することも重要な課題です。

2 縮充と跡地等の利活用

公共施設の再編と総量削減を進めるに当たり、本市が重視しているのが「縮充」と「跡地等の利活用」です。「縮充」とは、「縮小」と「充実」を重ねた概念であり、施設総量は削減しつつ、残していく施設については市民の皆様のニーズを捉え、更なる充実を図ろうとするものです。令和2年2月に旧小杉社会福祉会館を改修・改築してオープンした「救急薬品市民交流プラザ(いみず市民交流プラザ)」は、総面積を削減しつつ、機能は大幅に充実しています。また、各種団体の事務所の入居やネーミングライツの導入により維持管理費の軽減も実現しており、本市における「縮充」の事例となっています。

【救急薬品市民交流プラザ(いみず市民交流プラザ)の事例(令和2年2月供用開始)】



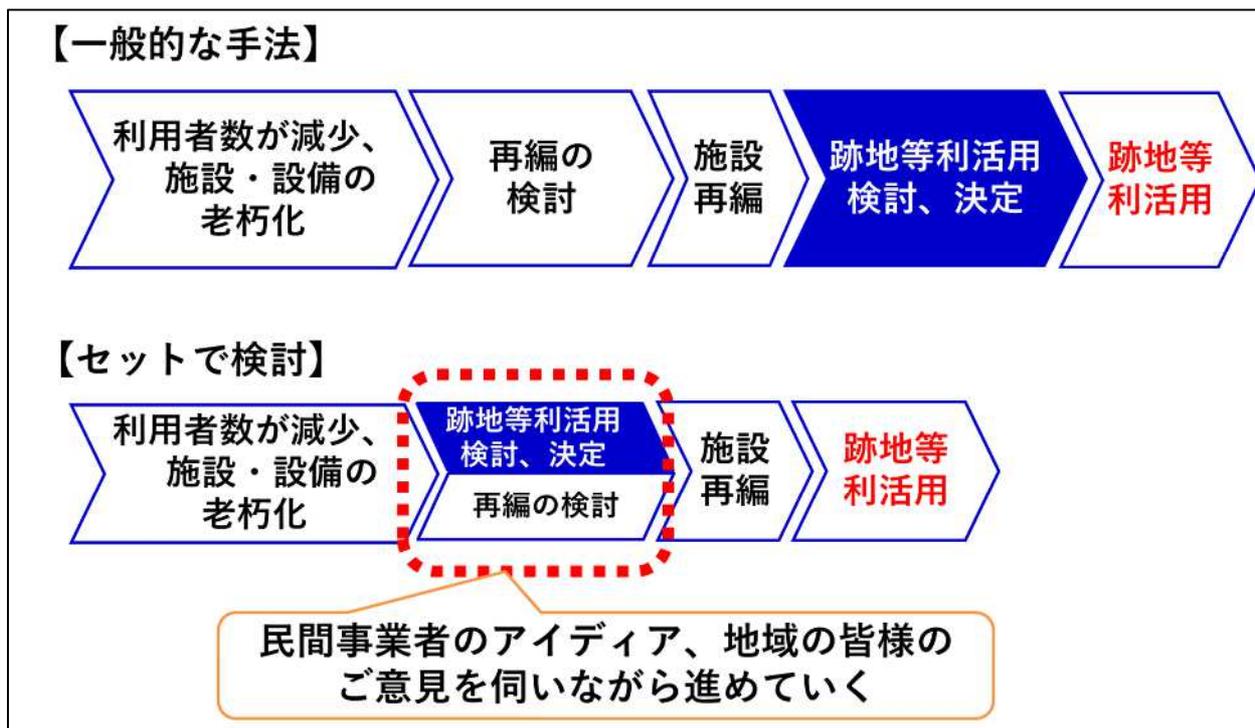
また、再編や総量削減に伴って発生する跡地等の利活用も重要な課題です。一般的には、施設の再編が決まった後、既存建物を他の用途に転用するのか、あるいは更地にして利活用するのか、といった跡地等の利活用の検討に着手します。〔下図【一般的な手法】参照〕

一方、本市が既に一部取り組み始めており、また、今後も積極的に取り組みたいと考えているのが、跡地等の利活用と再編の検討を、できるだけセットで進めていくという手法です。〔下図【セットで検討】参照〕

この場合、施設の再編が決定する前の段階で、その後の跡地等の利活用ビジョンを市民の皆様にお示しできるため、施設が廃止されることに対する不安の解消や、跡地利活用までに要する期間が短縮できるといったメリットがあると考えられます。

また、重要なことは、民間事業者や地域の皆様を巻き込み、色々なご意見をいただきながら、この地域にとって真に必要な機能とは何か、をともに考えていくことであり、本市としては、施設の再編や総量削減を地域の衰退と捉えるのではなく、跡地等の利活用次第では、これまで以上に地域を活性化させることができるのではないかと考えています。

【再編と跡地利活用をセットで検討】



3 計画の推進等

公共施設の再編は、避難場所の確保や公共交通の在り方を含め、本市のまちづくりにも大きな影響を与えることから、市民との情報共有はもとより、庁内においても部局を超えた緊密な連携を図っていく必要があります。そのため、射水市行財政改革推進本部において随時情報を共有するなど、連携して計画の進捗を図ります。

併せて、施設類型を超えた複合化・集約化を含む「縮充」や公民連携による跡地利活用の検討といった取組に対しては、まちづくりや都市経営の視点をもって、より戦略的に取り組んでいくことが重要と考えています。

また、今後の社会経済情勢の変化をはじめ、新たな総合計画の策定や毎年度の予算編成等を踏まえ、適時、計画の見直しを行うとともに、必要に応じ、上位計画である総合管理計画についても見直しを行うなど、常に中長期的な視点を持ちながら公共施設マネジメントを推進してまいります。

〔公共施設再編の目的は？〕

本市では、あくまで公共施設の再編は「手段」であり、その先にある目的は「持続可能な射水市を次の世代に引き継いでいくこと」であると考えています。

今後、かつて経験したことのない急激な人口減少や少子・高齢化の進展が見込まれる中、市民満足度の向上を図りつつ、持続可能なまちづくりを進めていく。そして、次の世代に誇りをもって住み良い射水市を引き継いでいく。そのための重要な手段の一つとして、公共施設の再編や総量削減という取組があるものと考えています。

本市は、市民の皆様や民間事業者の方々と力を合わせ、知恵を出し合いながら、この課題に取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。